

## ・景気の先行きに対する判断理由

景気の先行きに対する判断の理由について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

### 1. 北海道（地域別調査機関：（株）北海道二十一世紀総合研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (北海道)	良くなる やや良くなる	○ 商店街（代表者）	○ ・客の様子としては、良くなるだろうという期待感を持っている。
		一般小売店〔土産〕 （経営者）	・自民党の圧勝により政権は相当安定することになる。旧政権で大臣が次々と替わったことが反面教師となり、期待感も相当出てくる。特に、消費者物価上昇率2%を目標としている点は好ましい。
		スーパー（店長）	・新しい内閣が発足し、金融緩和と政策等によるデフレ対策に対して、前倒しで景気浮上の期待感が株価を押し上げている。少なからず今後に向けて希望が持てる。
		スーパー（店長）	・あまり変わらないと思うが、政権が代わったことで期待をしている。
		スーパー（企画担当）	・新政権の経済政策のインパクトにより、期待感を持っている。
		コンビニ（エリア担当）	・公共事業の増加など、経済対策が打たれることにより、景気が改善する。
		衣料品専門店（店員）	・新しい年を迎えて、冬物や春物で単価の高い商品の伸びが期待される。
		家電量販店（店員）	・政権が代わったことで期待感も加わり、初売り以降も売上が伸びると期待している。
		家電量販店（地区統括部長）	・引き続きテレビの売行きが微増ながら改善する傾向がしばらく続く。
		自動車備品販売店（店長）	・最初のエコカー補助金から3年がたち、1回目の車検の時期を迎えることになるため、今後期待できる。
		一般レストラン（スタッフ）	・2014年の消費税増税前の駆け込み需要で1年くらいは景気が良くなる。
		旅行代理店（従業員）	・まだ、完全な上向きとは思わないが、政治の閉そく感が期待感に変わっており、今後、政策の即効性が出ることになれば、個人消費が伸びてくる。
		旅行代理店（従業員）	・当地区でさけの漁獲が好調なことに加えて、東北復興がようやく進み、建設土木関係に需要回復の動きがみられることなどから、消費マインドはビジネス、観光両面で上向きになる。
		タクシー運転手	・政権が代わってから株価が上がっており、客の声を聞いても少しは景気が良くなっていくような話が多い。また、冬期間はタクシーの利用も増えるため、道路状況さえ良ければタクシーの売上も期待できる。
		タクシー運転手	・今月に入ってから雪が多く、タクシーを利用する客が増えているため、このまま寒い日が続くと、売上はやや良くなる。また、前年実績と比較しても、1台当たりの営業収入は約2.5%伸びている。
		美容室（経営者）	・景気が良くなるのではという期待感があり、それにとまない客の購買意欲も高まっている。
		住宅販売会社（経営者）	・消費税増税の影響で不動産の駆け込み需要が段々と増してくる。また、新政権で大型補正や公共工事の大型化等が期待される。
		住宅販売会社（従業員）	・政権が代わったことにより、客の消費に対する心理が良い方向に動き、景気が上向きになると期待している。また、消費税増税による駆け込み需要が今後一層大きくなるのが期待できる。
		変わらない	商店街（代表者）
	商店街（代表者）		・12月の売上は前年比で6割程度である。今後、自民党が総選挙で勝った勢いで、建築関係、電力関係等が元気になれば、前年と同じ程度の売上になるだろうとみられる。
商店街（代表者）	・ボーナスの支給状況をみても、好転する要素は見当たらない。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般小売店〔酒〕（経営者）	・ここ最近、得意先の飲食店の売上不振の状況がずっと続いている。得意先も売れた分だけしか仕入をしない当座買いが増えている。なるべく在庫を持たないという経営姿勢に徹しており、こうした流れは当分続く。そのため、仮需は見込めず、実需も景気が回復する予兆もないため、今後しばらくは今の状況が続く。
		百貨店（売場主任）	・11月の買上客数は前年実績近くまで増えたが、今月は90%台半ばで推移しており、買上客数の増加が見込めない状況が続いている。
		百貨店（販売促進担当）	・北海道は例年よりも遅い初雪であったが、その後は例年はないほどの大雪に見舞われており、交通機関の混乱などにより、大きな打撃を受けている地域もある。天候の行方が分からず、不安を抱えたまま新年を迎えることになり、生活防衛志向が更に高まることになる。
		百貨店（販売促進担当）	・年末から年始にかけての動員を注視する必要があるが、買う目的がなくても、ふらっと寄ったついでに物を買ってしまうような店舗の吸引力が弱い。
		百貨店（役員）	・12月は寒さや停電といった一過性の要因により売上が増加しただけで、景気そのものが良くなったとはいえない。
		スーパー（企画担当）	・客の購買動向をみても、必要な商品以外のついで買いがほとんどみられない。また、年末年始のような特別な催事以外の日常の買物に対しては依然として財布のひもは固い状況である。
		スーパー（役員）	・地域によって業績に若干のバラツキはあるが、全体ではやや上向き傾向にある。地域経済は決して上向いているわけではないが、12月の数値がこのままで推移するのであれば、来期はかなり良い方に変わる。
		コンビニ（エリア担当）	・たばこの販売量の減少が続いている。特に、地方の店舗の朝のフリー客が減少しており、公共事業の減少が影響している。政権交代しても、早急な公共投資は当面期待できない。
		コンビニ（エリア担当）	・政治、経済の情報から良い話は見当たらない。
		コンビニ（エリア担当）	・政権交代での浮揚を期待する声があるが、仮に景気が上向くことになっても、道内に効果が出てくるまでの時間差があるため、しばらくは変わらない。
		家電量販店（経営者）	・まだまだ景気は変わらない。上昇に転ずるような経済政策が待たれるところである。
		乗用車販売店（従業員）	・今と変わる要素が出てこないかと期待しているのが正直なところで、景気が良くなることはさほど見込めない。
		乗用車販売店（営業担当）	・新商品もなく、良い材料が見当たらない。政権が代わって希望的観測により風向きが変わることを期待している。
		その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・景気の回復が進むような変化が必要である。
		高級レストラン（経営者）	・新政権になって景気が良くなることへの期待はあるが、アメリカの景気の影響もあるため、先行きについてはまだ不透明である。
		高級レストラン（スタッフ）	・現状維持の状況が続く。
		スナック（経営者）	・総選挙も終わり、少し安定してくれば、来年はやや良くなる。
		観光型ホテル（経営者）	・外部要因の大きな変化はないとみられるが、今後、円安が進行すれば、海外客の増加につながる可能性がある。
		観光型ホテル（スタッフ）	・近年、ウィンタースポーツ関連の旅行は低調である。近隣アジア諸国からの入込も期待感が薄い。
		旅行代理店（従業員）	・好調な海外旅行も一定の水準で安定しており、更なる伸びはまだ見えてこない。一方、取扱の多くを占める国内旅行は、更に低価格化が進んでおり、需要は増えても収入は増えない状況が続く。
		旅行代理店（従業員）	・先行受注状況を見ると、国内旅行は2月が前年比77.2%、3月が前年比122.9%となっており、海外旅行は2月が前年比66.1%、3月が前年比111.5%となっている。3月の旅行に若干期待は持てるものの、2か月を平均すると状況は変わらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		タクシー運転手	・現時点では、将来の景気動向について基本的に変わらない状況が続くとみているが、ここにきて国の政権が代わったことにより、期待感が出てくることになる。その期待感が現実の経済に反映される形になればと期待しているが、今のところは不透明な部分が多く、様子見をする状況にあるとみられる。
		タクシー運転手	・景気が良くなる要素が見当たらない。ただ、一般法人からの問い合わせが少しだけ増えてきているため、前年並みで推移するとみられる。
		通信会社（企画担当）	・客の購買意欲を大きく刺激するようなサービス、商品の提供がまだ先になるため、今後も変わらない。
		観光名所（従業員）	・今のところ、2～3か月先までは、当地域への観光入込にプラスとなる要素を見いだせない。
		パチンコ店（役員）	・政権が自民党に変わったとはいえ、大きく何が変わるのかが不安視される。
		その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	・例年、冬期間は輸送量が著しく減少する。
		住宅販売会社（従業員）	・変わる気配がない。
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・デフレが続いている状況で、給料も減り、雇用も不安定な状況が続いているため、改善の兆しがなければ更に悪くなる。
		百貨店（売場主任）	・政権が代わったなか、先が見えない税関関連の不安により、買い控えが進むとみられる。
		スーパー（役員）	・ガソリン代の値上がりや電力会社の電気代の値上げが予定されており、一般的な支出が抑えられることになる。
		高級レストラン（スタッフ）	・経済対策など、新政権への期待感もあるが、今後、飲食店にどう影響するのかわからない。
		観光名所（職員）	・政権交代が行われ、何かしらの景気対策が行われるとみられるが、現在の円安がどこまで続くかによって変わってくる。海外からの観光客の増加よりも、輸入品の価格高騰による消費抑制傾向の方が強く反映されるとみられる。
		美容室（経営者）	・12月は考えていたよりも来客数が良かったが、元に戻るとみられる。
悪くなる		商店街（代表者）	・身の回り品及び食料品等の買物客を除き、来街者が増加する要因はみられない。また、消費者が来街しない理由には気象条件も加わるため、降雪や厳しい寒さがあれば、来街者数が減少することになり、売上のアップは見込めない。
企業動向関連 (北海道)	良くなる	—	—
	やや良くなる	金属製品製造業（役員）	・住宅建築業界においては、消費税増税の影響を受けて、建築着工が増えていくとみられる。
		建設業（経営者）	・政権交代により大型補正が期待される。さらに、新年度においても、公共事業費の伸びが期待される。2～3月の時点では受注、契約のみとなり、工事着手は4月以降になるとみられるが、マインド面では明るさが出ることになる。一方、民間工事については、もう少し先の動きになる。
		建設業（従業員）	・政権交代により景気回復の施策が執られることに期待して、建設企画への積極策を語る機会が多くなっている。
		輸送業（支店長）	・政権が代わり、今後の公共投資、復興関連の加速化を期待している。
		通信業（営業担当）	・当社としては、単価の低下はあるものの、それを上回る受注増及び今後の見込みがある。さらに、視野を広げて考えると、新政権に対する期待感とそれにとまなう株価の上昇等が示すとおり、ここ数年来みられなかった、景気に対する人々の高揚感が景況感に効果的に働くことになる。
		金融業（企画担当）	・新政権が誕生し、公共投資を中心とした大型補正予算が組まれる見込みが強いため、建設業が基幹産業である道内経済にはプラスとなる。
		コピーサービス業（従業員）	・事務所新設の情報もあるなど、今後は少しずつではあるが上向く兆しがある。ネットワーク関連の販売が伸びてきているのと同時に、新型OSの発売が色々な面で後押ししそうである。
		その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	・補正予算を見込んでの設備投資意欲が高まっている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
	変わらない	食料品製造業（団体役員）	・燃油価格の高騰や1月からの復興特別所得税の加算による物価上昇等の懸念から、製造企業のコスト上昇対応に厳しさが出てきている。	
		食料品製造業（役員）	・特に、大きく増減が考えられるような案件が見当たらない。	
		家具製造業（経営者）	・新政権には期待するが、景気が回復基調になる要因が見いだしにくい。国民が納得する新たな戦略が出るまでは様子見が続く。そのため、家具産業も一進一退の状況が継続する。	
		輸送業（営業担当）	・来年度も引き続き、震災復興対策貨物の引き合いが来ており、東北地区への輸送が相当量見込める。	
		司法書士	・新政府の経済対策によって、景気がどの程度回復するかは、今後の状況により判断すべきものと思料する。	
		司法書士	・総選挙の結果、重要課題である景気回復に期待したいが、実際にうまくいったとしても、景気回復の実感が持てるのは1年や2年以上はかかるため、当面は今の状態で推移する。	
		その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者）	・政権が代わり景気が上向きそうなムードにはなってきているが、2～3か月先に実態が好転しているとは思えない。今まで長く続いたダメージはそう簡単には払しょくできない。	
	やや悪くなる	その他非製造業〔鋼材卸売〕（役員）	・この先、顧客の仕事量が増える要素が少ないため、販売量、売上を期待できない。	
	悪くなる	—	—	
雇用 関連  (北海道)	良くなる	—	—	
		やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・政権の交代で、経営者心理に期待感が出ているのかもしれないが、前に動きだそうという様子がかげえる。ここ半年、求人ニーズが前年を大きく下回っていた販売の現場からも、派遣の要望が増えており、停滞から少し前向きな変化が起きている。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・冬らしい天候のため、関連する業界では3月までは引き続きこの良い傾向が続く。また、政権交代による期待感から景気はやや持ち直す。	
		やや良くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・公共投資を増やすという意味では、春という季節も含め、短期的には上向くとみているが、どの程度長続きするかは分からない。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・良くなる要因がない。	
		求人情報誌製作会社（編集者）	・企業の求人意欲は、少子高齢化にともなう労働力人口の不足から、地方ほど徐々に高まっている傾向にある。人材確保の市場は現状維持又は多少上向くとみている。	
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・政権が交代し、農業基盤整備などのインフラ事業を再度強化する方向に動くことが想定されるため、その経済効果が期待できる。	
職業安定所（職員）		・11月の管内の有効求人倍率は30か月連続して前年を上回った。一方、新規求職者数は、自己退職や事業主都合離職者、在職者、無業者、すべてにおいて前年を下回っている。		
	やや悪くなる	職業安定所（職員）	・経営状況の厳しい事業所があるものの、高卒向け求人の出足は各産業とも例年になく増加しており、内定率も19年ぶりに60%を超える状況となっている。しかしながら、いまだ採用計画を検討中の事業所もあり、一般求人についても増加はしているものの、パート求人や雇用期限のある求人が多いため、先行きの判断は難しい。	
	悪くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・ここ2か月の傾向として、求人件数が増加又は横ばいの動きから、減少へと向かいつつある。	
	悪くなる	—	—	

## 2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
家計 動向 関連  (東北)	良くなる	百貨店（経営者）	・県内には輸出企業の部品メーカーが多く、今後円安による景気回復が見込める。株高による資産効果にも期待したい。	
		やや良くなる	商店街（代表者）	・初売りは苦境の時ほど活況を呈すといわれているため期待される。かつてほどの事前にぎわいには欠けるが、準備されている商品構成から推察されるのは、生活密着の地に足の着いた行事となりつつあるのではないかとということである。
		商店街（代表者）	・将来の不安並びに不景気の感も少しは薄れ、少しずつ季節の商品が動いている。今後も観光客、そして地域の人の動きが冬物並びに飲食の方に移行することが予想され、大いに期待される。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般小売店〔書籍〕 (経営者)	・複数の業界で業績向上の兆しがみられ、消費マインドは向上しているようである。賞与の支給も年末は増えてきていると聞いているので、少しずつ上がってくるとみている。
		百貨店(営業担当)	・政府の景気対策にもよるが、株価も上がり景気が好転する兆しがみえており、個人消費の回復も見込まれる。
		百貨店(売場担当)	・1月は今月売上を伸ばした要因であるプレセールスの動員により顧客動員に影響が出るブランドも当然ある。また、当社は冬物クリアランスセールスのスタート日が1月18日のため、初商の勢いが弱まることが予想される。当然、クリアランススタート日の18日も勢いは弱まる。また、やはり雪の影響で来客数が左右される月であるため、1月は苦戦が予測される。オケージョンが強い百貨店としては、1月の反動で2、3月の売上は増加していくとみられる。
		スーパー(総務担当)	・1点単価は今月も前年比94%台と低迷しているが、自民党政権になったことにより、株価も上がり始め、漠然とではあるが将来に希望が持てるような風潮に変わってきているようである。
		コンビニ(エリア担当)	・寒さが厳しくなるにつれ、買われるものが変わってきている。また、風邪や花粉などシーズンの商材に関してもニーズが高くなっている。
		コンビニ(店長)	・現在はやや悪い状態ではあるが、総選挙での自民党の圧勝を受け、総理大臣の発言により株価が上がり円安も進み、若干気分的には回復してきており、一時の下を向いていた状態は脱したとみられる。しかし、これで実体経済が伴っていくかは不透明であり、どうなるかは分からない部分もあるが、徐々に良くなるであろう。ただ、電力関係はまだ厳しいので、若干の懸念材料となっている。
		衣料品専門店(店長)	・前年の震災の特需的なニーズというのはなかなか厳しいが、3～4月にかけての東北地方の就職率というのはあまり悪くないのではないかとみているので、そういった客が動くのではないかと予測している。
		家電量販店(店長)	・政権交代による景気の立て直しに期待している。
		乗用車販売店(経営者)	・低燃費の新型車が好評である。免税商品を中心に需要期の拡販を期待している。
		乗用車販売店(経営者)	・政権交代に期待している。
		乗用車販売店(経営者)	・3～4月は年間で最大の需要期であり、年明けから徐々に良くなることが予想される。
		乗用車販売店(従業員)	・新型車効果があり販売が伸びていることに加え、政権交代に期待を持っている。
		乗用車販売店(店長)	・販売量が厳しい冬季だが、初売や決算時期の3月に向かっていくこれからの時期は需要が若干上向きになると考えられる。
		住関連専門店(経営者)	・新内閣の取組が株価などに反映されており、多少期待が持てるのではないかと。
		その他専門店〔酒〕 (経営者)	・繁忙期を過ぎ全体的に静かになると予想されるが、ここ数日での積雪量が例年以上に多く、この状態が続けば消費者の動きは鈍くなると考えられる。
		その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕 (営業担当)	・新年度に向けて新しい商品があがってきており、受注に期待が持てる。
		都市型ホテル(スタッフ)	・10～12月に行われたプレデスティネーションキャンペーンも終了したので、秋田県では大きな動きはないが、3月に運転を開始する新型「こまち」とデスティネーションキャンペーンのイメージでタイアップして押していくしかない。そういった意味で、3月は非常に注目を集めているので、多くの人が訪れるチャンスととらえている。
		旅行代理店(店長)	・特に次年度は業績が悪くなるからと、当年度経費で消化する動きが多いため、見た目の業績向上が出ると分析している。
		通信会社(営業担当)	・民主党政権から自民党政権になってもすぐには変わらないが、やはり景気対策をしっかりやってもらいたい。新政権は多少期待できるので、来年の3月くらいまでには何とか回復するという期待を持っている。
		通信会社(営業担当)	・選挙が終わり株価も上向ってきており、多少は向上すると予測している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
変わらない		観光名所（職員）	・ 2月に大きなイベントを開催する予定である。
		その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	・ 太陽光発電が急速に伸びると予想している。また、消費税増税前の駆け込み需要を見込んでいる。
		商店街（代表者）	・ 来年1、2月の予約状況は例年と変わらない。予約なしに入ってくる客の数は非常に不透明であり、減り方もかなり激しい状態である。政治的にも混乱している状態であり、先が読めない。
		商店街（代表者）	・ 新政権発足ムードということで株価等を押し上げているが、一般庶民にとっては無関係とわかっていていい。アベノミクスがどう続くか分からないが、軌道に乗ったとしても一般の人の給与に響いてくるのは1年以上かかるとみられるので、まだまだこの状態が続く。
		商店街（代表者）	・ 政権が自民党に移り景気回復を期待したいが、消費者は結構冷やかである。デフレ解消を望む。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	・ これから長い冬の生活になるので出歩かなくなる。
		一般小売店〔スポーツ用品〕（経営者）	・ 商店街自体に活気がない。大手スーパーの無料バスはいつも満杯である。各個人商店での努力では限界がある。かといって商店街で集客を望むようなイベントをする予算も無い。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・ 新内閣は景気に重点を置くということだが、その効果が出るのはずっと先のことなので、現在の不景気はまだまだ続く。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・ 12月は特別に売出しが月に2回あり、その売出しはとても好調であった。1、2月については、例年とさほど変わらないのではないかとみている。全体的には震災前の状態に戻ってきている。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・ 店頭での感触では、客の購買意欲は依然として強く、ただ先々への不安や現在のやりくりのために消費を抑制しているようである。そして景気自体も、政権交代により金融緩和が進むという見通しから、金回りが良くなる可能性がある。一方、エネルギー問題、年金問題、財政、国際関係など構造的な課題は依然変わらず、言われるほど実効性ある緩和策が果たして可能かという疑問もある。
		百貨店（売場主任）	・ 政権が変わり、様々な動きが出てくるのが予想されるが、現時点では変わる要素は見出せない。
		百貨店（総務担当）	・ 依然として景気が上向きになるという確かな要素が無いなかで、政権が変わっても具体的な経済効果がどれだけ出ることかというのがなかなか見えない。そういったことを鑑みるとまだまだ先行きは不透明であり、変わらないのではないかと想定される。
		百貨店（企画担当）	・ 冬物の商売はクリアランスセール期間がほぼ前年並みとなり、横ばいとみる。今後の消費動向は新政権からの経済政策等の発信が消費者に浸透していく来年3月ごろに店頭の春物展開と一緒に多少上向きになると予測している。
		百貨店（経営者）	・ 当地区においては、原発の再稼働問題も解決しておらず、今後2、3か月先において確定している明るい材料に乏しい。
		百貨店（経営者）	・ 郊外への無秩序な出店ラッシュと、中心地の閉店増、定休日増で、ますます中心地の空洞化が進む。郊外商業施設への無料バス、中心地への有料バス、利便性に欠ける循環バスのルートなど行政が関与しないと良くはならない。
		スーパー（経営者）	・ 現在、来客数や単価の低下が止まっているが、一時的な下げ止まりで、工場の稼働率が上がり雇用改善がなければまた下げそうな感がある。
スーパー（経営者）	・ 1月は政府の政策への期待感からか株高や円高は正がある程度進み、日銀の金融緩和もあり、輸出各企業への後押し、収益改善に、そして投資につながることを期待している。輸入価格は高まるだろうがそれ以上の経済成長効果を期待している。これから始まる政府の予算編成もばらまきでなく、経済の再生産活動に繋がる支出になるように期待したい。ただ、執行までは時間を要するので消費環境はこのまましばらく同じとみられる。		
スーパー（経営者）	・ 選挙が終わり新政権が間もなくスタートし、その部分の期待効果が現れてくるが、それも極めて限定的なような気がしている。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（店長）	・競合店状況も変わらず景気が低迷しているなかで、現状からの変化はなかなか期待できない。
		スーパー（店長）	・競合店の出店も一段落している。1年を経過しないと競合状況は変わらない。大きな外的要因が無ければ客の流れ、購買行動は変わらない。現状では、前期実績を維持するのが非常に厳しくなっている。
		スーパー（物流担当）	・政権が変わったものの、良くも悪くも政策の効果が現れるには時間がかかるため、数か月は特に今の状況は変わらない。消費は光熱費の値上げが進み、ますます食費は切り詰められ、安価品へ需要が流れ、小売業の経営は厳しい状況が続くと予想される。
		コンビニ（経営者）	・2、3か月先となると1年で1番の景気の底に当たる時期で、マイナスとしたいところだが、少し客層の改善が功を奏してきている様子もあり、マイナスを若干埋められるのではないかと予想される。当然、前年比ではプラスだろうが、今月との比較ではマイナスとなるであろう。
		コンビニ（エリア担当）	・来客数改善に繋がる大きな要素が無い。
		コンビニ（エリア担当）	・今後も競争店の出店が増加する。
		コンビニ（エリア担当）	・期末までの競合他社の出店情報も多く、業界全体での売上拡大はみえるが、個店レベルの収益拡大の見通しは厳しい。
		コンビニ（店長）	・新政権への期待から数か月の間は景気が上向きになるが、長続きはしない。
		衣料品専門店（経営者）	・政権の移行で景気に対する多少の期待感はあるが、しばらくは様子見の状況が続くとみられ、購買意欲が高まることは見込めない。
		衣料品専門店（経営者）	・自民党政権には経済対策を早急に具体化し、景気浮揚の足がかりを作り雇用拡大に結び付けてもらいたい。
		衣料品専門店（経営者）	・天気が良く暖かくなれば来客数も増えるが、どうなるかわからない。
		衣料品専門店（店長）	・クリスマスといったモチベーションでの需要は高いものの、それ以外の時期は必要なものだけを値ごろに購入したいとする消費者が増えてきており、衣料品の購入に対してシビアになってきている。
		衣料品専門店（店長）	・景気が先行き不透明で、男性のスーツの買い控えが増えており、スーツの販売数量が低下している。
		衣料品専門店（総務担当）	・政権交代で経済対策に期待したいが、早急に改善されるとは考えられず、時間がかかる。
		家電量販店（店長）	・新政権における日銀介入後の景気動向が注目される。
		乗用車販売店（店長）	・繁忙期に入るものの、目立った新型も無く、期待感も薄い。
		住関連専門店（経営者）	・政権が変わったが、まだ変わったばかりなので、経済政策、デフレ脱却のための対策がきちっと見えてこない景気の回復は考えにくく、しばらくは現状のままていくのではないかとみている。
		住関連専門店（経営者）	・一服感のあった震災需要の新築等の建物が、ここにきてまた少し出てきている。そういったこともあり、我々の商品もいくらかは来年になっても販売は好調を維持できるのではないかと期待が持てる。
		その他専門店〔酒〕（営業担当）	・期待感はあるものの、特に景況が良い方向に行く材料に乏しく、年明けから春先までは現状維持といった見通しである。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・政権が変わって、影響が出てくるのは新年度予算の執行を待たなければならず、しばらくはこのままの状況が続くそうである。それまでは現状のままで推移しそうである。
		高級レストラン（経営者）	・政権も変わり、新しく何か見えてくるのではないかと期待している。
		高級レストラン（支配人）	・新年から春先までは、旅行や飲食より堅実な物販への消費が拡大する。飲食等の消費は一時停滞する時期を迎える。
		一般レストラン（経営者）	・今年の12月の特徴としては、パーティーなどの需要がかなり少なく、その代わりに安いお弁当やオードブルなどの注文で済ませるといった傾向が強くなっている。政権も変わったので、暖かくなって少し雰囲気が変われば、景気が良くなるのではないかと願っているが、現在の予約状況からみても今と変わらない状況が続く見通しである。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般レストラン（経営者）	・1、2月は通年では厳しいが、前年よりは1、2割良くなると予想している。しかし、来年は良くなってほしいと思うが、いろいろ見ても良くなる要素がなかなか無いのが現状である。
		一般レストラン（経営者）	・現状の政局と経済界の将来的な話がまとまれば、一時的にでも景気は上向くが、なにぶん今現在のイメージだけでは判断がどちらに転んでもおかしくない状況なので変わらない。
		観光型ホテル（経営者）	・現時点で、2、3か月後の入込においては、景気に左右されない同級会などが目に付く。しかし、どの月も前年比微減となっている。4月から始まる観光キャンペーンに期待する。
		観光型ホテル（スタッフ）	・良い業種と悪い業種の違いがはっきりしていて、良い業種も変に遠慮したりするような傾向がある。この傾向は今しばらく続くとみており、もう少し様子を見る必要がある。なるべく業種間の違いが明確でなくて、広く薄くある程度良くなってくれれば変な遠慮もなく、来客数も増えてくるのではないか。
		観光型旅館（経営者）	・土曜日や休前日は予約が入り始めているが、平日は全く予約が無い状態である。紅葉等の特別な繁忙期以外はそういった状況がずっと続いている。
		都市型ホテル（経営者）	・選挙の影響はほとんどなく、宴会、会食の利用があった。そういった状況からも、3か月後はこの高水準のままで推移するのではないかとみている。決して低下するような客の動きや購買意欲ではない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・消費低迷が如実になっている今、いかに購買意欲のわく商品を作り出していけるか、リピートいただける仕掛けや仕組みをいかにして構築するかである。常に他の大手に先駆けてスピードを上げて、ターゲットを絞った商品と、幅広い層を狙う商品を提供できるかである。販売チャネルの選択も重要な要素である。
		都市型ホテル（スタッフ）	・3月の宴会部門は通年でも売上の期待ができる月だが、送別会、卒業式で学校関係を中心に週末はほぼ満室である。しかし、それ以外の業種の動きは鈍い。
		タクシー運転手	・12月だからであろうが、客からは不景気だという話は聞かれない。ただ、震災景気は過ぎているという話も聞くので、現在の状況がこのままずっといくのではないか。ただ、1、2月は多少乗客が減るかもしれない。
		タクシー運転手	・震災から時間が経過したが、復興はまだまだで、具体的な対策も見えない。
		通信会社（営業担当）	・政権交代で自民党の政治力と経済との連携が上手くいかか不透明である。3月までは変わらない。
		通信会社（営業担当）	・政権交代に期待するが未知数である。また、恩恵があっても建設業界だけではないか。
		通信会社（営業担当）	・一時的な回復は期待できても、本質の景気回復に向かう材料に乏しい。
		通信会社（営業担当）	・初売り商戦等で一時的に消費は伸びるものの、新政府への模様眺めが続くものとみられ、当面は内需拡大へ直接つながらない。
		通信会社（営業担当）	・年度末に向けての転勤異動に伴い、新規加入者、解約者共に増えるが、客が有料テレビやインターネットにかかる費用を抑え気味のため、例年以上の新規顧客の獲得は期待できない。
		観光名所（職員）	・来客数は数%の伸びがずっと続いている。現状のままであれば、震災前よりも格段と良くなるということもないので、このまま変わらない状況が続く。
		遊園地（経営者）	・学校、団体向けに他県の旅行代理店を訪問してきた。震災後の行き先変更がまだ続くところもあるが、戻ってくるというところも少なくなく、一定の手ごたえはあった。
		美容室（経営者）	・今までの流れからすると、施術や必要なパーマなど基本的なメニューだけで、プラスアルファという部分に結び付かない状況がまだしばらく続くとみている。
		設計事務所（経営者）	・急に飛び込みの仕事が入ることはあるが、先の予定を見る限りではまあまあ忙しい状況が続くとみられる。
		住宅販売会社（経営者）	・受注は順調だが、工事金額が大きい大型物件受注にはまだ時間を要する。
	やや悪くなる	百貨店（買付担当）	・復興需要の鈍化とともに消費税増税などが予定されている。



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（店長）	・景気が悪くて所得が減少していることが悪循環に陥っている原因だとみている。本当に魅力のあるもの、必要なもの以外は手を出さない傾向はこれからますます強くなる。
		スーパー（店長）	・競合の状況及び店舗の販売量の状況がやや悪くなっているため、今後についても悪くなると予想される。
		スーパー（営業担当）	・今月はクリスマス、年末需要から商品の動きは良いが、その分、来月以降は例年の傾向から消費を控えると予想される。
		コンビニ（経営者）	・来年はもっともっと厳しい状態になる。
		コンビニ（経営者）	・来月に競合店ができるので、その影響が出てくると予想される。
		コンビニ（経営者）	・売上前年比は戻ってきているが、クリスマス商戦も休日のため惨敗した。消費の冷え込みは依然続く。
		コンビニ（エリア担当）	・競争環境が激しくなり、今後も厳しい状況が続くとみられる。
		衣料品専門店（店長）	・天候にも左右されるが、冬物が終わり春物にもまだ手がつかない時期になる。
		家電量販店（店長）	・スマートフォンやタブレットのように好調な分野も見受けられるが、それ以外の商品ジャンルで伸びていくという希望が持てない。
		その他専門店〔パソコン〕（経営者）	・新年度までは動きが止まっている状態が続くとみられる。政権も変わり、先が見通せない状態であり、実動市場にはまだまだお金は回ってこない。
		その他専門店〔靴〕（従業員）	・政権が変わったからといって大きく変化することはないとみるが、とにかく景気が良くなる政策を実行して欲しい。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・福島県は原発事故が収束しない限り良くならない。
		高級レストラン（支配人）	・政治の流れが変わって、その実態が見えるまでは小さいバブルが膨らむかもしれない。
		一般レストラン（経営者）	・他はどうかかわからないが、私の周りは今後も悪くなるのではないかとみている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・被災地特需で前年夏以降、宿泊、宴会件数共に順調に推移してきたが、今月から来客数、宴会数とも前年を下回り、来月以降の予約件数も前年同時期に比べ減少し始めている。
		旅行代理店（経営者）	・モニターツアーなどの国からの助成による案件が無くなっている分、前年と比べると悪くなるとみている。復興関連の仕事がどれだけ動き出すかでも変わってくる。
		タクシー運転手	・吹雪や雨のときは乗客が多いが、それ以外は乗り控えが非常に目立っている。
		テーマパーク（職員）	・震災から約2年となり、被災地である当地域を対象とした、復興支援の客も徐々に減りつつあるなか、選挙により政権が変わったが、具体的な景気浮揚策、復興支援策の結果はすぐには出ない。
		競艇場（職員）	・時期的に目玉となる販売商品が無く、売上は伸びない。
		美容室（経営者）	・今まで毎月来ていた客が2か月に1回になったり、頻繁にパーマをかけていた客がカットだけになったりと、美容料金にお金をかける客が少なくなってきた。
	悪くなる	商店街（代表者）	・商店街として年末でもまとまった活動がない。
		一般小売店〔寝具〕（経営者）	・復興が進まないで客の動向がいまいち分からず、不安を感じている。
		乗用車販売店（経営者）	・政権交代で円安並びに株価回復で少々期待感はあるものの、エコカー補助金終了による反動減がこのまま続き、依然として客の財布のひもは固いまま、買い控えの傾向は強まるとみる。そして、新型車効果も非常に短く、新車販売は現状と変化なく推移するものとみているが、向こう3か月間については新車販売は前年比約20%ダウンになるだろうとみている。
		一般レストラン（経営者）	・例年、年明けはがくっと落ちる傾向にあるので、今回12月にある程度吐き出した分、蓄えなければならないという動きになり、財布のひもは固くなると予想される。
		スナック（経営者）	・当地域は雪が降ると極端に客の動きが悪くなるので、多少の新年会はあるだろうがあまり期待できそうにない。
		観光型旅館（スタッフ）	・予約の発生よりも取消が多い。新規の予約発生も見込めず、苦しい状況となりそうである。休館日の数も前年より多く、その分だけ前年比で売上が無い状況になる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・新政権の経済政策に期待する向きもあるらしいが、地方にある中小企業は、緩和政策の恩恵を受けて消費が伸び売上が回復する前に、円安や品薄による材料費の高騰による悪影響と、増税による資金難に見舞われそうで警戒している。	
企業 動向 関連  (東北)	良くなる やや良くなる	—	—	
		食料品製造業（総務担当）	・政権が変わり金融緩和など景気対策が実施され、消費者の購買意欲も活発になるのではないかとみている。	
		電気機械器具製造業（企画担当）	・我が社の製品が関連する市場では受注価格が上がる傾向にあるが、受注価格の上昇が会社の業績、日本の電子部品業界の業績に好影響を与え、徐々に景気が良くなっていくとみている。また、新自民政権への期待、財政政策の変化により、日本全体として春に向かって少しずつ前向きになり、景気が徐々に上向いていくと考えている。	
		建設業（従業員）	・政権交代により、一種のプロパガンダ的発注が年度内に行われる可能性が出てきている。	
		広告業協会（役員）	・今後の出稿も3月ごろまで引き合いがあり、好調を持続するとみている。大手広告主がマスメディアの広告を再び見直してきたことに加え、新政権への期待で出稿を増やしてきているようである。	
		広告代理店（経営者）	・政権も変わり、社会全体的な景気への期待感で、変化があるだろうと予想される。	
		経営コンサルタント	・新政府の経済対策に期待している。	
		司法書士	・消費税増税前の駆け込み需要としての住宅着工件数が増加しつつある。	
		公認会計士	・復興関係の需要が新年度にかけて徐々に始めると予想される。	
		コピーサービス業（経営者）	・政権交代に対する期待感だけではあるが、良くなる方向にいくとみている。	
		その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	・スーパー、小売店への出荷は順調なことから、一般の酒類消費は安定していると考えられる。政府による景気のでこ入れについて期待感があり、料飲店向けの出荷回復が見込まれる。	
		変わらない	農林水産業（従業者）	・自民政権になったものの、それで農業関係の政策ががらりと変わることはない。
			食料品製造業（経営者）	・牛タンはブーム的な面も感じられ、その流れがここしばらく変わっておらず、現在、前年以上の数字を上げることができている。今の状況からすると今後もまざまま変わらないとみている。
			食料品製造業（経営者）	・政権が変わってどのような政策を出してくるかまだわからないが、早く景気を良くしてほしい。
			繊維工業（経営者）	・政権が変わり経済対策を最優先にするというので期待したい。
			木材木製品製造業（経営者）	・冬場に差し掛かり、需要があまり期待できない。
			一般機械器具製造業（経営者）	・自動車部品を取り巻く環境は現状と大きく変わることはないが、為替水準がこのところ円安に動いているので、輸出環境はやや改善されるとみている。
			建設業（経営者）	・公共投資の増加や公共団体の地産地消関係で木材の助成が出るので、ある程度の受注の期待が持てる。
			建設業（企画担当）	・政権交代で期待感は大いだが、出件予定の案件量に対し、人手不足及び労賃高騰等の状況に変化はなく、景気は現状とあまり変わらない。
輸送業（従業員）	・国際線が増便しておらず、取扱貨物量にも伸びが認められない。			
通信業（営業担当）	・既存顧客の契約継続に対する反応は冷やかで、予断を許さない状況には変わりはないが、現状維持の傾向となる見通しである。			
通信業（営業担当）	・政治による影響が大きい。			
金融業（営業担当）	・特に大きな変化要因は無い。			
金融業（広報担当）	・自動車販売はエコカー補助金終了により販売台数の減少が見込まれたが、一方で低燃費の軽自動車販売が好調で、トータルでの販売台数を確保している。また、生産面では紙・パルプ業で生産水準引き下げが見られるなど、各方面で一進一退の動きが見られる。結果、大きく振れる動きには至らない。			
広告代理店（経営者）	・状況に大きな変化は見られない。			

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）	・ 今月あたりから円安や株高の方向に向いているので、そういう影響は来年も続くのではないかと。購買が上向き、景気は良くなるとみている。
		その他企業〔企画業〕（経営者）	・ 政権が交代したのでこれまでと異なるエネルギー政策に期待しているが、それによる効果はまだまだ先という見方をしている。
		その他企業〔工場施設管理〕（従業員）	・ 景気に変化する要素が見当たらない。
		金属工業協同組合（職員）	・ 駆け込み等による若干の受注微増はあるが、次月の受注量の確保が見えてこないため、一過性に過ぎないとみている。また、超短納期及び低単価であり、残業を余儀なくされ原価割れでこなさなければならない状況である。
	やや悪くなる	食料品製造業（総務担当）	・ 消費の微減と輸入原料の値上がりで、厳しい状況は続く。
		土石製品製造販売（従業員）	・ これから年度末へ向けては新規発注工事も少ない。大きな建設事業は雪が一段落する春から始まる。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・ これまで親会社に保護されてきた地方の出先製造拠点も本体から切り離され、自前で稼ぐことを求められてきている。それができないところは拠点閉鎖、良くて売却という状況であり、今後の景気動向はやや悪くなっていくと予想される。
		輸送業（経営者）	・ 現状を維持できる状況になく、更に何らかの状況変化があると予想される。
	悪くなる	農林水産業（従業者）	・ 初冬には農機具店の展示会が毎年行われているが、今回は見に来る農家の人が例年よりも大分少なかったとセールスマンが言っていた。また、農家の収入はこれから入るが、原発の賠償金が入った前年よりも、大分少なくなるだろうとみている。
		出版・印刷・同関連産業（経理担当）	・ ここ3か月、受注残高が前年割れとなっている。印刷業なので、景気が悪くなると敏感に反応して売上が減っている。
通信業（営業担当）		・ 外交問題及び震災復興の遅延がある。	
雇用関連 (東北)	良くなる	—	—
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・ 既に1～3月までの年度替り時に移籍や引き抜きの話が多く出ている。派遣雇用枠が埋まると考えればチャンスは減るが、直接雇用に変更することで、取引関係が強化、評価され、潜在的な採用ニーズを聞くケースも多くなってきている。
		人材派遣会社（社員）	・ 政権が交代し、景気対策が短期的にも功を奏することを期待している。
		人材派遣会社（社員）	・ 年度の変わり目は、短期的な採用など求人数の増加は期待できる。また、上向いていくとの話を同業者からも聞く。
		アウトソーシング企業（社員）	・ 今後も震災関連の仕事が多くなることが想定される。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・ 自民党の景気浮揚策がどれだけ功を奏するか不透明だが、少なくとも今の状態から抜け出す期待感はある。ただ、被災地復興は風化の恐れが強まっており、上向きになるかどうかはその1点にかかっている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・ 自民党の支持を表明する広告主が選挙前からあり、政権交代したことで積極的な広告展開の提案ができる。周辺から景気対策への期待感もうかがえる。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・ 自民党政権の経済政策を観察する必要がある。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・ 2、3か月先に良くなる材料は現時点では無く、通常の年度末関連の需要も不確実である。
		人材派遣会社（社員）	・ 企業の新卒求人の意欲は変わらずあるが、先行きが不透明なので、採用人数を決定できない、もしくは今年と同等までしか採用できないというメーカーが出てきている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・ 自民党政権の経済政策を観察する必要がある。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・ 前年の豪雪は例年以上の大きなものであったので、マインド的にもう一つの感ではあるが、それに対して有利な業種は前向きに考えている。
		職業安定所（職員）	・ 新規求人数は前年同月比で伸びているものの、増加率がこれまでの2けたから2か月連続で1けたになっている。また、製造業では2か月連続で前年同月を下回るなどマイナスが危惧される要因もある。
職業安定所（職員）		・ 受注及び売上が減少している企業が多く、休業等の雇用調整の相談が増加している。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		職業安定所（職員）	・年末でもあり、多少消費は回復してくるが、厳しい状況は続く。総選挙で日本経済が多少失速していたものの、政権交代の影響で景気回復が多少加速してくるのではないかと。しかし、まだまだ先が見えない状況が続くとみられ、回復時期は見えない状況である。
		職業安定所（職員）	・求人は引き続き好調に推移するものと考えているが、一方で求職者の減少も進んでおり、求職者の活発な応募については懸念される状況になってきている。
		職業安定所（職員）	・求人数は増加傾向にあるものの、正社員求人がまだ不足しており、就職件数が一進一退している。
		職業安定所（職員）	・新規求人数は前年比で増加しているが、来年1月に1社、3月に1社、人員整理を検討している事業所があるため、先行き不安な面もある。一方、有効求人倍率は8月0.95倍、9月1.02倍、10月1.10倍、11月1.19倍と、最近では数字の面では上昇しているのも事実である。期待と不安が半々である。
	やや悪くなる	職業安定所（職員）	・製造業を中心に雇用調整助成金の問い合わせも増加してきているほか、企業整備による離職者も予定されており、業種によっては状況は非常に厳しい。有効求人倍率も低下していくのではないかとみている。
		職業安定所（職員）	・当所の基幹産業である製造業の求人が減少している。また、震災復興や増税前の新築のため建設業は求人が増加しているが、これは一過性のもと考えられる。
		民間職業紹介機関（職員）	・求人件数の減少並びに地域企業の人員対策施策の増加により悪くなる。
	悪くなる	○	○

### 3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (北関東)	良くなる	－	－
	やや良くなる	商店街（代表者）	・2月から新入生向けの販売が学校によっては始まる。忙しくなるため、今よりも良くなると思う。
		一般小売店〔家電〕 （経営者）	・次年度における売電価格の低下を見越すと同時に今年度中の太陽光発電システムへの補助金獲得を意図した駆け込み需要に期待している。
		百貨店（営業担当）	・政権交代で、景気への期待感がある。
		百貨店（営業担当）	・新政権になり、株価も若干上がり、円安の傾向に走っているため、消費も若干浮上するという期待感がある。
		百貨店（店長）	・政権が変わったことで、景気が良くなるというムードが芽生えている。
		スーパー（店長）	・客単価を上げる要因の1つである1点当たりの単価が上がっているため、近隣のお金は回り始めていると感じる。このままの状況が続くと思うため、多少は良くなる。
		スーパー（統括）	・全体の売上高が11、12月と2か月連続で昨対を上回り、食品、衣料品が共に堅調な動向から、消費マインドは底堅さが感じられ、株価の回復や円安傾向で景気回復への期待感が持てる。
		家電量販店（店長）	・新政権誕生で経済重視の政策が期待できるのだろうか。エコポイントのような施策を期待する。
		乗用車販売店（経営者）	・決算期に向かって需要の増加が期待される。
		乗用車販売店（統括）	・3月の期末決算に向けて、毎年、自動車販売台数が増えるためである。
		自動車備品販売店（経営者）	・毎年2、3月は車の販売なども需要期であることや、今回の政権交代などが手伝って、やや景気は好転すると予想される。
		一般レストラン（経営者）	・来月からは新年会が多く入っている。新政権となって今後どのようなようになるか楽しみである。
		スナック（経営者）	・政権交代したことへの期待感がある。何となく客の話が明るくなってきたような気がする。
		観光型ホテル（営業担当）	・政権交代に伴い、デフレ脱却と経済再生に皆、多少は期待感を持っている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・政権も変わったので、少しは景気が良くなるかと期待している。また、飲食関係においては、これから新年会、歓送迎会というシーズンに入ってくるため、少しは期待できる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
変わらない		旅行代理店（経営者）	・新政権に変わったため、景気はやや良くなると期待している。旧政権があまりにも悪すぎたため、皆も同じ考えているのではないかと。
		旅行代理店（副支店長）	・総選挙が終わり、各報道で景気の上向き感、金融緩和を含めて上向いていく様子がうかがえる。また、当地域においては新政権が大勝したことにより、景気が良くなることを期待するとともに、良くなる感が出ている。
		通信会社（営業担当）	・急激な変化はないまでも、今後新政権下での景気対策が順調に推移すれば、少しずつ消費が高まる可能性がある。
		通信会社（局長）	・政権交代により、景気回復に対する期待感も高まっている。
		その他サービス 〔フィットネスクラブ〕（支配人）	・旧政権から新政権に変わったことで日経平均株価が上昇したことが、良い方向へ作用すると思う。
		設計事務所（経営者）	・年度内は仕事が重なり、対応に追われる。
		住宅販売会社（従業員）	・政権交代後の景気対策に期待する動きが出てくると思う。
		住宅販売会社（経営者）	・前政権の閉塞感からやっとな小さな光が見え、将来に向けての期待感でやや顧客の動きが良くなると思う。
		住宅販売会社（経営者）	・新政権によって経済成長が2%上昇ということが可能になると同時に金融緩和策が功を奏して、金融機関がもう少し融資条件を緩くしてくれれば、少しは良くなりそうである。
		住宅販売会社（従業員）	政権が変わり、円安が継続することで自動車産業に安ど感が出てくれば、当地域の市場は更に良くなると思う。
		商店街（代表者）	・良くなるよう期待はするが、現在の様子では良くなるとは到底考えられない。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	・政権が変わったため、土木建築業も明るさが出てくれば良いと思う。他の業者も期待できそうではあるが、不安である。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・必要な物以外の消費がないなかで、売上の維持も厳しい。エコ家電の需要も故障時の買換えしか望めず、また、安価な家電製品は量販店との価格競争にはかなわないため、製品販売だけでは先行きは厳しい。
		百貨店（販売促進担当）	・今年の冬物クリアランスは今夏と違い、日程に大きな変更がないためマイナス要素は少ないと思う。しかし、従前の流れである節約志向は今後も続き、政権が交代し、多少の高揚感が出て現状と変わらないと思う。
		百貨店（販売促進担当）	・価格訴求に対する消費者の反応は良いため、クリアランスセールは多少期待できるが、その後は好転する要因は見当たらない。新政権で情勢は若干変わると思うが、それが消費につながるとは思えない。
		百貨店（販売担当）	・来客数はここ数か月、前年とほとんど変わらない。
		スーパー（経営者）	・政権交代により具体的な効果が現れるのかは、不透明である。
		スーパー（店長）	・曜日ごとの客数は、数か月間変化がない。
		スーパー（総務担当）	・新政権に変わり、円安、株価の上昇等期待は感じられるが、個人の収入が実際に増えないと消費に回ってこない。
		コンビニ（経営者）	・コンビニで売っている物はネットやスーパーやドラッグストア、ホームセンターで更に安く買えるため、やや苦戦している。しかし、近くの有料トンネルの通行券などは1日に7万円以上売れる日があるため、金額にかかわらず必ず使うという商品の更なる強化を目指している。
コンビニ（経営者）	・数年前のように、ヒット商品でも出ない限り変わらない。		
コンビニ（経営者）	・先行き期待感はあるが、根本的改善にはまだ遠く、低迷時期がまだまだ続く。客が慎重である。		
コンビニ（店長）	・客の購買意欲は、季節ごとの商品を買うということが薄れてきているため、若干変わってくると思う。しかし、普段の買物自体は、逆にあまり変わっていかないと思う。		
衣料品専門店（統括）	・年末年始の買物客が多い時期ではある。しかし、今年は年始用の注文はある程度入ったが、一般のフリーの客がほとんど街の中に出てこない状態である。今後もこの街に客が戻るのいつなのか、検討がつかない。		
家電量販店（営業担当）	・新政権になり、いきなり改善は考えられない。時間はかかると思うが期待している。		
乗用車販売店（営業担当）	・ユーザーの関心がエコカーにあるように思う。燃費の良い車中心の商談になりそうである。件数はまだまだ少ない。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		住関連専門店（経営者）	・都市部での景気がやや上向いても地方に反映されてくるのは常に半年後くらいで、しかも緩やかな場合がほとんどである。
		住関連専門店（仕入担当）	・安売りへの反応も必要以上の購買数にはつながらず、消費については厳しい状況が続く。
		一般レストラン（経営者）	・このデフレの状況から脱却しないことには、なかなか経済状況が良くなるとは思わない。政権が交代したため少しは期待できるが、すぐに効果は出ないと思うため、しばらくは変わらない状況が続く。
		一般レストラン（経営者）	・飲食店関係全体では、まだまだ安定した商売になるほど来客数、客単価共に動きは見られない。
		一般レストラン（経営者）	・政府の政策も、国民にとっては用心のためという思考に変わってしまうのではないかと。
		スナック（経営者）	・良くない状態のまま変わらない。いよいよ政権が交代したが、これから少しでも良くなることを期待している。
		観光型旅館（経営者）	・今月の売上と来月の予約状況が前年と同等である。しばらく顧客の動向に変化はないと思う。
		都市型ホテル（営業担当）	・12月の好調時期を超過し、年が明けると若干下がるという傾向がある。現在、株が上がったり、円安になったりと少し景気が改善しているが、やはり雇用が非常に厳しい状況がまだ残っているため、必ずしもビジネスホテルの稼働が良くなると思わない。プラスマイナスがあって変わらない。
		旅行代理店（所長）	・今年末は、休日をうまく使えば最大9連休となるため、比較的平準に旅客が動いている感じがする。列車あるいは自動車の動きから見ても、上向きに推移していると感じる。
		旅行代理店（営業担当）	・2013年は、国内や国外においても話題になるイベントがこれといってないため、旅行業界にとっては業績が上向く要素がない。
		タクシー（経営者）	・景気が急に良くはならないので、この先も変わらないと思う。
		通信会社（経営者）	・政権与党が変わり、来年以降のデフレ脱却に期待するが、仮に想定どおりに行っても、実際に景気回復を肌で感じられるには2～3年はかかると思う。
		通信会社（経営者）	・まだまだ一般企業や店舗は不景気な話題で持ち切りである。年度末に向けた営業もことごとく先送りになり、数か月で持ち直すとは到底考えられない。
		通信会社（総務担当）	・政権交代の影響を期待したいが、まだ先行きが不透明なため数か月では変化は期待できない。
		通信会社（販売担当）	・政治不安や大手メーカーの業績不振が続いており、3か月ぐらいの間では改善できないと思う。
		テーマパーク（職員）	・前年に比べて、クリスマス連休の日並び悪く、また寒波の到来など天候の影響から来客数が伸びない。
		遊園地（職員）	・回復基調を期待したいが、先行き不透明な状況が続いている。
		ゴルフ場（業務担当）	・12月については、入場者数が前年比でほぼ同じであるが、売上が前年より減っている。ここ2、3か月は、なかなか前年までの売上に届かない状況である。向こう2、3か月については、これまで1月は前年比を上回る傾向であったが、単価がそこまで伸びるかは疑問である。収益面にその分が跳ね返ってくると思えないため、入場者が確保できても売上が伴わず、収益の改善にはなかなか結び付かないと思う。
		競輪場（職員）	・年末の競輪グランプリの売上が、前年度とほぼ同額である。
		その他サービス〔清掃〕（所長）	・お歳暮や新年の買物等で購買意欲は高まるが、その後は元の買い控えになり、期待はできない。
		その他サービス〔立体駐車場〕（従業員）	・2月から3月ぐらいにかけては春の梅祭りということで、毎年来客数、販売量共に同じぐらいで推移している。そのため、来年の2、3月についても同じように感じられるため、変わらない。
		設計事務所（所長）	・東北方面に何人か現場職人が加勢に行く始末である。できれば地元で忙しくなれば良いのだが、なかなか難しい。現状維持から少しでも上昇させたい。
		設計事務所（所長）	・久しぶりに具体的な問い合わせがあったが、これは政権交代によるものではない。これまでの積み重ねが丁度今になった、という感じであり、全体の底上げに結びつくものではない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	やや悪くなる	百貨店（店長）	・政権交代による期待から株式市場は上昇しているが、本当に期待通りになるのか。たとえ景気が回復してきても、個人消費に結びつくのはかなり先の話である。
		スーパー（経営企画担当）	・11月頃から買い渋りになり、点数が上がらなくなってきている。
		コンビニ（経営者）	・1月から3月にかけて雪も多くなって非常に寒いこともあり、また、特にイベントもあまりないことから、12月の暮れの盛り上がりから比べると、冷え切った商売になりそうである。
		コンビニ（経営者）	・年末が終わり、イベントもなくなるため、やや悪くなる。
		コンビニ（経営者）	・客の買物が少なくなってきている。一人当たりの客単価がどんどん低下していく。客の財布のひもがだんだん固くなっていくことが原因である。
		衣料品専門店（店長）	・今月は政権交代による景気上昇の期待感が高まり、株価の上昇や円安に大きく影響したため、景気が上向きに動き、中旬以降の売上が比較的良かった。2、3か月先の状況は、政府の政策次第ではあるが、このまま上向きの動きで今月のような状態が続くと思うが、一般家庭の収入増がないと景気が依然として厳しい。
		衣料品専門店（販売担当）	・年明けとともにセール待ちという客もたくさんいると思うが、現実的にはもう1か月ぐらい前倒して12月からセールに入っている。それでも客の購買意欲、来客数そのものが激減している。今後も年明け早々のにぎわいは多少は期待できるが、その後は例年通り暇な2月が目の前に待っており、3月まで伸びていってしまうのではないかと、残念ながら冷え込んだ気持ちでいっぱいである。
		乗用車販売店（従業員）	・販売台数も減少傾向になっており、エコカー補助金の終了で今後伸びる要因がない。
		乗用車販売店（販売担当）	・当社は外国車を扱っているが、ここ12月にきて極端に来客数も減っており、新車の登録も極端に少ない。降雪の状況や、観光客の来場者、宿泊によって随分左右されるため、来年の1、2月は極端に寒いということで、恐らくホテル関係の客も少ないと思う。また、少ないということは当然、従業員も財布のひもが固くなるため、よほど良い要素がない限りは、来年の1～3月あたりは少し落ち込むのではないかと。
		高級レストラン（店長）	・春の観光シーズンまで、トンネル事故の心理的影響や交通渋滞の解消がかなり残ると思うため、影響が出る。
		スナック（経営者）	・先の見通しがきかない状態になっている。
		都市型ホテル（支配人）	・宿泊及び宴会の予約は例年より少なめで、間近になって予約する人が多く、先が読めない。例年より予約状況が悪いことが予想される。
		旅行代理店（従業員）	・円ドル為替レートや、燃油サーチャージが不安定のためである。
		旅行代理店（副支店長）	・近隣の会社の景気が良くない。週休3～4日というところが出始めている。当然ながら海外出張や社員旅行などの話が減ってきており、今後の旅行において大きなダメージが懸念される。また、燃油や為替が安定していないこともあり、海外旅行については、客も料金に対して敏感になっている。
		タクシー運転手	・昼間と深夜の客が少ない。早く景気が良くなってほしい。
		タクシー運転手	・現在、競争相手がいなくなり、駅周辺での営業は当社だけでやっているが、来年は他の会社が入る予定である。
		その他レジャー施設 [アミューズメント] (職員)	・一頃と違って、アミューズメント系の店が増えているということはないが、全体的に客の流れが少なくなっている傾向は続くと思う。
美容室（経営者）	・1月の後半から寒気が入りやすくなり、非常に寒くなると客も外出しないため、売上が激減する。		
悪くなる	商店街（代表者）	・年が変われば一段と出費が増えるとの声が多い。買物も控えめに済ましているように感じる。	
	商店街（代表者）	・閉店や廃業店が最近多く、商店街の形をなしていない状態のため、目的買いの客以外の来店も少ない。	
	一般小売店 [衣料] (経営者)	・観光客の動きは、今月は少なかったが、正月はかなり増えていきそうである。地域にお金が落ちれば経済も良くなると思うが、そういった状況までできておらず、残念である。	
	百貨店（総務担当）	・店の売上の20%を占める菓子メーカーが撤退してしまい、この1年半で全体の売上が大きく減少になり、閉店せざるを得なくなった。非常に残念である。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（店長）	・1月中旬に当店前の道路延長線上に、同じチェーンに属する店が新しくオープンする。当店商圏内であり、現在でも状況は芳しくないため、その影響を脱するのはかなり困難である。
		観光型ホテル（経営者）	・福島第一原子力発電所の事故の影響も残るなか、電気料金値上げに始まり、円安による油やガスの急激な高騰によるランニングコストの大幅増加が、経営に大きく負担になってくる。円高によるインバウンドの増加は円安時の減少より緩やかなため、訪日外国人増加による利益より燃料費負担増加が大きくなり、国内需要が減少傾向にあるため、結果、地方の景気は今後ますます悪くなる。
企業 動向 関連  (北関東)	良くなる	その他製造業〔環境機器〕（経営者）	・今までのレンタルリースの上に新規契約が重なっていくため、企業の安定につながると思う。
	やや良くなる	窯業・土石製品製造業（経営者）	・12月に政権交代があり、この先の希望として良くなって欲しい。株価も上がり、円安になっているため、良くなると感じている。
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	・季節的要因で、3月ごろまでは荷動き、売上が増加すると期待している。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・このところ円安、株高になり、若干だが気持ちのほうが悪くなってきている。新政権がどうなるか分からないが、まともな政治運営をすれば、2、3か月先は良くなるのではないかと。
		通信業（経営者）	・新政権次第だが、景気対策に期待したい。
		司法書士	・少しずつ良くなっていることと、期待感が大きい。何とか良くしよう、良くしたいという期待感がある。
		経営コンサルタント	・年末の商業施設、観光施設など、これまでより人の動きが多く見られ、消費面が若干刺激されると思われる。
	変わらない	食料品製造業（営業統括）	・年末年始の売上増も期待できず、しばらくこの状況が続く。また、回復するのは春先になると思う。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・受注、販売量共に見込みが立たない状況である。
		金属製品製造業（経営者）	・公共などの入札が取れば良くなるが、価格の面でなかなか取るのが難しい。そのため、本当によく分からない。
		一般機械器具製造業（経営者）	・中国市場の建設機械も若干動き出したという情報もあるが、まだまだ在庫調整が終了する気配が感じられず、近々の回復は難しい状況にある。自動車関連も、軽自動車の売れ筋車種にコンパクトカーの市場が奪われている状況もあり、現在、当社が手がけているアイテムの増産は望めそうにない。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・様々なことがあまりにも複雑で、何をやっていいか分からない状態である。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・株価の上昇によって景気の高揚を期待している。しかし、円安によって輸入材料が高騰しつつあり、将来への不安が残る。
		輸送業（営業担当）	・ようやく政権交代したが景気が上向く材料はなく、インフレ傾向でいくと、どうしてもお金の価値が下がる。特に円安によって燃料高になり、利益の幅が大分少なくなる模様である。物量的には、白物家電や春物向けの衣類等は前年並みに動きそうである。
金融業（経営企画担当）		・円高の影響により、製造業において売上の増加が見込めない。	
金融業（役員）		・新政権で景気の回復策が出てきても、それが浸透するには半年なり1年かかると思う。したがって、すぐ良くなるとは考えられない。また、公共事業等の関連は良いが、その他の卸や小売の所は、先が見えない状況である。	
新聞販売店〔広告〕（総務担当）		・賞与が出せなくなった、前年より減ったという会社の話を4社聞いた。年末のカレンダー等も、注文は必要本数に絞る会社、今年からやめた会社もあると聞いている。	
社会保険労務士		・年末も特に忙しいわけでもない事業所が多く、春先までは、このままずるずるいくと思う。	
その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）		・投資予算の圧縮は当面続き、厳しい状況が続くと思う。	
やや悪くなる		化学工業（経営者）	・3月の期末にかけての注文の話が、非常に少ない。取引先企業の3月末の利益確保が十分でないためである。



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		電気機械器具製造業（経営者）	・自動車関係では中国の問題があり、大減産をしている。その影響で当社も受注量が4分の1ぐらいになってしまった。その他の仕事は例年どおりであることから、その落ち込み分が少し響いてくる。また、年度末に向けての在庫調整がどうなるかによって景気が左右されると思う。
		電気機械器具製造業（経営者）	・受注確保に懸命であり、先は分からない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・客先、同業各社を見ても、景気が上昇するような要因が見当たらず、一般的に製造業では陰りが見える。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・先行きの見通しが非常に悪い。政権が変わり、景気対策に力を入れるとのことで、早く実現してもらいたい。
		金融業（調査担当）	・海外需要の回復には、しばらく時間がかかるといった見方が多く、先行きの不透明感も拭えない状況にあるため、引き続き厳しい状況が続くと見ている。観光面では12月の寒波でスキー場には十分な積雪があり、スキー客の増加が期待される。ただ高速道路の崩落事故の影響があり、観光面への影響も懸念される。
		不動産業（経営者）	・経費削減が強いられ、必要な備品の購入も慎重になる傾向が定着してしまっている。周りも消費には消極的になっている様子が見られ、すぐには変わらないのではないかと。
		広告代理店（営業担当）	・年末商戦が静かに進行しており、活気に欠ける。そのまま年が明けて、盛り上がるのが疑問である。
悪くなる		食料品製造業（製造担当）	・円安に変わり、輸入の原材料がいよいよ値上がりしてきている。川上が上がっても、川下では相変わらずのデフレ状態にあるため、本当に厳しくなる。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・相変わらずの受注量や、価格競争による利益の低下のため悪くなる。
		一般機械器具製造業（経営者）	・親工場の海外移転と、自動車メーカーの減産により、受注量が減少しつつある。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	・大手自動車メーカーの生産の3か月見通しを見ると、その前の見通しとのかい離が、やはり出てきている。特に2、3月については大幅に落ち込む予定ということで、減産基調に入ってきている。非常に困ったことになってきており、危機感を持っている。派遣社員を全部解約しており、人員を圧縮せざるを得ないと感じている。
		建設業（総務担当）	・公共工事主体で土木舗装工事を行っているが、12月末現在で受注が厳しい状況が続いている。3月で中小企業金融円滑化法が期限切れになり、銀行の対応が心配である。地域ファンドの話もあるが、建設業者には厳しい対応になると思う。
		不動産業（管理担当）	・建物維持管理には計画的な修繕が必要であるが、今後もその期間を不便のない程度に伸ばして経費を削減しようとする傾向は続くと思う。
雇用 関連  (北関東)	良くなる やや良くなる	—	—
		人材派遣会社（経営者）	・内閣等の動きが出たため、デフレからの脱却を期待している。自動車関連、携帯電話、スマートフォン等の細かい部品についての動きは、ある程度固く見込まれている。衣料品関係、それに伴う付帯用品は、かなり寒さも厳しい状況であるため、販売高の動きが出てくると思う。依然としてサービス業については募集傾向も根強く、頑張っしてほしいところである。
		人材派遣会社（経営者）	・小人数ではあるが、あちらこちらの会社から依頼があり、売上も良くなる予定である。
	人材派遣会社（営業担当）	・政権の交代で、建設関連をベースに景気浮上感がある。	
	変わらない	求人情報誌製作会社（経営者）	・今の景気低迷が続くなか、しばらくは求人募集に対しても厳しい状況が続くであろう。
職業安定所（職員）		・特段の新規求人の情報もなく、1月は新規求職の増加が見込まれる。悪い状況がこのまま続くと思う。	
やや悪くなる		人材派遣会社（管理担当）	・年末の派遣需要が緩やかに減少し、回復の見込みがない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		職業安定所（職員）	・11月の新規求人数は、前年同月比6.0%の増加となり、数字的には増加に転じている。具体的には、税務署から3月までの有期雇いで、確定申告の事務補助がパートタイムで60数名分求人があったため、若干の増加につながった。産業別での新規求人数は、先月同様製造業などで前年同月比25.7%減で求人については厳しい状況下にある。今後、管内の大手製造業などで雇用調整の実施があり、求職者が増加することも予想される。
		職業安定所（職員）	・12月に事業所閉鎖と大量離職を控えていることや、日中関係の悪化により事業の一部が縮小になる事業所があるため、景気回復の見通しは立っていない。
		職業安定所（職員）	・人員整理、人員縮小を行う事業所の情報がいくつか入ってきており、今後事業主都合離職者が増え、求職者全体の動きにも大きく影響する恐れがある。
	悪くなる	○	○

#### 4. 南関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (南関東)	良くなる	コンビニ（経営者）	・新政権になってから、総体的に、消費者は、従来よりも先行きを非常に期待しており、景気が良くなるのではないかとことから、良くなる。
		その他小売〔雑貨卸〕（経営者）	・新内閣が発足し、様々に積極的な政策が打ち出される可能性があるため、良くなる。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・政権が変わり、株価が上がり世の中のマインドが上向きであることは、この街にはてき面に反映される。短期的なものかも知れないが、株価が上昇しているのは非常に好材料である。
		商店街（代表者）	・やはり何ととっても、政権交代だろう。だからといって何が良くなるのかは分からないが、労働組合を政権基盤とする素人内閣に比べれば、政治素人の私たちにでき、安心できると思えるからである。日本経済の復活を望みたいものである。
		一般小売店〔家電〕（経理担当）	・新政権に変わって景気に対する期待感を持つ人が多いようである。例年だと1、2月は物の動かない月だが、期待を持ちたい。
		一般小売店〔文具〕（販売企画担当）	・来月に関しては、ある程度、大きな仕事が決まっているということもあり、やや良くなると思う。ただし、それほど大きな仕事ではないため、とてつもなく良いということではない。まだまだ予断を許さない状態ではある。
		百貨店（営業担当）	・株価などの上昇や公共投資などの対策が打たれることによる安心感が多少は出てくると感じる。一時的に良くなってくるのではないかと。
		百貨店（管理担当）	・新政権の景気回復施策への期待のため、やや良くなる。
		百貨店（営業企画担当）	・政権交代による景気回復への期待と、開店40周年を迎え、企画を盛り込んでいるためである。
		スーパー（店長）	・新政権に変わったことに期待を込めて、3か月後は今より更に景気が良くなると判断した。現状では、3か月先の近隣との競合関係といった環境は変わらないが、世の中全体、政権交代というなかで期待を込めて、やや良くなる。
		スーパー（店長）	・新総理の今後の景気回復政策がこれから始まり、2、3か月で希望が持てる政策ができるのではないかと。客も将来に希望が持てれば、やはり買上が進むと考えている。
		スーパー（店長）	・政権交代によって株価も上向き始めており、今後に対しての期待感も少なからずある。年度も替わるため、消費者の意識も後押しされて良い方向に向いていくと思う。
		スーパー（営業担当）	・このところの日経平均株価の上昇並びに円安傾向が、景気の後押しをしてくるのではないかと期待感が相当高まってきている。
		コンビニ（エリア担当）	・トレンドは横ばいではあるが、株価上昇、円安など少し明るい兆しが出始めている。
コンビニ（商品開発担当）	・当社を含めた競合他社の年明けの動きや、今後の取り組み計画を鑑みると、多少であるが回復してくる。		
家電量販店（統括）	・消費税増税に向けて、駆け込み特需は予測されるものの、本質的な需要回復は見込めない。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		家電量販店（営業統括）	・デフレの流れに飲み込まれ、全ての商品価格が低下する傾向が続いてきたが、消費者も価格のみに着目したバーゲンハンターの商品から、それぞれの価値観に見合う商品であれば、価格だけに捕らわれない価値観消費の胎動を感じる。
		乗用車販売店（経営者）	・新内閣の景気対策に期待をしている人たちが多く、このままの調子がしばらく続くと思う。
		乗用車販売店（販売担当）	・新政権が発足し、今後の景気浮揚策を積極的にやるということと、今から2、3か月先は、各企業、年度決算が行われるため、景気的にはやや良くなると思う。ただし、全体的な流れのなかでは、本当に安定して成長できるかどうか。これについては、今後の政権運営に期待している。また、それをやることによって景気が浮上することを大いに望んでいる。
		乗用車販売店（店長）	・株価の上昇や日銀の動き、また外交面での期待感、そういったものを加味して、やや良くなる。
		乗用車販売店（総務担当）	・全体的に、景気回復感がうかがえる。政権交代によって、今度こそ安定した経済環境ができると思う。エコカー補助金制度がなくなったため、企業内で捻出した施策等で、来客数並びに販売量の増加を図っていかなければならない。
		住関連専門店（統括）	・政権も変わったため、今後、景気対策が若干進み、多少景気も良くなるのではないかと。
		その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・全社にて業務のてこ入れを行っているため、その成果を見込んでいる。
		一般レストラン（経営者）	・このままの状態で行ったら倒産する。政権も変わり、株価も上がり、円安になり、景気回復の条件は揃った。本当に景気が良くなってほしい。
		一般レストラン（経営者）	・政権が変わり、金融緩和などで景気、株価も少し上がり、景気を国民全体で上向きにしようという気配が感じられ、期待を込めて多少は良くなると思っている。しかし、当店のような飲食店にまで影響が及ぶには時間がかかるため、期待を込めての話である。
		一般レストラン（スタッフ）	・やや良くなるというのは希望的観測である。政治も落ち着いたら、少しは良くなるのではないかと思う。あまり、悪い悪いと暗く言っているのも嫌なので、良くなってほしい。
		都市型ホテル（スタッフ）	・政権が変わり、それによる活性化が少し出てきている感じがする。
		旅行代理店（従業員）	・総選挙後、2、3月の国内旅行の予約が活発化してきている。特に沖縄、九州方面への動きが好調である。
		旅行代理店（従業員）	・前年同期比115%の販売予測が立っているためである。
		タクシー運転手	・ますます先が見えず、コメントのしようがない。新政権になり、良くなることを期待したい。
		タクシー運転手	・政権が変わり、円安、株高で、非常に良い循環期に入ってきた気がする。少しでも良くなるよう、大いに期待したい。
		タクシー運転手	・中国、韓国、日本は、互いに国のかじ取りが変わって、けん制はしているものの、良い関係を築こうとの思惑がみられる。また、経済も良い方向で推移しそうである。景気は良くなると思う。
		通信会社（経営者）	・新商品や新型スマートフォンをきっかけとして、テレビ、インターネット、電話の販売が堅調になる。
		通信会社（経営者）	・政権が変わり、景気対策に力を入れるという期待感が、財布のひもを緩ませるだろう。
		通信会社（社員）	・希望的観測だが、政権交代の影響が少しは出るのではないかと感じている。
		通信会社（営業担当）	・政権が変わり、景気対策を行うことで景気が良くなると期待している顧客が多いためである。
		通信会社（営業担当）	・興味があるもの、良いと思うサービスについては、若干であれば費用負担をいとわない傾向は強くなると思う。
		ゴルフ場（支配人）	・1、2月は閑散期であるが料金が割引となるため、多少、来場者の増加が見込まれる。
		その他レジャー施設〔アミューズメント〕（店長）	・来客数が上がらない状況にあるものの、客単価が上昇してきており、消費が増加している傾向がうかがえる。
		その他レジャー施設（経営企画担当）	・政権交代による政策効果の期待のため、やや良くなる。
		その他サービス〔保険代理店〕（経営者）	・とりあえず地に足を着いた新政権への安ど感がある。顧客の様子にも、今後に向けた期待が感じられる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
変わらない		設計事務所（経営者）	・前年までは、景気が悪いため、民間に今、話を持っていても決まらないのではないかという不安感があった。しかし、政治の新しい方向性が打ち出され、公共事業が増える世勢のなかでは、民間事業も、私たちのPRもしくは技術的なフォローによって、多少増えるのではないかと思う。公共事業は、3月までは年度末で今残っている仕事が大変忙しいが、4、5月に向かって新しい仕事にチャレンジすべく、準備や年度末の仕事を上げていくということが大事だと思う。
		設計事務所（所長）	・厳しい状況が長い間続いているが、新政権になり、好転を期待をしている。
		住宅販売会社（従業員）	・消費税増税の絡みが少しずつ出てきているように思う。来場者数が12月の割には多い。
		住宅販売会社（従業員）	・政権交代があり、総選挙後から客の反響も増え、今後の景気に良いほうに影響してくるのではと感じている。仕入から決済までの期間を短縮し、適正価格で販売すれば良くなると思う。
		住宅販売会社（従業員）	・先月は景気が良く、客に動きが出てきたと思う。12、1月は年末年始の休みがあるため、販売量は落ち込むと思う。実際に12月の販売量は落ち込んでいる。ただし、2、3か月先を考えると、現在検討中の客も販売に結びつき、結果が出てきそうである。
		住宅販売会社（従業員）	・政権交代への期待感がある。
		住宅販売会社（従業員）	・消費税増税で駆け込み需要が期待されるため、上向く可能性はある。
		商店街（代表者）	・円安と株価の上昇で多少希望が持てると思うが、まだまだ政治もこれからという時期で先行き不透明なため、そう変わらないのではないか。
		商店街（代表者）	・新政権に変わり、株価が1万円を超えたということ、また、為替が86円台になったことで、今までのムードからすれば、大分良い傾向になってきていると思う。しかし、恩恵を受けるのはやはり一部上場企業で、我々、中小零細企業がそれを実感できるのは来年の後半か再来年ぐらいになるのではないか。
		商店街（代表者）	・新政権の政策を聞いてみると、これから景気がかなり上向くのではないかという感じを皆持っているようなので、何とか頑張ってやってもらいたい。今のままでは、どんどん悪くなるため、それを何とか良い方向に持って行ってもらいたい。
		一般小売店〔和菓子〕（経営者）	・政権が変わって、景気が上向きになる期待感はあるが、個人商店に影響してくるのは、まだまだ先だと思う。
		一般小売店〔家電〕（経理担当）	・以前と比べて、徐々に悪くなっているというよりは、売上が悪い状態のまま推移している。ただし、LED照明は少しずつ売れてきているため期待している。
		一般小売店〔祭用品〕（経営者）	・街の状況を見て、良くなるとは思えない。
		一般小売店〔家具〕（経営者）	・新政権に変わって良くなりそうな気はあるが、それほど期待できないと思う。今と同じような形で変わらない気がする。
	一般小売店〔靴・履物〕（店長）	・今、金融緩和など様々なことを政府が行っているが、増税を控えており、また、物価もこれから上がるという。それでいて所得は、良い人は良いのだろうが、一般の人は増えるような状況は見られない。しばらくこのような状態が続き、もしかすると増税だけということになり、悪くなってしまうのではないかという、客の様子などを見ても非常に心配である。	
	一般小売店〔茶〕（営業担当）	・個人購入は、良いお茶が飲みたいという傾向が出ているが、企業やオフィスでは、安い商品への切り替えがいまだに進んでおり、結果的に売上はあまり変化が期待できない。個人消費者が高級志向に転じて、やはり企業単位で高級志向への切り替えがないと、嗜好飲料での景気回復はまだまだ先な気がする。	
	百貨店（売場主任）	・今月中旬ごろから、1月クリアランス待ちの声が聞かれ、価格への関心は当分続きそうである。	
		百貨店（総務担当）	・株価が上昇しており良い傾向ではあるが、短期的に改善するとは思えない。長期的には改善傾向に動くと思う。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（総務担当）	・このままでは更に悪化すると思うが、政権交代による効果で、辛うじて横ばいか。
		百貨店（広報担当）	・現在は、次期政権への期待感があるものの、国内の来年度予算や政策の見直し、また、海外ではアメリカの財政の崖問題などを控え、先行きは不透明である。客も数か月後の景気となると、まだまだ判断しかねており、また、2月以降に本決算となる中小企業も多く、消費は様子見となり、結局、しばらく景気に変化はない。
		百貨店（営業担当）	・上旬は総選挙の影響もあり、衣料、身の回り品、高級雑貨等、幅広く低調となったが、中旬以降は気温が例年以上に低下したため、防寒衣料を中心に動きが良くなっている。ただ、政権交代による経済対策はまだ見えておらず、様子見による買い控えもある。
		百貨店（営業担当）	・新政権が発足し、株価上昇、円安にはなってきているが、電力業界を始めとする来夏のボーナス支給中止や大幅減額等の発表があり、依然、顧客心理としては支出を抑えると思う。今後の政府による景気でこ入れ策が具体的になるまでは変わらない。
		百貨店（営業担当）	・12月の総選挙により、新政府への期待感から経済全般について快方の兆しが見られるが、一般消費者に対する影響は先の話である。インフレターゲットに伴い、賃金の上昇があれば良いが、物価の上昇では更に景気が冷え込む可能性が高いと思う。しばらくの間は、経済政策及び消費動向については注視していく必要がある。
		百貨店（店長）	・政権交代による効果は、すぐには出ないためである。
		百貨店（副店長）	・円安、株高効果から心理的な好影響はあるもの、波及効果や実感到達にはタイムラグもあるため、変わらない。
		スーパー（経営者）	・競争が激しいため、なかなか良くなるころまではいっていない。しかし、新政権に変わり、多少世間的にも明るさが出てきた気配があるため、競争がなければ良くなるのではないかと。とにかく競合店の影響を最小限に食い止めることで精一杯である。
		スーパー（店員）	・現在の景気動向も含めると、単価等は変わらず、来客数増で売上アップになっている。要因としては、店の仕掛け等がメインとなるため、継続するかしないかによって、今後の売上利益等が変化してくると思う。
		スーパー（総務担当）	・政権が変わり、経済に対して大変期待が高まったと思うが、小売業については、お金が回ってくるのは最後であるため、大きく上向きになるのはまだまだ先のことである。現状の客の動きをみても、頻度性の高い物は、全店的な割引企画の時に集中して買われており、平常時の客数、買上単価、点数等がまだまだ伸び悩んでいる。厳しい状況は変わらない。
		スーパー（仕入担当）	・品質が良く価格が高い物よりも、品質はそこそこで価格が安い物が支持されている。1品単価の下落は今後も続く。
		スーパー（仕入担当）	・政権交代による景気回復の期待感が高まり、多少、消費自体は回復してきているようである。
		コンビニ（経営者）	・続けざまに行っている値引きセールも、若干色あせ、販売に結び付かない状況が続くと思う。これから一気に改善に向かうとは考えにくい状況である。
		コンビニ（経営者）	・近隣にコンビニの出店計画があり、厳しい状況は変わらない。
		コンビニ（経営者）	・新政権にあまり期待できないためである。
		コンビニ（商品開発担当）	・来客数の動きや販売数の動きが上向き好材料もなく、依然として厳しい状況が続く。
		衣料品専門店（経営者）	・長引く不況からの脱却は、政権が変わっても早急に良くなることはないと思う。
		衣料品専門店（経営者）	・総理の発言に対して大変期待してはいるが、末端まで動き出すにはしばらく掛かるため、秋ごろまでは現状とあまり変わらない。
		衣料品専門店（経営者）	・暖冬予測が厳冬予測に変わり、売れ筋商品の欠品がかなり始まっている。1月の売筋商品の手配が厳しいように感じる。
		衣料品専門店（経営者）	・変わらないと回答したが、分からないというのが正直なところである。新政権になって、円安、株高に動いており、一流企業はそれで良いのかもしれない。しかし、末端の実体経済がどうなるかは、今のところ分からない。本当に良くなっていけば有難いと思っている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		衣料品専門店（店長）	・天候に左右されやすい時期だが、現状は乗客数や単価も昨年と同じ程度で推移しているため、この数か月は大きな変動はない。
		衣料品専門店（店長）	・今の商況とそれほど大きく変わると考えられないためである。
		衣料品専門店（営業担当）	・バーゲンの効果も一服して、売上も変わらない状態が続く。
		乗用車販売店（経営者）	・整備は順調に入っているが、販売はあまり芳しくない。来年度の後半に、消費税増税による駆け込み需要が多くなると思うが、2、3か月先はまだあまり芳しくない。
		乗用車販売店（販売担当）	・今月は稼働日数の少ないなかでも、新車販売に関してはさほど落ち込みも少なく、また客の様子からも購買意欲が出てきているため、変わらない。
		乗用車販売店（営業担当）	・今回の総選挙でいろいろと変わってはいるが、やはりマスクミ等が言うように、客からは期待をしていないという話が出ています。そのため、現状と変わらない。
		住関連専門店（店長）	・政権が変わっても、すぐには変化は表れない。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・政権政党の入れ替りにより、株高となっているものの、今後の様々な新政策が効果を発揮するかどうか不透明で、その反動もあることが考えられるためである。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	消費マインドが、増税イコール負担増となり、購買意欲が低下傾向になるのではないかと。
		高級レストラン（店長）	・今回の政権交代による変化に期待したい。
		高級レストラン（支配人）	・ここ数か月の傾向として、宴会の件数はほぼ前年並みにもかかわらず、1件当たりの人数と単価が下降したままである。この先、数か月はこの状態が続く。
		一般レストラン（経営者）	・政権交代による好況感、外食に掛ける予算まで及んでいない。
		一般レストラン（経営者）	・政権交代しても、まだまだ期待の裏返しで景気に反映されるとは皆が思っていないような気がする。客も、とりあえず旧政権ではなくなったということで少し安ど感があるような感じがするが、それほど変わるような気がしない。
		一般レストラン（店長）	・とにかくひど過ぎる。1、2月はまたかなり暇になる時である。そのため2、3か月先は、変わらないというより、変わらないでほしい。むしろもっと悪くなったら大変なことになるということである。
		旅行代理店（支店長）	・2、3か月後は、冬場の真っ盛りで旅行業にとっては厳しい時期になるが、当社では、やはりスカイツリーという武器がまだ健在しているため、そちらを中心に販売できるチャンネルがある。ただ、法人の問い合わせは少なくなっているのが現状であるため、その点を勘案すると変わらない。
		タクシー運転手	・今は年末のため、やや動きはあるものの、やはり不安材料が多く、少し様子を見ている段階である。
		タクシー（団体役員）	・新政権になって、景気、雇用対策次第かと思うが、2、3か月後、すぐに個人消費が上がるとは思えず、しばらくは変わらない。
		通信会社（経営者）	・競合他社が値下げしたため、価格競争に巻き込まれそうである。
		通信会社（営業担当）	・新政権の景気対策への期待から、株価は上昇傾向ではあるが、具体策が提示されてからの動きについてなお不透明であり、期待が失望に変わらないとも限らない。
		通信会社（局長）	・高齢者世帯がお金を使わない限り、景気は大きく変わらない。60代以上が自ら考え、本当に良いものに投資しない限り、変わらない。
		通信会社（局長）	・政権交代して、当初は株価へのプラスの影響が期待できるものの、それが末端での購買意欲の活性につながるには、まだ当面は様子見であると思う。
		通信会社（営業担当）	・競合他社が大幅な値引きを行っており、比較的低調に推移していたインターネットの解約数も、今後増加していきそうである。
		ゴルフ場（従業員）	・政権が交代し、公共工事の発注がこれから増えるのではないかと。だからといって、冷え切った経済状況はすぐに良くなることはないと思う。しかし、これまで悪くなると回答していたが、今回は変わらないにランクを上げた。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
やや悪くなる		パチンコ店（経営者）	・株価が上がってきているが、同時に先々のことを見据えると消費税も上がる。そのため、変わらない。
		その他レジャー施設〔スポーツ施設〕（支配人）	・新たな景気対策に期待したいが、即効性は疑問である。
		美容室（経営者）	・政権が変わって良くなることを期待している。
		その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・内閣も変わり、景気対策がどこまで浸透してくるかによると思うが、まだ末端の財布まで暖かくなっていない。生徒の減少傾向には歯止めが掛からず、塾単価も下がったままであるため、先行きは変わらない。
		その他サービス〔立体駐車場〕（経営者）	・大都市は良くなるかもしれないが、客の様子や近隣の商店の話では、景気が良くなる感じがしない。
		その他サービス〔福祉輸送〕（経営者）	・新政権の発足と同時にさらなる金融緩和の動きが出ており、株価等は月末に向けて少し上がっているが、一般の人たちの所得の増加につながる動きは、あまり見られないため、変わらない。
		設計事務所（所長）	・上棟、引き渡しと続き、多少経理上は良くなるが、実際の次へのステップに見当がつかず不安は多い。
		設計事務所（職員）	・新政権による経済対策の効果を期待したいが、数か月単位で実効性のある対策は難しいのではないかと。逆に、突発的な変化程度では、景気が良くなるとまでは言えない。
		商店街（代表者）	・数か月では、政党が変わっても良くならない。6か月から1年くらい掛かるのではないかと。
	一般小売店〔茶〕（経営者）	・12月は寒波で冷え込んだため、お茶は店頭での接客販売、仏事の返礼用等で売れてきているが、売上がまだ前年同月までの状況である。	
	百貨店（販売管理担当）	・株価が上昇傾向にあり、富裕層の購買動向に期待が持てるものの、一般顧客の購買動向は、販売数量は増加傾向にあるが、客単価の下落をカバーできない。今後も、価格に、より一層敏感になることが想定される。	
	コンビニ（経営者）	・競合店が近くに出るような気配がある。	
	コンビニ（経営者）	・年末商戦に関しては、例年よりも、更に年末らしさ、正月らしさがなくなってきており、年賀はがきの売上等も大分落ちてきている。やはり、携帯電話やスマートフォンの普及などによる生活の変化がいろいろ表れてきているのだと思う。また、通信販売等、若干、ライバルが台頭しており、無店舗経営で利益を削り安い物を提供する、そのようなところで客が流れているようである。	
	コンビニ（経営者）	・強力な経済政策を打ち出しているが、それが浸透するにはまだ時間が掛かる。しばらく一般の消費景気は低迷する。	
	コンビニ（経営者）	・政府に期待する。	
	衣料品専門店（経営者）	・特に大きく売れる商材の気配はなく、寒さが厳しいと客の動きが心配である。近郊の大型商圏に客を取られ、当店の販売促進にも限度がある。	
	衣料品専門店（営業担当）	・以前の政権に戻り、野党であった時に、皆勉強していたのかという感じである。選挙のためだけに動いて、景気が良くなるとは全く思わない。	
	家電量販店（店員）	・今後、量販店において過激な値下げを止めつつ、特に通信販売での適正売価を再度見直していけば、右肩下がりは止まり、徐々に景気回復へとつながる。	
	乗用車販売店（渉外担当）	・エコカー補助金が終了する3か月前から個人消費は鈍く、販売車種も低価格のハイブリッドカーが主流である。新型車が発売になるため、今後期待したいが楽観視はできない。	
その他小売〔ゲーム〕（開発戦略担当）	・例年通りに、年明けは当面上向く要素もなく縮小する。		
一般レストラン（経営者）	・12月が良いので、どうしても2、3か月先は下がる。また、2か月先の2月は、1年で一番悪い月であるため、売上はかなり下がり、景気は悪い。		
都市型ホテル（スタッフ）	・1月以降は閑散期となるが、例年に比べてホテル全体の受注が悪く、特にインセンティブ関連の予約は以前に比べて皆無の状況である。動きも直前のものが多く、予想が立てにくくなっている。相変わらず、先行き不透明な状態が続いている。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		都市型ホテル（スタッフ）	・宴会は、企業の販売促進目的のパーティー等の利用が前年より減少して、厳しい状況である。婚礼は、細かいことでいろいろと手当てをして、件数、客数共に前年より若干オーバーしており、提案によっては単価もアップしているが、法人の宴会利用をカバーするまでには至らない。レストランもランチタイムの集客は、女性を中心にそのまま進むと思われるが、予約はこれから入ると思うが、夜の少人数の接待利用が、どの程度回復するのか不透明で売上が伸びない要因の1つと考えている。宿泊は、周辺施設でのイベントが前年とほぼ同じ件数開催されるとの情報から、前年並みの集客を期待している。
		観光名所（職員）	・2、3か月後は2、3月で、観光地としては寒くなり、客が一番減る時期でもあり、悪くなる。
		その他レジャー施設 〔ボウリング場〕（支配人）	・レジャーへの出費を控える傾向が続いている。
		設計事務所（所長）	・仕事の絶対量がないと同時に、社会全体にも不況を克服というのが現状だと思う。日本は物作りの社会である。もう一度、国で着目し、海外ばかりに進出せず、国内向けにもどんどんと財政等投入したら良いと思っている。
		住宅販売会社（従業員）	・住宅に掛かる消費税額がそもそも高額であるため、消費税増税が駆け込み需要に直結するかは分からない。
悪くなる		一般小売店〔文房具〕（経営者）	・今月の状況を見てみると、来月も芳しくないのではないかと。特に、今年は寒さが厳しいため人通りが少なく、また、当地域の開発等により当店の周りが工事現場であるため、やはりそういったこともあるのではないかと。良くなるとはあまり考えられない。
		一般小売店〔印章〕（経営者）	・政権が移り、景気回復を強く訴えている人がいるが、末端まで景気回復するには1、2年ではできないと思う。非常に厳しいこの経済や流通を立て直すということは、非常に難しいと思う。
		一般小売店〔食料雑貨〕（経営者）	・競合店がオープンして1年経ったが、依然影響が大きい。
		その他小売〔生鮮魚介卸売〕（営業）	・1～3月は1年で最も暇だからである。
		美容室（経営者）	・世の中が不景気なせいか、だんだん鈍っているような気がする。
		住宅販売会社（経営者）	・景気対策を重点に置いた政権が、政策を実行して、早くデフレから脱却し、景気を良くすれば自然と税収が増えるため、すべてうまくいくと思う。今のままではとても景気が回復する見通しは立たない。総裁に期待しているが、具体的な政策はまだ見えてこない。
		企業 動向 関連  (南関東)	良くなる やや良くなる
		食料品製造業（経営者）	・新政権になり、期待感で購買意欲が出てくると思う。
		金属製品製造業（経営者）	・円安と政府の経済対策に期待している。明るさが出てきている。
		金属製品製造業（経営者）	・政権交代への期待もあるが、円高が少しずつ正されているため、製造業にとっては少し明るいニュースである。円高は正が続けば、少しは良くなるのではないかと。
		電気機械器具製造業（経営者）	・希望的観測だが、当社では新商品の開発を完了し、これから売れ始めるとしており、また、売れないと困る。多少その兆しが見えてきている。
		電気機械器具製造業（経営者）	・新政権に変わり、政策的に積極的なインフレを醸し出すような対策を本当に打てるのかどうか。それで実績が出るかによるため、期待している。
		その他製造業〔化粧品〕（営業担当）	・年末の円安の進行が年明け後も続くのであれば、期待できるのではないかと。
		建設業（経営者）	・為替や株価に明るい兆しが出てきており、設備投資に動きが出るのではないかと。新年に期待する。
		建設業（営業担当）	・年末の企業訪問での話題で、政権が変わり与党党首が公言している公共投資に期待を掛けている企業が多く見られる。株価も1万円台を保持しており、今後、景気は上昇すると思う。
		建設業（経理担当）	・総選挙で景気回復を旗印にした党が勝利したため、早くもそれをにらんで数字が上向きに動いているようである。予算も確保されると思うので、景気も上向きに向かうと思う。



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信業（広報担当）	・このまま超円高の修正が続けば、やや良くなる。
		金融業（統括）	・株価が上がり、更に円安が進んでおり、製造業等にはメリットが大きい。
		金融業（役員）	・政権が変わったことにより、建設業や輸出関連企業が動き出すのではないかと多い。
		金融業（渉外・預金担当）	・株価の回復と政権交代により、経済が安定し、景気も回復するだろうとの希望的観測の声が強くなっている。
		金融業（支店長）	・個人投資家はしばらく投資意欲がおう盛であろう。ただし、行き過ぎている感があるため、近いうちに踊り場を迎えるであろう。
		広告代理店（営業担当）	・政権交代、日経平均株価の上昇など、少し変わるという期待がある。
		税理士	・円が安くなり、株価が上がるのは大歓迎である。このまま景気が回復することを誰もが願い、また実感したい。
		経営コンサルタント	・政権交代の期待感のため、やや良くなる。
		税理士	・新政権になり、アメリカでの車の販売等、中国への輸出等、アメリカは少し悪いがアジアは堅調である。もうひとつは日本の政治で、新政権になり危機突破内閣と言っているが、経済対策を打ち、変わってほしいと思っており、また、少しは変わるのではないかと。
		食料品製造業（経営者）	・良い傾向と非常に不安定で読めない部分が混在しているため、先のことは非常に読みにくい。
		繊維工業（従業員）	・注文がないこの厳しい現状は変わらない。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・12月は上場企業からのゴム印の特需はあったが、1企業だけであり、ほかの会社からは多くの注文が出るという景気の良い話が多い。それがもう少し出てきたら上向きと答えたいが、現状どちらとも言えず、変わらない。
		化学工業（従業員）	・東日本大震災の復興需要はほとんどなく、年を越してもいつごろ影響が出るのかも不明瞭で、当てにはできない。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・新製品の立ち上げ等、顧客の投資への意欲は依然鈍いが、底打ち感はある。
		金属製品製造業（経営者）	・政治が安定するまでは、しばらくこの状態が続くと思う。新政権の政策次第では、今年度は無理でも来年に期待が持てる。
		一般機械器具製造業（経営者）	・今後2か月の生産計画の内示は、全く良くなっていない。計画的に考えると、劇的な改善はあり得ず、悪い。
		精密機械器具製造業（経営者）	・株価上昇や円安基調になっているが、実態経済は70兆円に対し20倍のお金がグローバルで駆け巡っているため、本質的な景気ではない。今回の総選挙でデフレ脱却2%と公約しているが、インフレになれば2%ではとどまらないと考える。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・当社はトラック関連の製造業だが、正月を挟んだ寒い時期は昔からあまり良くない。変わらないとしたのは、ここ2、3か月のことで、桜の咲く頃になれば、また少し上向きになると思う。内閣も変わり、円安になり、出足好調でいきたいところである。今までの与党は何もやらなかったから仕様がなし。新政権に期待する。また頑張ろうと思う。
		その他製造業〔靴〕（経営者）	・今の状況は、特別、上がるとも下がるとも情報が一切入っていないため、今の状況がしばらく続くと思う。
輸送業（経営者）	・新政権の発足に伴って、いろいろと景気浮揚の政策が打ち出されてくると思う。現状ではまだはつきりしていないが、いずれにしても現状よりは良くなるのではないかと期待感を持っている。		
輸送業（経営者）	・2～3か月先は新学期を控えて、多少の取扱量の増加は見込まれるが、今月燃料価格が1リットル当たり3円という大幅な値上げがあったため、経費の増加がプラス要因を消滅してしまうのではないかと大変危惧している。		
輸送業（経営者）	・やや良くなるという答えを出したいが、そのような心配が全くない。政治が変わったからといってどうなるか、結果を見ないと分からない。		
輸送業（総務担当）	・得意先の出荷計画は増える見込みとなっているが、生産量は低調であるため、新年から年度末にかけても、出荷量の増加は見込めない。そのため低調な状態が続く。		
金融業（従業員）	・中小企業の持ち直しの動きは弱まっており、先行きについて悲観的な声が聞かれる。建設業で業況悪化を予想する声が増えているのが気になる場所である。		
不動産業（経営者）	・新年度の景気回復を願う。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		不動産業（総務担当）	・2013年は、オフィスの新規供給も一段落とのことで、空室率、賃料の改善に若干の期待感が持てる。
		広告代理店（従業員）	・受注状況や受注見込みが、前年同期と同じ程度に推移している。
		社会保険労務士	・良くなる要因が見当たらない。
		経営コンサルタント	・小規模事業者の財務基盤の傷みが非常に大きい。新政権に変わっても、傷み具合を修復するには、かなりの時間を要する。実質数値はともかく、感覚的に期待感が出てくるまでには、かなりの時間が掛かる。株価の反応のようにはいかない。
		その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	・先行きの不透明感が強く、取引先工場の稼働率の回復見込みがない。そのため、受注量も厳しい状況が続くと思う。
		その他サービス業〔警備〕（経営者）	・年末年始で、売上増はあまり期待できない。
		その他サービス業〔映像制作〕（経営者）	・街頭全体では改善の方向に向かうと思うが、広告、映像業界では、まだそれほど変化はみられない。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（経営者）	・政治への不安と少子高齢化のため、変わらない。
		その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	・スマートフォン利用者数の増加に伴い、インターネットはスマートフォンで用が足りるとするユーザーが増えてきており、自宅への光回線開通数が低迷してきている。この傾向はしばらく継続する。
		やや悪くなる	
出版・印刷・同関連産業（所長）	・年度末に向け、次年度予算の見積引合いが多くなっているため、現状より若干良い方向へ推移している。		
出版・印刷・同関連産業（総務担当）	・年度末の発注が増える時期になるが、利益の確保を考えると受注量が減る。		
建設業（経営者）	・消費税増税の駆け込み需要で、一瞬、良くなる気配はあるが、その後の冷え込みが分かっている。2度の冷え込みは正直厳しい。		
金融業（支店長）	・全般的に今後の受注の見通しが立っていないことや、電力などの経費が膨らんでいること、また、利幅が少なくなっていることを鑑みると、まだまだ不況感が続くと思う。		
広告代理店（経営者）	・新年絡みの広告も低調傾向になり、予備予算の吐き出しも望めない。経済政策も期待できないどころか、借金を増やす政策だと思っているため、3か月後は薄暗い程度で済むだろうが、3年後は、暗いどころか怖いとさえ感じている。土木建築業に金が回って、それがそのまま貯蓄されて終わる。買いたいものがないうえに、人口減少でインフラ退縮局面に、稼働率が低いインフラを作って、維持コストを増やしてどうするのかと言いたい。		
経営コンサルタント	・政権が交代したが、結果が出るのはまだ先で、今までのしこりが大きく響き、まだまだ低下傾向が続きそうである。		
悪くなる		通信業（経営者）	・政権交代での政策が、景気回復につながるか疑問である。
		その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（経営者）	・大口の元請会社が、収益を上げるという理由で、外注していた物件を内製化する。その影響で2、3月に大幅な解約が発生する。
雇用関連 (南関東)	良くなる	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・年明けの新しい動きで、今20社あまり募集の話があり、それが全部入れれば相当の盛り上がりがある。いつも1～3月は募集が出る月であるため期待しており、頑張っていこうと思う。
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・政権交代による影響と年度末ということもあり、若干ではあるが受注が持ち直しそうである。
		人材派遣会社（支店長）	・政権が変わり、期待感がある。
		人材派遣会社（営業担当）	・具体的な好材料があるわけではないが、政権が変わったことによる景気の好転に期待したい。
		人材派遣会社（営業担当）	・離職者が減り、雇用が維持、拡大すれば、消費も増え、景気回復につながるのではないかと想定している。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・若干ではあるが、求人募集広告を出す企業が増えているようである。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		職業安定所（職員）	・ 求人は増えている。一部、電気関係でリストラなども出ているが、公共事業が増えれば、当然、付随して郵送、製造等、様々な製造関係が増える。少しでも良くなるのではないかという期待感で、やや良くなる。 ・ 政治が動き出し、経済や雇用に期待感がある。
		民間職業紹介機関（経営者）	
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・ 新政権に変わり、様々な景気浮揚策が2か月くらいですぐ効果が出るということは期待できず、春以降だろうという意見が多い。
		人材派遣会社（支店長）	・ 新政権次第だが、景気対策により求人ニーズが良くも悪くも影響を受けると思う。現段階では良くなるのか悪くなるのか見通しがつかない。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・ 採用計画を見直そうとする企業はまだみられない。採用数自体は前年より少しプラスで推移しそうだが、採用費の増加につながっていない。現状、各企業人事は効率的な活動、手法の工夫で乗り切ろうとしている。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・ 政権が変わって景気の浮上が叫ばれているが、現状では先が全く見えない。春先、年度替わりで、一部に動きが出る時期ではあるが、全体としては変わらないのではないかと。
		求人情報誌製作会社（広報担当）	・ 新政権になったため、消費税が上がる可能性が高い。あまり良くなる感じはしない。
		職業安定所（所長）	・ 新規求職者は前年同期で減少基調で推移しているが、一方、新規求人の伸びは鈍化している。また、中国をはじめとした国際情勢は景気のマイナス因子であるが、新政権による公共投資等の新施策による一時的な景気回復効果も見込まれる。これらの状況から、大きな変動はないと思う。
		職業安定所（職員）	・ 採用について、経済動向を様子見している中小零細企業は多い。
		職業安定所（職員）	・ 求人数は増加しているが、やはり正社員の求人の増加が見込まれず、現在、出ている求人はパートや契約社員等、非正規雇用の求人が増加していることから変わらない。
		職業安定所（職員）	・ 採用者数が減ってきている状況が続いており、変化がない。
		民間職業紹介機関（経営者）	・ 国内拠点の見直しなどが進められているが、これは海外拠点の多様化を考慮したうえでのことである。国内需要の回復には、諸税の見直しなどによる企業の国内投資への意欲や、先に見える生活実態が感じられれば、需要が喚起され、求人の増加につながると思うが、現時点では先が見えない。
		学校〔短期大学〕（就職担当）	・ 次年度の合同企業説明会の案内が届き始めたが、参加企業が少ない感じがする。まだ景気回復の兆しは見込めず、採用を控えている企業が多いと思う。
		学校〔専修学校〕（就職担当）	・ 年度末に向けての新規求人、採用人数増加、継続求人公開等の確認を行っているが、前年度から大きく増加する予定は見られない。
	やや悪くなる	人材派遣会社（営業担当）	・ 労働者派遣法の改正に伴い、派遣先からは利用しにくくなったとの声も聞こえてくる。そのため、派遣での利用は減少する可能性が高い。
		職業安定所（職員）	・ 前月に引き続き、管内派遣会社が年末に多数の雇止めとオフィス閉鎖を予定しており、更に求職者の増加が見込まれる。
		民間職業紹介機関（職員）	・ 政権が変わり、政策の影響を受ける可能性もあるが、求人数が落ちてきており、企業側の採用意欲に陰りが見えてきているためである。
	悪くなる	—	—

## 5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (東海)	良くなる	商店街（代表者）	・ 新政権になり、これから皆が期待しているようなことが起こる。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・ 株高、円安により、明るい年明けになる。
		一般レストラン（従業員）	・ 新政権の景気対策に期待したい。
		旅行代理店（経営者）	・ 政権交代し、春ごろには景気は良くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	やや良くなる	商店街（代表者）	・12月の後半から売上は増えてきており、購買意欲が見られる。
		一般小売店〔結納品〕（経営者）	・政権交代し、年明けから景気は良くなっていく。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・20年に1度の式年遷宮により、例年の5割増しの参拝客が見込まれている。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	・消費者のお金の使い方は賢い。価値観に合う場合には、財布のひもは緩んでいく。
		一般小売店〔時計〕（経営者）	・政権交代により、短期的には景気は回復する。
		一般小売店〔書店〕（経営者）	・新政権になり、まだ目に見えた動きはないが、客のなかで高い物を買うという気運は生まれてきている。景気は気からと言われるが、今は気分が大きくなっているため、今後マスコミ等も含めて更に気分が乗るようにうまく誘導してくれるれば、景気は上向く。
		一般小売店〔和菓子〕（企画担当）	・新政権になり、新しい経済政策など景気回復のための政策が多少影響する。
		百貨店（営業企画担当）	・新政権の金融政策によって、株価の上昇や円安が継続する見通しがあるなか、製造業を中心に東海地域の景況感の回復も見込まれる。また、年明け後も寒さが継続する予報があり、冬物商戦は好調に推移する。
		百貨店（経営企画担当）	・景況は全体としては厳しさが予想されるものの、新政権による経済対策などにより、少しは上向くのではないかと。ただし、給与総額は減少傾向にあり、消費に対する効果は大きくは望めない。
		スーパー（店長）	・新政権になりインフレ傾向になれば、消費は多少は上向きになるのではないかと。円安は、地場産業である自動車産業には大きくプラスになる。
		スーパー（総務担当）	・歳暮商品の予約金額が、前年と比べて好調に推移している。1万円以上の商品の伸びが良い。
		スーパー（営業担当）	・新政権になり、景気浮揚策を前面に出しており、ある程度の期待はできそうである。
		スーパー（支店長）	・新政権になり、経済政策に期待したい。
		コンビニ（店長）	・新政権の景気対策に期待する。選挙が終わって、年末の慌ただしさもあり、売行きは回復傾向にある。
		コンビニ（商品開発担当）	・政権交代により、プラスの影響を期待したい。ただし、現在の商品販売動向及び客単価の厳しい状況が、すぐに上向くとは思えない。
		家電量販店（店員）	・タッチパネル搭載のパソコンやスマートテレビが認知されるようになり、売上は伸びるのではないかと。
		乗用車販売店（経営者）	・当社では、主力車種の新型車の投入により、来月以降の需要増加を期待できる。客からも、新型車を見たいとの声が多い。
		乗用車販売店（従業員）	・1月より増販期に入るため、販売台数は前月と比べて大幅増加が見込める。ただし、エコカー補助金があった前年同月の販売台数の60～70%が精一杯と思われる。
		乗用車販売店（従業員）	・新政権への期待を込めて、多少上向いてくれるのではないかと。
		乗用車販売店（総務担当）	・エコカー補助金の終了に伴う反動減が、正常に戻る。
		住関連専門店（営業担当）	・戸建て住宅、分譲マンション、企業の設備投資、リフォーム等の建築全般で、消費税増税の前に工事しようとの雰囲気漂っている。実際に、小型の案件から動き始めている。
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	・新政権の経済政策により、マインドは上昇気味にある。ただし、ここ2、3か月間の動き次第では、元に戻ってしまう可能性もある。
		一般レストラン（経営者）	・新政権になり、世間はどこか浮き足立っている。少しお金を使うかたちになっていく。
		その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・新政権への期待から、消費は多少伸びてくる。
		通信会社（企画担当）	・政権交代により、即効性のある経済政策が行われなかったとしても、期待感から景気は上向く。
		通信会社（営業担当）	・設備更改の時期を迎えて設備投資が増えることを期待し、今までよりも良くなる。
		観光名所（案内係）	・政府のデフレ対策に期待している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
変わらない		ゴルフ場（企画担当）	・ 2 か月先の予約数は、前年と比べて大変好調である。このところ寒暖の差が激しく、今後の天候もどうなるかよく分からないが、このまま推移すればかなりの来場者増が見込める。
		その他サービス〔語学学校〕（経営者）	・ 例年の傾向として、年明けから需要は漸増する。
		住宅販売会社（従業員）	・ 新政権となり経済政策に期待が持てそうな気運がある。また、年始の来客数の増加が期待できる。
		住宅販売会社（従業員）	・ 景気回復に伴い金利の上昇が少しでも見られた場合は、駆け込み需要も見込める。
		その他住宅〔室内装飾業〕（経営者）	・ 店舗、事務所、住宅の大型リフォームの問い合わせが来ており、年明けの受注が見込まれる。
		その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（経営者）	・ 消費税増税の関係もあり、一時的に土地購入の駆け込み需要がある。冷静に考えれば、土地の購入時期を前倒しすることにより、資金計画は当初よりも圧迫されると予想されるので、慎重に検討したほうが良いと思われる。ただし、4 月以降はまた通常の状態に戻っていくのではないかと。
		商店街（代表者）	・ 政権交代により、円安、株価上昇の傾向が見られるが、その効果が末端の中小企業にまで及ぶかは疑問である。仮に波及してくるにしても、まだまだ時間が掛かりそうである。2、3 か月先は現在と変わらない。
		商店街（代表者）	・ 株価が上がってきて、消費税増税前の駆け込みもあり、景気はそれほど悪くならない。
		商店街（代表者）	・ 良い日が続かない。今日は良くても明日はダメという流れの繰り返しである。現状維持が続く。
		商店街（代表者）	・ 今の低価格商品主体の販売傾向は、当面変わらない。包装資材と手間ばかりが増えて、売上は伸びない。
		商店街（代表者）	・ 現在の販売は既存商品の買換えによるものがほとんどであり、新規購入は極めて少ない。客が欲しいと思う家電商品はなかなか発売されないし、多機能化ばかりが進んで、かえって使いにくくなっている。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・ 政権交代したが、しばらくは変わらない。
		一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・ 贈答品は、客の臨時的なお金で購入されている。新政権になり生活が変わるかどうかは分からないが、2～3 か月では変わらない。客の状態は二極化しており、平均するとあまり変わらない状態は今後も続く。
		一般小売店〔自然食品〕（経営者）	・ 政権交代で比較的明るい雰囲気も見えるが、しばらくは様子見である。年が明けても、大きな変化はない。
		一般小売店〔果物〕（店員）	・ 3 か月ほどでは変わらない。
		百貨店（売場主任）	・ 今の時期は、クリアランス待ちの客が多い。1 月に入ってから安く買おうと、問い合わせはよくある。また、海外やインターネットで買うため、商品知識や履き心地を確かめに来るだけの人もいる。クリアランスを過ぎると厳しい状況になる。
		百貨店（売場主任）	・ 年や季節が変わるからといって、新しい物を購入しようという意欲は感じられない。引き続き、買い控えは続く。
		百貨店（企画担当）	・ 新政権は景気浮揚策を打ちだそうと躍起になっているが、即効性があるかどうかは不透明である。早急に景気が好転する兆しが見えなければ、期待への反動により、以前より景気が悪化する可能性も懸念される。この先数か月間の政治動向を見なければ、判断できない。
		百貨店（経理担当）	・ 総選挙後に上昇傾向にある株価が、客の購買意欲につながることを期待したい。
		百貨店（販売担当）	・ 一気に寒くなったので防寒衣料が動いたが、セール待ちの客は前年よりも多い気がする。
百貨店（販売担当）	・ 新政権への期待や経済対策により、今までよりも良くなる可能性はあるものの、実際には根拠に乏しい。世界的規模での改善の兆しがまだ見えていない現状を考えると、景気が良くなる可能性は低い。		
百貨店（販売担当）	・ 消費税増税の影響はまだ出ていないようであるが、個人の収入もあまり変化がない様子であり、消費は今後も増えず変わらない。		
百貨店（営業企画担当）	・ 新政権によって様々な景気対策が打ち出されているものの、景気回復の兆しは実感できていない。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（経営者）	・政権交代等により、円安、株高等で雰囲気は上向いているようであるが、中小企業、小売業、飲食店は厳しい状況が続いている。今の状況が当面続くのではないかと。
		スーパー（店長）	・新政権の景気対策によって、食品スーパーが恩恵を受けることはない。プライベートブランドなどの低価格で品質の良い商品が出回っているが、そうした商品を持たない企業にとっては、利益が少ない商品の低価格販売で苦しめられる。
		スーパー（店長）	・来客数は、前年同月比で2%ほどの減少となっている。2キロほど離れた場所に、競合他社と自社の他店舗ができたことが原因である。この影響は、今以上に大きくはならない。
		スーパー（店長）	・新政権が今後打ち出す政策によって、変わってくる。現状では、値上がりしている商品もあるが、それが更に消費を冷え込ませることもある。景気は非常に不透明である。
		スーパー（店員）	・果実類は比較的安値の傾向が続いているが、葉物は日照時間の減少により、ハウス栽培の商品でやや高値傾向になっている。
		スーパー（販売促進担当）	・前年同月は大きなマイナスであったが、それをカバーできていない。
		スーパー（商品開発担当）	・高単価商品の販売数は依然として厳しく、低価格指向が続いており、消費が回復しているとはいえない。食品を中心に厳しい状況は変わらない。
		コンビニ（企画担当）	・今の悪い状態は、まだ続く。
		コンビニ（エリア担当）	・必要な物は購入しても衝動買いはしない傾向は、今後も継続する。
		コンビニ（エリア担当）	・客単価の下降傾向が気になるが、2013年に向けた新たな施策によって、何とか現状維持である。政府の景気対策によって、やや良くなる可能性に期待する。
		コンビニ（店長）	・客の動きや単価の動きを考えると、良くなるようには思えない。
		衣料品専門店（経営者）	・客は年々、季節の先取りをしなくなってきた。春の訪れが遅いと、春物を買う機会は一層遅れてくる。
		家電量販店（店員）	・政権交代し、安定するまでにはまだ日にちが掛かる。この3か月間では変わらない。
		乗用車販売店（従業員）	・政府の景気対策次第であるが、大きな動きがなければ変わらない。
		乗用車販売店（従業員）	・決算期に入っていくが、目標を下方修正している現状では、厳しい状況が続く。新車を検討している客でも、予算を少しでも超えてしまうと購入を見送るというケースが出てきている。しばらくは、悪いとは言わないまでも厳しい状況が続く。
		乗用車販売店（経理担当）	・需要はあるが、不要不急の商品でもないため、エコカー補助金の終了に伴う反動減を一気に取り戻すことは難しい。
		乗用車販売店（営業担当）	・政権交代により、為替や株価に良い影響が出れば、景気も良くなっていく。ただし、実際にサラリーマンにまで波及してくるかは、疑問である。
		乗用車販売店（販売担当）	・当営業所は好調であるが、他の営業所では苦戦している。ディーゼル車が投入されたが、売行きが良いとは思えない。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（経理担当）	・来客数は、前年同月比で0.2%増加している。売上は、前年同月比で1.0%減少している。一進一退が続く。
		スナック（経営者）	・景気が良くなる限り、繁華街は静かな日々が続くばかりである。どこの店も、悲鳴を上げている。しばらくは良くならない。
		観光型ホテル（販売担当）	・今のところ、1～3月までの予約状況は前年と比べても良くはない。円安や株価の上昇が一時的なものか、2～3か月後も継続されるかを、慎重に見ていきたい。業界としては、消費税増税にどのように対応していくかについて、検討に入らなくてはならない時期になる。
		都市型ホテル（支配人）	・間際の予約が多く、今後は読めない。中国からの団体客の動きも、読めない。法人の宴会需要は、予算の削減が続く。
		都市型ホテル（経理担当）	・消費者の財布のひもは固い。
		旅行代理店（経営者）	・デフレ対策の効果が出るまでには、まだ時間が掛かりそうである。
		旅行代理店（経営者）	・新政権が大きな経済対策を打つようであるが、当業界に効果が出てくるのは、実施後半年から1年後と考えている。上向くのは早くても7月となり、当面は変わらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		旅行代理店（従業員）	・新政権がデフレ脱却を目指しているようであるが、効果はすぐには表れない。
		タクシー運転手	・ここ3～4年間ずっと、不景気が続いている。政権交代したが、すぐに良くなるとは考えられない。当分変わらない。
		通信会社（サービス担当）	・引越しに伴い、申込件数は増加する。現状の景気が続く。
		通信会社（営業担当）	・国の新たな方向性や具体的な取組等がまだ見えておらず、その効果も見えない。
		テーマパーク（職員）	・政治の変化に期待したいところではあるが、2～3か月では大きな変化はなさそうである。
		美容室（経営者）	・これ以上悪くなったら大変である。
		その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・寒い時期なので、福祉用具のレンタル需要はしばらく低調である。
		設計事務所（経営者）	・相変わらず、設計料の低さは続いたままである。案件数が少ないことにも慣れてしまっている。
		住宅販売会社（経営者）	・客は消費税率が上がる前に購入しようとしているため、現在の売上は良いほうである。しかし、先行きはわからず、不安である。
	住宅販売会社（従業員）	・大きく変わる要素は、あまり見受けられない。	
	やや悪くなる	一般小売店〔高級精肉〕（企画担当）	・政権交代があり、期待感があるが、まだまだ不透明である。
		一般小売店〔食品〕（経営者）	・選挙結果だけでは、景気は判断できない。国民が納得する政策を実行すること以外に、景気を良くすることは不可能である。景気の低迷はまだ続く。
		百貨店（販売促進担当）	・外商客や上客の買上動向が低調である。中小企業の景況悪化は、すぐには回復しない。
		百貨店（販売担当）	・政権交代しても、日々に変化はない。底辺にとっては、むしろ厳しい。
		スーパー（経営者）	・3か月先の景気も、それほど良くなるとは思えない。ただし、円安になり輸出産業では徐々に輸出が増え、利益が出る状態になる。積極的な経営ができる方向に向かうのではないか。デフレギャップは徐々になくなる方向に進んでいく。景気の底は、来年の3、4月ごろになる。
		スーパー（販売担当）	・今月と比べたら、今後は買い控えが増える。
		コンビニ（エリア担当）	・競争は激しくなる一方である。
		コンビニ（エリア担当）	・来客数や客単価を改善するために、色々な手を打っているが、効果はなかなか出てこない。今後は消費税率が上がったり、競合店ができたりすることが予定されているため、ますます厳しくなってくる。
		家電量販店（店員）	・新政権になり、株価が上がったりと心理的な現象はあるものの、財布の中身は全く変わっていない。売上も増えていない。このようなことはまだ続き、改善は見られず悪くなる。
乗用車販売店（経営者）		・正月に出費がかさむことで、節約ムードが生まれる。	
乗用車販売店（従業員）	・期待できる要素はあまりない。自動車業界では、全体的な流れから、楽観できない動きを感じる。		
その他専門店〔貴金属〕（店長）	・円安の動きや株価の上昇は見られるが、実感としては消費の回復はまだ先で、時間が掛かりそうである。しかし、明るさが見えてくることに期待している。		
その他小売〔ショッピングセンター〕（営業担当）	・繁忙期が終わるため、期待できない。		
スナック（経営者）	・年配客が多いため、天候に左右されやすい。寒い日が続くと、あまり期待できない。		
観光型ホテル（経営者）	・宿泊者数は前年同月比85～87%であり、予約のスピードも上がってきていない。		
都市型ホテル（従業員）	・予約数が減少している。		
都市型ホテル（経営者）	・尖閣問題で、中国からの旅行客数の減少が気になる。		
タクシー運転手	・12月は1年間で最も忙しい月であり、2～3か月先に今月よりも売上が落ちることは間違いない。しかし、政権が交代しデフレ脱却の景気対策に取り組んでくれるはずなので、やや明るい見通しを持っている。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
		タクシー運転手	・1年で最も忙しい12月がこの程度では、明るい見通しはない。2～3か月先に景気が好転するとは思えない。	
		理美容室（経営者）	・客との話では、ボーナスが良くなく、小遣いも減らされており、景気の良い話は聞かれない。	
		美顔美容室（経営者）	・年末年始で出費が多いことに加えて、寒さの影響で販売量も来客数も悪くなる。	
		美容室（経営者）	・12月はボーナス月であり、レジャー等でお金を使う機会も多いが、2～3か月先はお金を使う場が少なくなるため、景気は悪くなる。	
	悪くなる	コンビニ（店長）	・年末の特需と比べると年明け後は、来客数、売上、単価共に1年間で最も落ちる時期に入る。	
		コンビニ（店長）	・競合店が増えてきている状況では、上向く要因は考えられない。	
		高級レストラン（スタッフ）	・販売促進策に対する客の反応が、鈍くなっている。あらゆる面で、景気回復の兆候は見られない。	
		旅行代理店（経営者）	・労働人口の減少と少子化による総需要の減少に加えて、雇用の受け皿である企業数も高齢化とともに急激に減っている。それだけではなく、海外への企業移転によって工場等も減り、雇用の受け皿がなくなっている。行政が積極的に関与して、企業数の増加や若者の海外就職を積極的に支援するなどの政策が不足している。	
		パチンコ店（経営者）	・業界全体が低価格販売に進んでいる。	
		美容室（経営者）	・従来の12月は忙しかったが、今年の12月ほど客入りの悪い年は初めてである。この先2～3か月間は、寒さのせいもあり恐ろしいほど暇になってしまうと思う。しかし、そうならないように頑張りたい。	
		理容室（経営者）	・まだまだ当分は節約が続く。嫌な世の中である。	
	企業 動向 関連  (東海)	良くなる	窯業・土石製品製造業（経理担当）	・新設住宅着工件数が増加している。
		やや良くなる	食料品製造業（経営企画担当）	・新政権誕生のご祝儀的な要素もあるかもしれないが、株価が持ち直し、円安の動きも見られており、今後に期待が持てる。
出版・印刷・同関連産業（経営者）			・現在よりは改善する見込みである。	
化学工業（企画担当）			・海外の経済動向からは、極端な危機の懸念は見られない。低調ではあるが、景気回復傾向が感じられることから、国内への期待感を含めてやや良くなる。	
化学工業（人事担当）			・はっきりした根拠は、円安方向に動いていることである。新政権になっただけでは、将来の景気が良くなることは保証されない。しかし、少なくとも今までの閉塞感からは脱却したことによる期待感があり、それが株高にもつながり、徐々に良くなっていく。	
一般機械器具製造業（経理担当）			・第4四半期の売上は、設備投資が順調である。	
電気機械器具製造業			・取引先の設備投資が、上向くと考えられる。理由は2つあり、1つは通信業界の競争激化によって通信インフラへの増強が必要となるためであり、もう1つは新政権によって放送・通信インフラ基盤の充実のための予算投入があると期待されるためである。	
輸送用機械器具製造業（経営者）			・徐々に改善する。ただし、新政権の経済対策は建設だけなので、景気が浮揚するほどの効果はあまりない。	
輸送用機械器具製造業（品質管理担当）			・客先の生産計画を見ると、しばらくは増産傾向が続く。	
輸送用機械器具製造業（総務経理担当）			・円安方向に向かっており、輸出が伸びる。中国の尖閣問題も落ち着いてきて、中国向けも多少戻ってくる。	
輸送業（経営者）			・円安により、輸出関連貨物の増加が見込まれる。	
輸送業（エリア担当）			・円安が継続し定着すれば、輸出が増加して、東海地域の貿易額も増える。	
通信会社（法人営業担当）			・米国による「財政の崖」への賢明な対処や、デフレ経済からの脱却期待にこたえる新政権の力量への期待など、心理的な要素が大きい。	
金融業（法人営業担当）			・地元自動車メーカーの生産計画では増産が示されており、部品メーカーの受注も増加する。	
金融業（企画担当）			・政権交代によって金融緩和が拡大するとの見込みから、投資も増えてきつつある。心理的な要因が大きいと思われるが、個人や企業が投資に向かえば景気は良くなる。	
不動産業（開発担当）			・政権交代の影響で、不動産業界は好転すると期待される。	



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		会計事務所（職員）	・新政権への期待から、誰もが良くなると信じている。金融緩和もインフレ目標も、腰砕けにならないように頑張ってもらいたい。
		その他サービス業〔広告印刷〕（従業員）	・季節的要因が良くなる時期なので、好転する。
	変わらない	紙加工品〔段ボール〕製造業（経営者）	・地元の大手家電メーカーや自動車メーカーと間接的な取引があるが、販売量は減少しており、内示された生産計画も縮小している。また、主要取引先から内示された部品輸出用梱包資材の計画も、現状から回復していない。底は見えているが、悪化したままで変わらない。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	・大きな変動要因は見られず、現状のままで推移する。
		窯業・土石製品製造業（社員）	・スマートフォン向けの製品は、春ごろまでの予定がほぼ決まっており、現状維持できる可能性が高い。
		鉄鋼業（経営者）	・復興需要や新政権への期待で、様々な投資が始まると思われる。しかし、すぐに中小企業の需要に波及するような話は、聞こえてこない。
		金属製品製造業（経営者）	・年度末にかけての引き合い量は、あまり変わっていない。
		金属製品製造業（従業員）	・価格交渉で有利な状況が生まれることを期待している。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・現在の傾向が続くかどうかは、不透明である。
		電気機械器具製造業（企画担当）	・円高問題は短期間で改善されたが、為替予約を消化するまでの間は、収益の改善効果は限定的であると思われる。
		電気機械器具製造業（経営者）	・世界的な減産に伴い、低調である。F A、工作機械の状況も再浮上する気配はなく、かなり長期化する。
		建設業（経営者）	・政権交代など多くの変化があり、しばらくは様子見の感があるが、年明けには再び動き出すのではないかと。
		輸送業（エリア担当）	・主要荷主からは、明るい情報は伝わってこない。周囲でも、明るい話題は全く聞かれない。
		輸送業（エリア担当）	・機械や自動車を動かす軽油が売れていないことは、遊休施設が増えているということの意味している。景気が上向いているとはいえない状況である。
		金融業（従業員）	・中国問題の影響等があり、これからどのように回復するかによって、自動車産業等の景気も変わっていく。状況はまだ不透明であり、数か月先のことはわからない。
		不動産業（経営者）	・政権交代への期待感は薄く、様子見の現状が続く。
		不動産業（管理担当）	・世間では、政権交代によって景気は浮揚するとの期待があるようである。しかし、各企業で経費の圧縮が続いている現状を見ていると、変わらない。
		企業広告制作業（経営者）	・株価が若干上がっても、景気は良くならない。将来的な展望がなければ、消費は促進されない。
		広告代理店（制作担当）	・取引先企業の状況がまだ見えないため、来年の見通しも読めない。新規の受注件数が伸びてゆく要素は、なかなか見当たらない。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	・転入世帯の新聞購読率が、悪くなっている。また、チラシが回復する材料も見当たらない。
公認会計士	・消費税増税を念頭に設備投資の駆け込みが予想されるが、景気回復とまではいかない。政府は公共工事を大幅に増加させる方針のようであるが、夏までに景気回復するとは思えない。		
やや悪くなる	建設業（経営者）	・政治が安定していないため、国がまとまってくるとは思えない。景気はどんどん悪くなる。	
	会計事務所（社会保険労務士）	・ガソリン価格が、一気に10円近く値上がりしている。自動車が不可欠な郡部では固定費の増加につながり、利益が圧迫されて景気は悪くなる。	
悪くなる	—	—	
雇用関連 (東海)	良くなる	人材派遣会社（営業担当）	・大胆な金融緩和策によって、経済の循環が良くなるため、一時的に経済は回復に向かう。
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・中小企業では、優秀な人材を正社員として積極的に雇用する動きが活発になる。
		人材派遣会社（営業担当）	・夏の参院選までは、経済対策などで景気回復の期待が高まる可能性がある。
		人材派遣会社（営業担当）	・秋口からの景気後退は、一段落した感がある。政権交代も、景気が回復する要素の1つと考えられる。今が今年度の底であると感じられる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		アウトソーシング企業 (エリア担当)	・地元自動車メーカーでは新型車種を12月に発表し、年度末に向けて生産台数を増やすため、稼働日数等が増える。そのため、やや良くなる。
		職業安定所 (職員)	・内需関係の求人数は、増加傾向が続いている。大型の景気対策も実施される。
	変わらない	人材派遣会社 (経営企画)	・環境が大きく変化することはない。
	変わらない	人材派遣会社 (社員)	・中小企業金融円滑化法の終了に伴い、銀行は企業への融資を一段と手控える。企業側も、銀行からお金を借りなくなる。
	変わらない	新聞社 [求人広告] (営業担当)	・やや良くなると考えたいが、年明けからの新政権の動きとそれに対する企業の反応を見てから判断したい。
	変わらない	職業安定所 (所長)	・自動車メーカーの生産計画によると、1月以降は自動車の増産が見込まれる。ただし、4、5次の下請では、生産受注があるかどうか不安に思っている事業所が多く、新規求人があっても微増にとどまる。
	変わらない	職業安定所 (職員)	・基幹産業である輸送用機器製造業の求人が持ち直さない限り、今の状況は変わらない。
	変わらない	民間職業紹介機関 (営業担当)	・自動車関連産業の動きは、まだ見込めない。新卒採用の動きがこれから活発になるため、中途採用の動きは特に変わらない。
	変わらない	民間職業紹介機関 (支社長)	・弱含みながら、横ばいで推移する見通しである。政権交代、為替や株価の動きなどには、期待感がある。
	変わらない	学校 [専門学校] (就職担当)	・前年までは、語学資格を条件にしたり語学資格取得者を優遇した製造業の採用があったが、今はなくなっている。
	やや悪くなる	人材派遣会社 (経営者)	・上期と比べて下期は、求人数が少し減ってきており、単価も上がっていない。人材もおらず、求職者が少ない状態が続いている。来年も厳しくなる。
	やや悪くなる	人材派遣会社 (社員)	・前月、今月と好調であったため、2、3か月先に更に良くなることはあまり期待できない。ただし、歓送迎会の時期には期待が持てる。
	やや悪くなる	人材派遣会社 (支店長)	・大手自動車メーカーでは、派遣社員の活用を減少させる方針が出されている。12月時点で、年度末に派遣契約を終了させるとの通知が、一部の部署から出されている。3月の契約更新時期には、派遣契約の終了が一定の規模で出てくると予想される。
	やや悪くなる	職業安定所 (職員)	・電機関連の工場閉鎖に伴う人員削減や、請負会社の契約満了に伴う離職者が多数発生する。事業集約される工場でも、請負会社から離職者が出ている。大半は外国人である。その他にも、設備の老朽化によって事業を縮小する印刷業や、業務量が激減し後継者もいないため閉鎖を検討している小・零細製造業者があり、年明け以降も厳しい状況が見込まれる。
	やや悪くなる	職業安定所 (次長)	・新たな雇用調整の情報は、今のところ出ていない。ただし、求人開拓のため企業を回った感触では、求人意欲は低下してきている。
	悪くなる	職業安定所 (職員)	・やや円安方向に向かっているものの、景気が良くなる要素はほとんどない。制度面でも、消費税増税や、中小企業金融円滑化法の終了が予定されているほか、高齢者雇用安定法の改正によって企業内の賃金カーブが見直されることに伴い、労働者の消費意欲が低下することも予想される。景気の浮揚を抑制しかねない材料が多い。

## 6. 北陸 (地域別調査機関: (財)北陸経済研究所)

(-: 回答が存在しない, O: 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (北陸)	良くなる	-	-
	やや良くなる	一般小売店 [精肉] (店長)	・来客数が徐々に増えてきている。このまま増えていくと思われる。
	やや良くなる	一般小売店 [書籍] (従業員)	・政権が変わり誰もが自民党の景気対策に期待をし、景気も少しは回復するのではないと思う。
	やや良くなる	百貨店 (営業担当)	・以前はあまり動きが感じられなかった生活を潤わせるような商品、例えば室内インテリアや食卓を彩るキッチン関連商品などに関して、非常に良い物を買って求めている。ようやく高い商品が動き出し、以前から見ると単価も上がっているというのが現状である。このペースが続けば、将来は期待ができそうである。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（店舗管理）	・政権が交代し現政権の一番の売りが経済対策である。そのことが消費者心理を活動的にするものと予測、期待する。
		乗用車販売店（経営者）	・年明けの合同イベントや、新型車の発表が間近に控えているので、仕掛け次第では上向くものと期待している。景気刺激策には見込み客の期待も大きいことを、商談の際に感じ取れる。
		乗用車販売店（経営者）	・春先需要の時期に入るので、購入を控えていた人たちも少しは動き出すと思われる。
		乗用車販売店（役員）	・1～3月に高額車両のモデルチェンジがあり、強力に販売の攻勢をかけようと計画している。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	・総選挙が終わり、自民党の政治に期待をしている。
		スナック（経営者）	・政権交代もあり、少々期待できそうだが、国際的な不況では期待感は一時的な気がする。
		タクシー運転手	・政府や自民党の景気拡大路線に期待をしている。
		通信会社（職員）	・春先の季節要因が加わることで、若干上向きの反応を期待している。
		通信会社（役員）	・今後の契約数推移予想において、大きな変化要因は見当たらないものの、11～12月に実施した商品面の機能強化施策の周知により、その効果が出てくることを期待している。
		テーマパーク（職員）	・向こう3か月の予約状況によると、団体客の予約が少し戻っており、前年同月比で見てもプラスに転じているため、やや全体としても良くなる方向にある。
		住宅販売会社（経営者）	・消費税率引き上げ前の需要が顕在化するとと思われる。
		住宅販売会社（従業員）	・現状、先に決まった消費税率の引き上げを見据えた動きが目立っている。住宅ローン減税の延長も検討されており、環境は良くなっている。しかし、新政権が増税は景気動向を見極めて判断するとの姿勢を打ち出しており、どう変化するかわからない。
		住宅販売会社（従業員）	・政権交代や、メディアなどでも消費税率引き上げの話題が出てくるので、少しは駆け込み効果が表れる。
		変わらない	
商店街（代表者）	・景気が上向くようなニュースも流れ始めたが、まだ実感するには時間がかかりそうだ。		
一般小売店〔鮮魚〕（従業員）	・自民党に政権が帰り、総理も経済対策を最優先に掲げている。株高や円安も進み、消費マインドも若干上向くのではと期待はしている。しかし、われわれの商売に反映されるのは当分先になるだろう。		
一般小売店〔事務用品〕（役員）	・政権が変わり、景気対策を新首相がやるかといっているが、このあたりの動きがどうなるのか全く見えない。そういった期待感もあるが、商売に反映するのは半年ぐらい先であろう。動向を注視していきたい。		
百貨店（売場主任）	・総選挙も一段落したが、まだ景気回復までの期待感が薄く、高額商品の動向に左右されている。		
百貨店（営業担当）	・春は新生活の準備に入る時期であり、リビング用品や学生の準備などで生活用品は動くとは思いますが、一番割合の大きい婦人服類は、時期的には中途半端な時期でもあり、客の買い控えが考えられる。		
百貨店（売場担当）	・来客数は前年同月の104%と、リニューアル売場の集客効果が出ているが、冬物衣料品セールは前倒し傾向にあり、好調をどこまで維持できるかという判断はしづらい状況である。		
スーパー（店長）	・2～3か月先は現在とは何も変わらない状況であろう。その後は、いろいろ経済情勢は変わると思う。		
スーパー（店長）	・総選挙の結果を見ても景気回復の期待は高く、少しずつではあるが気分を新たに年を迎えたいという動きはあるものの、現時点では不安定な様子にあるように思う。販売する立場からは、1品でも多く買ってもらうために、今後は工夫が必要であり、客に買物喚起をすることが重要だと思われる。		
スーパー（総務担当）	・政府のデフレ脱却政策と裏腹に、今後も商品価格の値下がりが続くため、あとしばらくは景気は好転しない。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（総務担当）	・総選挙で自民党が圧勝したのは今後に期待がもてるが、スーパーでの食品の購買に影響が出るには時間がかかる。逆に円安になれば輸入品が値上がりし、その影響が先に出ることも懸念される。
		スーパー（統括）	・客の買物の仕方や競合他社の状況などを見ていると、消費についてはほぼ下がるところまで下がったのではないかと思われる。さらに、当社においてはこの後3か月間に競合他社の出店もないという状況から、今よりも悪くなることは考えにくい状況である。
		コンビニ（経営者）	・2号店の状況に限ってであるが、ここ半年ほどは全く数字などが一緒であり、これ以上悪くなるとは思えないが、良くなると思えない。
		コンビニ（店長）	・今月の景気が悪かったのは、どちらかという天候次第で一過性のものではないかと思う。そのため極端に下がるということにはなかったが、承り商材の数の減少及び雪が降ってきたという事が重なって、売上だけを見ると20日以降どんどん上がらなければならぬところを、全く上がってこず、体感的には非常に景気の悪い1か月だった。ただ、降雪次第にはなと思うが、1月、2月もこのような状況が続くとは考えにくく、例年どおりに戻ってくれないかと期待はしている。全ては天候次第だと思う。
		衣料品専門店（経営者）	・新政権ができて、景気対策重視ということを強調しているが、まだまだ期待が先行している。その通りになったとしても、実際に店頭で反映されるまでには時間がかかりそうである。
		衣料品専門店（経営者）	・忘年会のシーズンに入り各層の色々な人達と会うが、総選挙の結果を歓迎している。先行きについてはどうなるか分からないはずだが、期待と同時に安堵感に浸っているという感じである。
		家電量販店（店長）	・エコポイントの施策やテレビの前倒し販売による反動はまだしばらく続きそうである。
		家電量販店（管理本部）	・総選挙後、景気対策に対する投資家などの期待感は顕著に現れているが、一般消費者に直接結びつくような明るいニュースもなく、圧倒的に驚くような商品の発売も無い。
		自動車備品販売店（従業員）	・タイヤも含めカー用品の単価はますます低下しており、明るい兆しは見当たらない。
		住関連専門店（店長）	・収入が増える見通しがたっていないように思う。したがって、先行きもあまり変わるとは思えない。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・政権が自民党に移り、自民党総裁が首相になり、株価が上がっているものの、商売にはあまり影響が見えない。このまま変わらないものと思っている。
		その他専門店〔医薬品〕（総務担当）	・客の節約志向は変わらず、高額化粧品は鈍い一方で、低価格化粧品に動きが見られる。目的買いの顧客が多く、不要不急の商品には手を出さないという傾向はこれからも続くと思われる。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・足元、市場の来客数及び販売量は、低価格訴求バーゲンやポイント還元イベントなどの実施期間においては一定の増加はするが、通常販売期のトレンドは依然として良くない傾向が当面続く見込みである。
		高級レストラン（スタッフ）	・低単価の居酒屋では、総選挙後に宴席を盛返しているようだが、法人接待は選挙違反と勘違いされるのを嫌い、まだまだ動きが悪い。
		一般レストラン（店長）	・政権が変わり期待を持ちたいが不安である。
		観光型旅館（経営者）	・個人旅行は動いているが、グループ客、団体客の予約が少なく、結果的に集客が前年同月を下回っている状況である。
		都市型ホテル（スタッフ）	・予約状況は芳しくなく、苦戦を予想している。
		旅行代理店（従業員）	・政権が交代となったが、関心度の低さを感じる。また、地域に準じた施策もはっきりとしていない。
		通信会社（営業担当）	・スマートフォン保有率が高くなっているため、学生をはじめ購入率が高くなると思われる。
		通信会社（営業担当）	・例年2月、3月は繁忙期にはいるが、前年以上に良くなる材料は今のところ見つからない。
		美容室（経営者）	・春になって暖かくなると、消費マインドは変わらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		住宅販売会社（従業員）	・中高級商品を求める客層は慎重であり、消費税率引き上げをにらみながらもそれにとらわれず検討している。駆け込み需要がまだ実感できない状況である。
		住宅販売会社（従業員）	・消費税率引き上げによる需要の大幅な伸びはまだ先であり、今後数か月は現状のまま進むと考えている。
	やや悪くなる	コンビニ（経営者）	・当店の近隣にまた競合店の出店が決まった。おそらく3か月後くらいには店舗が開店するのではないかと思われる。そのため先行きはやや悪くなると予想している。
		一般レストラン（スタッフ）	・納入先業者の中国の規模縮小などに合わせ、中国市場から撤退する企業、香港経由などで輸出を続けている企業など、どちらにしても製造業は厳しいとの話を聞いている。
		旅行代理店（従業員）	・翌期の企画見積依頼などの動きを期待しているが、新しい案件が出てこないで、非常に厳しい状況である。
		タクシー運転手	・12月は忘年会などがあり全体的に良かったが、新年会など外出の機会があるものの、その反動でやや悪くなるのではないかと思う。
		競輪場（職員）	・年末のビッグレースでの盛り上がりも一段落し、翌月以降は出場選手や開催グレードにより選別して来場するのではないかと予想する。
	その他レジャー施設（職員）	・この時期、退会をカバーする入会が見込めない。	
悪くなる	観光型旅館（スタッフ）	・前年同月比での予約状況は、1月は78%、2月は66%、3月は89%と回復傾向が見えない。	
企業 動向 関連  (北陸)	良くなる	—	—
	やや良くなる	繊維工業（経営者）	・政権交代により、早速経済の動きがあるような気配がしている。例えば為替の問題であり、円安傾向にあるため、繊維業界でも輸出の動きに影響がある。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・株価上昇などの景気上向きの期待ができると感じている。また、為替の円安移行が持続すれば、輸出関連に好影響が出てくることを期待したい。
		一般機械器具製造業（総務担当）	・総選挙後の、対ドル、対ユーロにおいて円安が進んでいる。この影響で設備投資意欲が高まり、国内需要が伸びると考えている。
		精密機械器具製造業（経営者）	・生産計画は春先に向け若干増えていく予定である。またここへ来ての円高修正が好影響を与えることを期待している。
		輸送業（配車担当）	・総選挙も終わり、止まっていたことが動き出すのではないかと期待される。
		新聞販売店〔広告〕（従業員）	・長く前年同月を下回っていた不動産や住宅メーカーなどのチラシ出稿量が、前年同月比プラスに転じてきた。それに伴い家電や家具などの住宅設備品のチラシ出稿量も、前年同月を上回るようになってきた。
		司法書士	・個人では、住宅ローンの金利が1%を切っており、家の新築、土地購入の話が続き、また分譲マンションが好調に売れだした。
		税理士（所長）	・中小下請の製造業における受注状況の良い傾向について、翌年秋頃までの見通しがついている。政治情勢の安定化の期待もあり、今後大手製造業の設備投資及び国内生産設備の効率化への投資意欲に力強いものが感じられる。
	変わらない	食料品製造業（役員）	・ここ数か月の定番商品の傾向を見ていると、消費者の購買傾向が、同じ品目群でも価格の安い商材への移行が見受けられる。デフレ社会の中では、今後も同様の傾向が続くものとみている。
		繊維工業（経営者）	・為替が変化しており、輸出関連での変化が期待されるものの、シーズ的な要素もあり、回復には時間がかかりそうである。発注先は在庫や価格に敏感になっており、厳しい状況が続く。
		建設業（総務担当）	・工事発注量が低調な状況の中で、3月期末の受注量確保のため、今後厳しい価格競争が展開されると見込まれ、依然として現状の改善は難しいと予想される。
		輸送業（配車担当）	・現状の消費者の購買意欲が、急速に回復する見込みがない。
		通信業（営業担当）	・政治の動きから景気動向の状況をみている客が多い。提案しても導入まで時間がかかったり見送りになるパターンが多い。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		金融業（融資担当）	・新政権のご祝儀相場もあり、為替、株式に反転の動きがある。これは、個人消費マインドを下げる要因の押しよけにつながり、景気の下げ圧力が遠のいたと考えられる。あとは、上向くための起爆剤となる政治の政策面での実行力を見定める必要がある。
	やや悪くなる	金属製品製造業（経営者） 建設業（経営者）	・2～3か月先の分の受注の入り具合を見て、そのように思った。 ・公共事業に無理解の民主党から、10年間に200兆円を社会資本に投下する国土強靱化計画を掲げた自民党に政権交代し、補正予算や新年度予算における公共事業の増加に期待する向きが多い。しかし、3月で中小企業金融円滑化法が期限切れになることから、資金繰りのための受注に走る過当競争が進み、建設業の疲弊が深刻化するであろう。
		不動産業（経営者）	・個人または法人の方にも話を聞いてみたのだが、今は色々動いているようである。しかし、今後2～3か月も動いているかというところといった情報も少なくなるだろうという。また、実際に2～3か月先の情報が少ないということも聞いている。
	悪くなる	—	—
雇用 関連  (北陸)	良くなる	—	—
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・総選挙で自民党が圧勝したことで、新政権による金融緩和への期待感から円安が進行し、株価が急騰しているため、翌年は期待できるのではないかとクライアントから多く聞かれた。
		新聞社〔求人広告〕 （担当者）	・県内の有効求人倍率はほぼ横ばいであり、今後円安の状況などから製造業などでも求人数が回復してくるようと思われる。
	変わらない	人材派遣会社（役員）	・12月末の退職者要員としてやや需要は発生しているものの、先行きは暗い。
		求人情報誌製作会社 （編集者）	・正社員の求人数が伸びてこない。
		職業安定所（職員）	・派遣や介護関連の求人は増加しているが、製造業や建設業の求人は減少しており、景気の底堅さが感じられない。
		職業安定所（職員）	・特に製造業より、先行き不安を理由に当面は現状維持で求人を見合わせる声が多く聞かれる。
		民間職業紹介機関（経営者）	・政権交代による経済活性化の期待はあるものの、県内での雇用増につながる話題もなく景気回復は先のことになると思われる。
	やや悪くなる	職業安定所（職員）	・事業所閉鎖など、事業縮小による離職者が増加しており、求職者の増加が見込まれる。
	悪くなる	—	—

## 7. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所（株））

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (近畿)	良くなる	商店街（代表者）	・少ない客数でも、買上点数と客単価の向上に努める。リピート率を向上する仕掛けをつくり、客のニーズにこたえた主力商材と客の目を引く雑貨商材をそろえることで、客の話題になるため、自然と来客数が増加する。
		通信会社（社員）	・例年は2月後半ごろから、卒業、新入学のキャンペーンが始まるので、3月のピークに向けて販売は伸びる。
		通信会社（企画担当）	・新政権の景気対策による景気改善が期待できる。
	やや良くなる	一般小売店〔事務用品〕 （経営者）	・政権が代わることで景気浮上への期待が高まっている。期待外れに終わらず結果を出してほしい。
		一般小売店〔衣服〕 （経営者）	・消費に活力が出てきて、売上も良くなる。
		百貨店（売場主任）	・12月はギフト、クリスマス、おせち料理共に非常に厳しく、昨年水準に届かない状況である。周りの百貨店のオープンも影響しているかと思うが、どうにか昨年並みにまで持っていきたい。
		百貨店（営業担当）	・政府の景気対策に期待している。特に高額品の動きに注目したい。
		百貨店（販促担当）	・政治の変化による一時的な景況感の上昇により、年初は少し動きが良くなる。今後2、3か月の政治動向が、個人消費にも影響を及ぼす。経済政策が優先という流れから、春先まではやや上昇基調になることを期待している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（店長）	・政権が代わったことにより、景気に対する期待が大きくなっている感じがあり、この様子からも少しの期待は持てる。
		スーパー（店長）	・政権交代によるご祝儀相場も続いており、期待したい。
		スーパー（社員）	・厳しい状況であった関西地域の企業業績も最悪期を抜け出し、徐々に回復に転じるとの期待感が広がり、消費を後押ししている。また、年明けからは、消費税率アップを見越した消費の前倒し効果が増えると予想している。
		コンビニ（経営者）	・今月より販売が始まったカップコーヒーの売上も順調に推移しており、そのほかのファストフード類との相乗効果で更に売上が増加する。
		衣料品専門店（営業・販売担当）	・春シーズンになり、最低であった冬物に比べると、少しは売上が伸びる。
		家電量販店（経営者）	・太陽光発電の補助金締め切り前に施工が増えるため、景況感が高まる。
		乗用車販売店（経営者）	・以前の政権下では解決できなかった外交問題や原子力発電所問題も、新政権は徐々に解決できるのではないかと期待から、株価も上がり、円安に流れが変わってきている。韓国や中国などの周辺国も新しい指導者になっており、来年の景気は今年よりも良くなる。
		その他専門店〔宝石〕（経営者）	・新政権の積極的な経済政策と金融政策によって、株や為替の動向が良い方向に向かっているため、これが続くという面でも良くなる。
		一般レストラン（経営者）	・バレンタインデーや社内異動での歓迎宴会などのイベントが増える時期になるので、新規顧客の獲得をねらっていく。
		一般レストラン（スタッフ）	・政権が交代し、景気対策に対する期待感が先行する状況が生まれる。
		観光型ホテル（経営者）	・政権交代により、何かが変わるのではないかと期待がある。
		観光型旅館（経営者）	・政治が安定すれば、観光需要も活発化すると考える。海外からの客は増加傾向である。
		都市型ホテル（スタッフ）	・12、1月と前年を下回る収入となりそうであるが、一昨年水準は上回る結果となるなど、収入は上向き傾向にある。宿泊部門では単価、稼働室数共に、昨年を上回っている。
		都市型ホテル（マネージャー）	・宿泊部門は中国からの観光客の復活がかぎとなることは間違いないが、現状より悪化することはないので、多少なりとも良くなることを期待している。また、宴会部門に大きな変化は望めないが、株価の上昇が続けば需要も上向き可能性はある。
		都市型ホテル（客室担当）	・総選挙も終わり、新しい体制での日本経済の立て直しにより、景気が好転することを期待している。
		旅行代理店（経営者）	・中国向けは戻りそうにないが、韓国向けは戻ってきており、株価の上昇も海外旅行には好材料となる。国内旅行は関東方面の好調で前年並みの動きは期待している。
		タクシー運転手	・政権交代による期待感と、具体的な政策による景気回復ムードの維持がかぎとなるが、やや良くなる。
		通信会社（経営者）	・政権交代による経済対策の効果が出てくる。
		通信会社（経営者）	・入学・卒業シーズンに入るタイミングであり、来客数は増加傾向になると見込んでいる。
		通信会社（社員）	・秋以降の申込数は増加している。ブロードバンドのマーケット全体はそれほど拡大していないので、今後の増加数は他社からの乗換えの実績に大きく連動してくる。
		テーマパーク（職員）	・政権が代わった結果、デフレからの脱却や所得の増加、消費の拡大につながるかはまだ全く分からないが、少なくともそういう方向に政治の舵を切ることを期待したい。
		観光名所（経理担当）	・今月は平年よりも雪の日が多かったが、その日を除けばあまり寒くもなく、条件としては良かったが、来客数や販売量は前年よりも少し振るわなかった。来客数はまだしも、売上の方は依然としてはかばかしくない。地場の製造業も景気低迷で操業短縮がまだ続いているが、やっそこへきて、政治の変革で経済市況が好転したと、新聞などの様々なメディアが報じている。景気浮揚の材料が取り上げられ、あおられることで、消費者心理は少しは高揚してくる。この状況がいつまで続くかは心配であるが、何とか続いてくれればよい。
		その他レジャー施設〔イベントホール〕（職員）	・新政権が発足し、景気対策にてこ入れすると聞いて、株価が上昇しているようなので、生活も少しは良くなってほしい。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他サービス〔保険代理店〕（経営者）	・少しは政策、為替、株価上昇による景気好転があるはずである。
		その他サービス〔コインランドリー〕（経営者）	・新政権発足や円安などで、若干未来への希望がみえてきたように思われる。
		住宅販売会社（経営者）	・総選挙が終わり、今後の期待感から良くなる。それに併せて春の需要期を迎える。
		住宅販売会社（従業員）	・政権交代の影響により、足元の景気はやや上向き期待がある。ただし、持続力があるかどうかは不透明である。
		住宅販売会社（総務担当）	・景気対策の効果への期待と、消費増税前の駆け込み需要が少しみられる。
		その他住宅〔展示場〕（従業員）	・消費増税の動きのなか、来月ぐらいから増税前の駆け込み需要が見込まれるが、まだまだ慎重な消費者も多く、若干需要が高まる程度にとどまる。
	変わらない	商店街（代表者）	・人出が持続せず、相変わらず人の引きが早い。今後も同じ傾向が続く。
		一般小売店〔衣服〕（経営者）	・この冬の寒波でアパレルでは防寒衣料が動いているため、客単価は上がっているが、ほかの部門は全アイテムが落ち込んでいる。政府には早急な対策を打ってほしい。
		一般小売店〔精肉〕（管理担当）	・総選挙が終わったが、あまり景気回復の期待感もなく、このままの傾向が続く。買い回り品の節約度合いがどんどん進行しているように感じる。これで米国産牛肉が大量に輸入されると、ますますデフレ傾向が強まる。
		一般小売店〔衣服〕（経営者）	・政権が代わり、社会経済の状態が上向きになっていくことを期待するが、楽観視はできない。新政権になって景気が回復し、社会が安定することを切に希望する。
		一般小売店〔野菜〕（店長）	・まだまだ回復にはほど遠い。
		一般小売店〔酒〕（店員）	・今年の年末商戦は、先月に続き来客数が前年を上回る日が多いものの、客単価が前年よりも低い状況が続き、売上は前年割れとなっている。こうした状況が半年続いており、来期からは目標を見直すことが必要だと実感している。
		百貨店（売場主任）	・政権も代わりすぎで長期的には不安定である。もっと国内の安定や、東日本大震災の早期復興、企業の安定、輸出の向上が必要である。
		百貨店（売場主任）	・復興特別所得税の施行や電気料金の値上げなどで、収入の増加見込みも薄いことから、消費マインドの高まりは期待できない。
		百貨店（売場主任）	・政権が交代し、デフレからの脱却などに期待は持てるものの、仮に好転してもすぐに消費の回復に結びつくとは思わない。また、新しい商業施設ができる予定であり、商業施設が飽和状態にある大阪地区では、更なる地域間競争の激化が予測されるため、現状からの好転は難しい。
		百貨店（企画担当）	・年末年始にかけて買う必要のある物が多いため、売上は上がるものの、持続性はない。
		百貨店（営業担当）	・美術品や高級ブランド品の高額品（300万円以上）は株価が値上がり傾向でもあるため、購入する客は更なる高額品を求めるが、全体的には優良顧客でも買上点数は減ってくる。
		百貨店（サービス担当）	・来年は、全館建て替え前のクリアランスセールが大々的に実施されるため、来店客が多くなり、売上が確保できる。一方、花粉が多く飛散する予報により、花粉症対策商品を例年よりも強化する傾向にある。
		百貨店（商品担当）	・総選挙の結果で、景気対策への期待から株価が上昇しており、一見楽観視できそうであるが、実際の効果は不透明である。期待外れで、財政ひっ迫から景気が悪化することも想定でき、余談を許さない状況である。
		百貨店（売場マネージャー）	・セールは活況となるだろうが、勢いは長く続かない。12月に全国的に苦戦した特選マーケットがすぐに回復するとは思えない。
		百貨店（外商担当）	・まだまだ客の景気の先行きに対する不透明感はあるが、政権が交代し、株価の上昇や円安が進んでいるため、景気回復への期待感がある。
		百貨店（店長）	・今後の景気は現状と変わらないと感じるが、場合によっては政治が安定することによって上向きになることもある。
		スーパー（経営者）	・周りに競合店がある上に、先日また新たに開店し、刺激されて安売りをするという悪循環が続いている。
		スーパー（経営者）	・新政権の経済対策に期待している。



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（経営者）	・政権交代で景気に対する期待はあるものの、復興増税や電気料金の値上げに対する不安など、消費者心理を明るくする材料は少ない。また、円安により輸入に多くを頼る食材原価の値上げなどが今後顕在化するが、小売価格は上げづらく、利益圧迫要因となりかねない。
		スーパー（店長）	・新政権に代わった今も、依然として消費税やT P P 交渉参加、電気料金の値上げなど、生活に直結する部分での不確定要素が多い。
		スーパー（店長）	・政権交代も含め、今後の環境の変化を期待する声は一層高まっているが、果たしてどこまでの回復が望めるかはまだまだ不透明である。景気の先行きという点では、引き続き厳しい状況にある。
		スーパー（店長）	・政治、経済が新しい方向へ動き出すことへの期待感はあるが、現実問題として改善していく保証はなく、小売店の店頭ではすぐに反応は出てこない。
		スーパー（企画担当）	・来客数の回復は見込めないが、消費税の増税前の駆け込み需要で相殺され、結果として売上は前年並みとなる予測である。
		スーパー（経理担当）	・新政権への期待から株価が上昇、円安傾向にあり、すぐに実体経済への波及はないが、消費者心理には好影響となる。一方で消費増税を控え、節約ムードは変わらないため、小康状態が続く。
		スーパー（広報担当）	・電気料金の値上げ時期となり、その影響が懸念される。
		スーパー（販売担当）	・客の買物動向からすると、競合相手との価格競争で単価が下がっている部分がある。客の買上点数は堅調であるが、トータルとして単価が下がっている分、買上金額は昨年を下回る状況が続いている。
		スーパー（開発担当）	・新政権の景気対策への期待で株価が上がったが、労働者の賃金が上がらなければ厳しい。
		スーパー（管理担当）	・政権交代が行われたが、すぐに効果が出ることは期待できない。
		コンビニ（店長）	・増税などの影響で落ち込むかもしれないが、新政権への期待感もあり、現状維持で推移する。
		コンビニ（店員）	・今年後半は利益が上がらなかったため、景気回復は非常に難しい。
		コンビニ（広告担当）	・総選挙が終わったが、政権が代わったとはいえ まだまだすぐに景気は良くなるらない。日々の生活において消費は依然抑え気味で推移する。
		衣料品専門店（経営者）	・いろいろな経済政策が取りざたされているが、首都圏についてはすぐに効果が表れるかもしれないが、神戸の場合、早くも1年後ぐらいにしか効果が表れない。下手をすると、効果のないまま終わってしまうかもしれない。
		乗用車販売店（経営者）	・修理で入庫する車の量が減ってきている。車検、新車の販売予約なども少ない。唯一、スタッドレスタイヤの販売は好調であるが、一時的なものである。
		乗用車販売店（経営者）	・現時点で少なからず作業の受注をもらっているの、少しは上向くのではないかと思われるが、不確定な要素が多いため、何ともいえない。
		乗用車販売店（営業担当）	・来客数、単価などの動きから判断して、ここ何か月も変化が感じられない。
		住関連専門店（店長）	・客の購買意欲を上げる世間の動きがない。消費者の経済不安を取り除かなければ、財布のひもは緩まない。
		その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・商品価格は若干高くても、品質の良い物、商品価値の高い物や、ぜいたくではないが心がほっとするような物であれば、客は購入してくれる。商品とアイデアを提供することが大事であり、1品単価を維持し、買上点数を抑えないような品ぞろえを行い、売上の確保に努めることが必要である。
		その他専門店〔食品〕（経営者）	・天候次第で大きく変化する。
		その他専門店〔宝飾品〕（販売担当）	・為替の変動も大きくならないだろうし、購買意欲の上昇も期待できない。
		高級レストラン（支配人）	・概算では、今四半期の販売量は前年をやや下回っており、今後は特に好材料もないため、状況は変わらない。
		一般レストラン（経営者）	・全般的な景気高揚感から一時的にはプラスになる可能性はあるが、現実的に実感するまでは一進一退の動きになる。
		一般レストラン（店員）	・昨年よりも寒い日が多く、来客数の伸びはあまり期待できない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般レストラン（経理担当）	・生活防衛の動きや電気料金の値上げ、先行きの不安、総選挙の結果といった要素があるほか、消費者は気分にも左右される。財布のひもが緩む要素が見当たらない。
		その他飲食〔コーヒーショップ〕（店長）	・政権交代による景気変化の期待感はあるものの、消費拡大に向けては個人の収入拡大が必要不可欠で、まだまだ先の話である。
		その他飲食〔ファーストフード〕（店員）	・全体的に来客数は少ないが、単価は上昇している。
		観光型ホテル（経営者）	・新しい政権が発足したが、全世界を取り巻く経済状況は日本にも強い影響を与えている。日本だけの政策でこの世の中の景気が良くなるかどうかは疑問である。
		観光型旅館（経営者）	・何ら明るい見通しがなく、数字にも表れていない。
		観光型旅館（団体役員）	・政府の新しい経済政策がどれだけ迅速に我々の業界に浸透してくるかという楽しみはあるが、景気の後退は先で、回復は最後という業界であるため、大きな期待はできない。
		都市型ホテル（支配人）	・政権交代による景気浮揚策のアナウンスで株高、円安状態となっているが、これが本物かどうかはもう少し様子を見たい。政権が代わり、期待されるのは1～2%のインフレ目標であり、市場の期待感は大い。物価上昇で個人消費に恩恵が回るのは半年後ともみられるが、期待度は大である。
		旅行代理店（広報担当）	・現状を大きく打開するような出来事が予定されているわけではなく、客の様子はなかなか変化しそうにない。
		タクシー運転手	・新政権に代わり、日本銀行との兼ね合いもスムーズにいくことにより、徐々に景気が良くなることを期待する。
		タクシー運転手	・新年に向かい、状況に変化はない。
		観光名所（経理担当）	・集客策を見直して誘客に努力しているが、前年比で10%減が精一杯で、これ以上減少しないようにするだけである。
		競艇場（職員）	・今月の好調は12月で賞与が支給されたためであり、一過性のものと考えられる。
		その他レジャー施設〔球場〕（経理担当）	・プロ野球のシーズン前の時期であるが、コンサートや展示・販売関係のイベントが予定されており、昨年並みの観客を期待している。
		その他レジャー施設〔飲食・物販系滞在型施設〕（企画担当）	・政権交代による安心感が感じられなければ、国内のレジャー消費が本格的に底上げされることは難しい。外交関係の改善による海外からの観光客の増加を期待したい。
		美容室（経営者）	・客は11月は我慢し、12月に来店すると思っていたが、客の集中した日は2～3日程度で、ほかの日がかえって暇になり、結局先月と同じであった。来年も正月休みがあり、お金をほかに使うため、1月はいつも減収となり、3月ごろから増えてくる。
		美容室（店員）	・基本的には今と変わらない。
		その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・2月に無料体験キャンペーンを行うため、その結果次第で生徒数に変化が出る。
		その他サービス〔マッサージ〕（スタッフ）	・オイルマッサージで裸になるので、寒い時期は毎年来客数が減少するが、最近では夏場でも来客数が少ない。
		その他サービス〔生命保険〕（営業担当）	・依然として景気の先行きが不透明なため、生命保険の加入を検討する客は伸びない。
		その他サービス〔ビデオ・CDレンタル〕（エリア担当）	・商品タイトルに影響される部分も多いため、今後の商品発掘や、独占的な商品確保に期待したい。
		住宅販売会社（従業員）	・分譲マンションの販売に関しては、消費税の増税方針が変更されない限り、現在の好調な状況が続く。
		その他住宅〔情報誌〕（編集者）	・政権交代による短期的なプラス要因もあるが、消費者への影響は限定的である。年度末に向け、新築マンションの新規供給の増加により、消費者の来場数は増加が見込まれるものの、売上は例年と同程度の動きになると予測される。
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・政権交代で期待しているが、消費者にまで成果が表れるまでは、まだまだ時間がかかる。
		一般小売店〔時計〕（経営者）	・時計に対する好みや嗜好が変わってきているのは確かであるため、売上が伸びるとは考えにくい。また、入園や入学を控えて関連商品にお金が使われることもはっきり分かるので、時計については景気が良くなるとは考えにくい。
		一般小売店〔珈琲〕（経営者）	・消費税率引上げや電力会社による電気料金の値上げが、消費者の財布のひもを固くしているように感じる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
		一般小売店〔花〕(経営者)	・消費増税など、先行きを考えると消費が落ち込む可能性が高く、景気の回復につながる見込みは薄い。売上についても、得意先の会社などが経費の削減を考えた場合、最初にカットされる見込みが高く、現時点でも減少傾向にある。	
		一般小売店〔鮮魚〕(営業担当)	・年末に向けて上向いているとはいえ、例年に比べてやや悪いため、この先はもっと消費が冷え込む。	
		一般小売店〔雑貨〕(店長)	・最近では徐々に売上が落ちつつある。	
		百貨店(売場主任)	・新政権への期待値がどれほどの効果を生むかは分からないが、雇用機会が増加したとしても、少なくとも既存の労働者の1人当たり賃金は回復が見込めない以上、身の回りの景気は一層厳しくなる。	
		百貨店(企画担当)	・消費税の増税も次第に近づくなど、先行きの不安が払しょくできない。	
		百貨店(マネージャー)	・1、2月のクリアランスセールについても、ここへきて冬物商材の動きが鈍くなったこともあり、動きが好転するとは予測できない。また、経済環境や政治の不安定な状態など、個人消費に与える不安材料も多い。高額商材では好調であった美術品の動きも鈍くなっており、ここにも不安要素がある。	
		スーパー(企画)	・政治の不透明感や電気料金の引上げなど、消費が拡大する要素はみつけにくい。	
		コンビニ(経営者)	・季節的により寒くなれば飲料水の購入が減少するため、温かいおでんなどでカバーするが追いつかない。	
		コンビニ(店員)	・寒い時期は来客数が落ち込む。	
		家電量販店(店長)	・本来売上構成比の高い映像商品の需要先食いが、いまだに影響を残している。堅調な推移を保つ白物家電ではカバーできないほどの落ち込みである。	
		乗用車販売店(経営者)	・景気浮上の裏付けがない。	
		乗用車販売店(販売担当)	・新型車の発売などの好材料に乏しく、今の状況が続く。	
		高級レストラン(スタッフ)	・例年、年明けは客足が落ち込む傾向にある。	
		一般レストラン(経営者)	・今年は年末年始の休みが多く、出費が多かったと思うので、これからは出費を控える傾向となる。	
		観光型旅館(経営者)	・政権交代による景気での入力は期待したいが、石油価格が上がりだし、輸出入の動向も不安定ななか、景気が回復するとは思えない。	
		都市型ホテル(スタッフ)	・宿泊は特にインパクトのあるイベントがなく、低価格での販売が続く。宴会においても、前年の水準が辛うじて維持できるかどうかという状況である。	
		都市型ホテル(総務担当)	・現在、宿泊、宴会部門は前年並みに推移しているが、年明け以降の予約が伸びない。予約件数が両部門とも10%程度、前年に比べて減少している。	
		タクシー運転手	・1年の最高のシーズンが終わり、今までにぎわっていた反動が出る。例年、気候にもよるが年明けは客足が減る。	
		通信会社(企画担当)	・政権交代の効果はまだ出てこない。	
		競輪場(職員)	・例年からみると悪くなる。政権が代わり、株価が上昇、為替が円安に動き、物価が上昇する気配があるようだが、金融緩和などを行っても、雇用の増大や賃金の上昇につながらないのであれば、結局は真の景気回復とはならない。	
		その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕(経営者)	・24年度の期末に向けて、各金融機関は融資を絞ると思う。新政権になり、金融緩和が行われるようだが、世間の実態とはずれている。	
		悪くなる	衣料品専門店(経営者)	・今後の生活に不安があるために、服などは買い控えられる傾向にある。
			衣料品専門店(販売担当)	・消費税率が上がっても、賃金が増えない限りどんどん悪くなる。
家電量販店(企画担当)	・テレビ通販で家電商品を中心に扱ってきた企業の業績が不振であり、先行きは非常に不安である。			
企業動向関連	良くなる	木材木製品製造業(経営者)	・近い将来に開始する新規事業により、利益の増加が見込まれるなど、今後の展望は明るい。	
		化学工業(経営者)	・年明けの大口案件が多数出てきており、小口案件の動きも活発なことから、景気が良くなる期待が高い。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
(近畿)	やや良くなる	建設業（経営者）	・年度末にかけては、確実に良くなる。現在進行中の案件が決まってくるほか、業界の規制がかかる物と外れる物があることで、市場が動き出す。また、住宅、不動産関連業界で消費増税の影響も出てくる。
		食料品製造業（経理担当）	・政治に変化があり、ムードとしては良くなる感がある。
		家具及び木材木製品製造業（営業担当）	・配達量が多い。
		出版・印刷・同関連産業（情報企画担当）	・新政権になり、経済対策に力を入れることで、2%のインフレ目標の導入と金融緩和策が実施されれば、株高と円安が進んでいく。この状況を持続させて、規制の緩和やT P P交渉参加などの政策により、個人消費の高揚につなげてほしい。
		化学工業（企画担当）	・政権が交代した影響が出始める。
		金属製品製造業（経営者）	・新政権に期待したい。
		金属製品製造業（営業担当）	・消費税率アップに伴う駆け込みで、住宅向け出荷が増えそうである。
		金属製品製造業（管理担当）	・政権交代によって、公共事業関連の受注があるのではないかと期待している。
		電気機械器具製造業（経営者）	・政権が代わり世の中は気分転換された状態なのか、ムード的に明るい、その明るさが企業活動に良い影響を与えることを期待している。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・新政権の政策が良い方向に動くことを期待する。
		その他製造業〔履物〕（団体職員）	・政権交代により、いろいろな経済対策の効果が出てくることを期待している。
		建設業（経営者）	・新政権の方向性がある程度みえてくる期待から、3か月後には購買意欲も向上する。
		通信業（管理担当）	・政局の変化による。
	金融業（営業担当）	・総選挙の自民党勝利で今後の期待が大きい。	
	新聞販売店〔広告〕（店主）	・先月14日の衆議院の解散が決定的になった日を境に、折込や読者数を含め、関連数字が好転している。	
	広告代理店（営業担当）	・政権も変わってほしいという期待感で、各企業とも積極的に広告へ投資する気配がみられる。	
	経営コンサルタント	・具体的な根拠はないが、新政権が次の総選挙までは景気対策を重視すると期待している。	
	コピーサービス業（店長）	・年始以降、売上、来客数共に若干落ち着く状況を予想するが、新規店舗のオープンなどで活気が戻るなど、総合的にみて悲観的な印象はない。	
	その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・経済の閉そく感は、政権が交代したことにより、一時的な動きの可能性はあるが、回復傾向に向かう。	
	その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（営業担当）	・政権交代となり、景気対策を進めていくと思われるため、買い控えをしていた流れが、購買意欲が高まる方へとマインドが変化していく。	
	変わらない	食料品製造業（従業員）	・師走のようなにぎわいが続けばよいが、どこかで一服することが予想されるため、その時の経済、政治の状況で売上は変動する。春の新製品も発売されるので、良くなってほしいが、まだまだ先は読めない。
		繊維工業（団体職員）	・法人需要が中心であり、景気の回復が需要動向に大きく影響するため、早急な景気回復が望まれる。
		繊維工業（総務担当）	・消費者の購買意欲が減退している。今回の総選挙で政権が交代したが、ここ半年ほどは好転を期待するのは難しい。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・海外への生産シフトや、海外で生産して国内に輸入する傾向は変わらない。
		化学工業（管理担当）	・新政権になり、円安及び株価も1万円を回復しているが、この状態が続くかどうかは不透明である。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・政権が代わったことに期待している。
		一般機械器具製造業（経営者）	・原子力発電関連の投資は止まっているが、その技術を活用した他分野への投資に期待している。マーケットの動きは鈍いが、悲観はしていない。
一般機械器具製造業（設計担当）		・投資家などは良くなるかもしれないが、一般的にはまだまだである。	
電気機械器具製造業（経営者）		・3か月ぐらいで良くなるような状況ではない。現状が悪いため、今後3か月程度は悪いまま推移する。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		電気機械器具製造業 (宣伝担当)	・良くなる要因が見当たらない。
		電気機械器具製造業 (営業担当)	・取引先の新規開拓をしているが、引き合いは少ない。
		電気機械器具製造業 (企画担当)	・一般的には円安を背景に回復含みではあるが、我々の事業としては大きな影響なく推移する。
		輸送用機械器具製造業 (経理担当)	・政権の交代があり、金融緩和策が実施される模様であるが、国内での設備投資がどのような動きをみせるのか、先行きは不透明である。
		その他製造業 [事務用品] (営業担当)	・売上の上がるような新商品の開発が進んでいない。
		建設業 (経営者)	・東日本大震災の本格復興が始まれば、職人不足・賃金高騰が予想される。受注価格は相変わらず厳しいが、原価は上昇傾向にあるため、今後は利益のねん出がより難しくなる。
		建設業 (営業担当)	・政権交代により公共投資が増えるが、人手不足がより深刻になる可能性があり、人件費がかさめば収益を更に圧迫する。受注価格に転嫁できるようになれば、景気も良くなってくる。
		輸送業 (営業所長)	・一時的に荷動きが増える案件はあるが、継続できるような案件が乏しい。
		司法書士	・政権が変わったことで、新たなプラスがあるかもしれないが、代わったばかりでこれからである。良くなってほしいという期待はあるが、2～3か月の短期間ではあまり変わらない。
		その他サービス [自動車修理] (経営者)	・政権が交代したので良くなってほしい。
やや悪くなる		食料品製造業 (営業担当)	・1、2月は毎年売上が減少となるため、販売の増加はあまり見込めない。
		繊維工業 (総務担当)	・加工代や燃料代が上がってきたので、経費が増えている。
		プラスチック製品製造業 (経営者)	・決して悲観するわけではないが、現在の状態が長続きするほどの土台が形成されていない。今後の動向を前向きに見据えた結果、1増2減でやや悪くなるという評価である。
		輸送業 (商品管理担当)	・毎年の動きであるが、年始は配達量が落ち込む傾向にあるので、今年もそうなる。
		輸送業 (営業担当)	・学習機の価格がどの家具店でも下がっているため、例年どおりの販売量は期待できない。
		広告代理店 (営業担当)	・年度末までしばらく良い状況とはならない。
		経営コンサルタント	・ここ2～3か月という短期的な見通しでは、好転する要素がない。
悪くなる		電気機械器具製造業 (企画担当)	・来年の見通しが全く立たない。
		不動産業 (営業担当)	・円高が少し止まり円安になっているというものの、神戸から事業所がなくなる動きは変わっていない。
		その他非製造業 [電気業] (営業担当)	・先行きが不透明である。
雇用関連 (近畿)	良くなる	学校 [大学] (就職担当)	・円高が解消されつつあり、製造業が持ち直してくると予想される。政権交代による景気回復を期待している。
	やや良くなる	人材派遣会社 (経営者)	・新政権となり、年度末に向けての大型予算が大きく動く感がある。公共投資においては、インフラ関係の関連会社にはかなりの依頼がきている。
		人材派遣会社 (営業担当)	・政権交代による円安、株高で、輸出企業は増益となる。また、労働関連の規制緩和が予想され、派遣での人材需要は増加するよう思う。ただし、派遣で働くマイナスイメージが労働者に強いため、派遣会社としては人材確保の厳しさは今後も続く。
		人材派遣会社 (支店長)	・新政権の施策次第であるが、良くなることが期待される。
		新聞社 [求人広告] (営業担当)	・政権が代わり、経済政策に力を注ぐと表明していることから、まずは期待感だけでも今より上向きになるのは間違いない。
新聞社 [求人広告] (営業担当)	・政権交代によって景気対策が動き始めることへの期待は大きい。ただし、新しい仕事生まれることで雇用が創出されれば良いが、急には難しい。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
		新聞社〔求人広告〕 (管理担当)	・新政権に交代することになり、株価も上昇している。何らかの失政がなければ、これまでのどん底からは上向くと考えている。中小企業の多い関西でも、求人広告の出稿数は上向いており、景気が上向いていることの証明となっている。	
		民間職業紹介機関(大学担当)	・一時的なものかもしれないが、円安と株価上昇はほとんどの企業にとってプラス材料である。今後の新政権の政策にかなり期待している。	
		学校〔大学〕(就職担当)	・新政権に期待している。	
	変わらない	人材派遣会社(役員)	・業界は完全な売手市場となっているため、求人数の伸びが成約数の伸びにつながっていない。その要因としては、高条件のニーズが増え、マッチングが難しくなっているほか、新規登録数の低迷が挙げられる。	
			職業安定所(職員)	・新規求人数(原数値)は、33か月連続して前年を上回っており、主要産業別にみると、情報通信業、卸売業、小売業、宿泊業、飲食サービス業においては、前年を上回っている。しかし、製造業については前年を下回っており、なかでも汎用機械器具や電気機械器具などが下回っているため、今後の動向を注視したい。
			職業安定所(職員)	・円高が少し改善傾向にあるが、製造業などの業種では求人の動きが悪くなっており、景気の良くなる要素が見当たらない。
		民間職業紹介機関(職員)	・新政権が発足したことで株価は一時的に上がっても、企業の収益そのものの好転は予想しにくい。	
			・労働者数の限界もあり、窓口で建設日雇いの未充足求人票が目立っているが、求人会社への聞き取り調査では、掲示期限がきてもそのまま継続掲示を希望する業者が目立つ。	
			・景況感は良くないが、円安、株高の動きが好材料となる可能性がある。	
	やや悪くなる	新聞社〔求人広告〕 (担当者)	・政権交代の影響がどう出るかであるが、関西の地場産業関連の活発な動きがみられない。求人数をみても確かな手ごたえがない。	
職業安定所(職員)		・これまで新規求人の大幅な増加傾向が続いてきたが、ここに来て正社員求人は減少に転じ、特に製造業求人の落ち込みが激しい。その製造業においては、大手メーカーの業績悪化による受注の減少を懸念する声が多く聞かれる。政権交代による経済政策に期待する声も多いが、現状の雇用情勢からみると、今後、景気は徐々に悪化していく。		
職業安定所(職員)		・電機関連などで人員削減が始まっており、先行き不透明である。		
悪くなる		—	—	

## 8. 中国(地域別調査機関：(社)中国地方総合研究センター)

(－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (中国)	良くなる	百貨店(購買担当)	・クリアランスセールに突入するが、アパレル関係はセールの商品を作っているわけではなく、秋物で売れ残った物が安くなるということで時季外れな商品もあるため、客の購買意欲につながらない。
		通信会社(営業担当)	・2～3月は新高校生を始めとした新生活需要で一年間のなかで一番販売が見込める時期となる。販売が好調になるゆえに来店数も増え、客を待たせる時間が発生して満足度低下が懸念されるため、そうならないよう努めていく。
	やや良くなる	商店街(理事)	・政権が交代し、現状よりは良くなる。
		商店街(代表者)	・株の動きや円相場によるが、前の政権とは違う風が吹く。
		一般小売店〔酒店〕 (経営者)	・政権が自民党に移り、財布のひもが緩むのを期待している。
		一般小売店〔紙類〕 (経営者)	・地元の中距離の客が増加しており、商圈が広がっている。
		百貨店(営業担当)	・総選挙後の円安、株高の影響で気分的に景気が戻りつつある。また、当館の売上も少し戻ってきているので、この状況が続くことを期待している。
		百貨店(営業担当)	・紳士物が絶好調である。
		百貨店(売場担当)	・政権交代で景気が回復していくことを期待する。
		衣料品専門店(経営者)	・輸入もの中心なので、円安傾向で逆に単価が上がる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
		衣料品専門店（経営者）	・政権が変わり、少しでも株価等が上がると消費者の気持ちは随分変わり商売もやりやすくなる。	
		乗用車販売店（業務担当）	・1～3月の大増販期を迎え、販売増加が見込まれる。	
		乗用車販売店（営業担当）	・政権が変わったことによって株価が上がり、株を保有している客からいい話が出てくるようになっていく。景気は今より良くなる。	
		乗用車販売店（営業担当）	・株価の動き等で景気は良くなる傾向である。	
		乗用車販売店（副店長）	・建設・土木関係を中心に活気付いてくると予想される。	
		自動車備品販売店（経営者）	・新総理効果なのか政権交代のおかげなのか、少し世の中が明るくなっている。景気にも期待感が出ている。	
		その他専門店〔布地〕（経営者）	・政権交代で景気回復に力を入れるようなので期待している。	
		その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）	・景気に対する期待感から消費動向に変化が現れるには時間がかかるが、厳冬予報から初売りやパーゲンでの衣料防寒関連、暖房関連のニーズの高まりが期待できる。	
		その他小売〔ショッピングセンター〕（運営担当）	・マクロの視点から見ると、新政権の金融緩和（円安誘導）による輸出関連企業の復調が期待できる。広島県は自動車を中心とした製造業の業績が回復すると連動して景気が良くなるため期待している。	
		一般レストラン（経営者）	・政権が交代し景気対策があると期待する。景気が良くなる。	
		スナック（経営者）	・政権が代わり景気対策に力を入れているので、少し良くなると期待している。	
		都市型ホテル（スタッフ）	・選挙が終わって株価も上がっており、宴会の受注も順調に入っている。	
		都市型ホテル（企画担当）	・消費の抑制による反動を期待する。物価上昇の駆け込み需要がある。	
		旅行代理店（経営者）	・政権交代により景気改善施策に期待している。	
		タクシー運転手	・選挙が終わったので少しは上向く。	
		通信会社（企画担当）	・年末の総選挙の結果を受けての期待感が接客で感じられる。	
		通信会社（工事担当）	・3月は需要が多くなる月なので、願望も込めて増加しないと困る。	
		美容室（経営者）	・自民党政権に期待をしている人も多く、少し気分的にも活動しやすい環境になる。	
		設計事務所（経営者）	・選挙で自民党が圧勝し、防災・減災対策の公共事業を景気対策として掲げているので少しは仕事量が増える期待感がある。	
		設計事務所（経営者）	・消費税増税前に住宅を取得したい客は多いが、景気の先行きが不安なので踏み切れていない。政権が交代して景気対策が発表されれば、そのあたりの需要が見込める。	
		住宅販売会社（従業員）	・客が動いている状況であるが、慎重である。	
		住宅販売会社（販売担当）	・消費税増税へ向けた駆け込み需要が見込まれる時期に入る。政権交代の期待感も含めてテコ入れの効果が見込まれる。	
		変わらない	商店街（代表者）	・特に良くなる要素が今のところ見当たらないので変化はない。
			商店街（代表者）	・政権交代で経済的に好条件が出ているが、インフレターゲットが続くと大変なことになる心配がある。
			商店街（代表者）	・政権が交代したが、末端の我々に影響が来るのはかなり後の話である。まわりの人や同業者、取引先の人にもいい話は聞かれない。
			一般小売店〔靴〕（経営者）	・季節の変化で人や物は動き、現状より悪くはならない。
			一般小売店〔印章〕（経営者）	・年末の注文も減少し、景気は良くならない。
一般小売店〔酒店〕（経営者）	・地方の小さな市にとって少子高齢化や人口減により厳しい状況が続くが、新政権は経済政策を重視しているようなので期待している。			
百貨店（営業担当）	・気温次第であるが、セール長期化に伴い年明けからのセールインパクトが年々薄れている傾向があるため苦戦が予想される。			

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（電算担当）	・来店数が減少傾向であるが、売上は前年比1.8%増で良くも悪くもない。化粧品のように客が固定しているところはぶれない。冬物衣料が動きだし、宝石と寝具が好調である。訪問販売も行っており、来店を待っても売れない時代である。
		百貨店（販売担当）	・景気回復の期待はあるが、しばらくは現状維持で推移する。
		百貨店（営業推進担当）	・小売業としては、円安、株高は心理的に好材料であるが、ドラステックに改善するとは考えにくい。
		スーパー（店長）	・地元の基幹産業の景気が回復しない限り地元生活者の節約志向は続く。
		スーパー（店長）	・政権が交代して期待はするが個人消費回復には時間がかかる。
		スーパー（店長）	・客数は前年比でほぼ100%である。
		スーパー（総務担当）	・安価な商品の購買が目立つので上昇は期待しづらい。
		スーパー（業務開発担当）	・来店客の高齢化率が上がっているため、日常は必要なものだけを最小限に購入し、日持ちする食料品や日用品はバーゲンのときに買うことが定着している。
		スーパー（販売担当）	・客単価に若干の上昇が見られるものの、相変わらず客数は上向かず、しばらく変化は見られないと判断している。
		スーパー（管理担当）	・客数が上昇する兆しがなく、現状維持と予測する。
		スーパー（営業システム担当）	・クリスマスを終えたが売上はやはり伸びなかった。急な寒波のため、人が外出しないなどの影響もあるかもしれないが、前年よりも大幅ダウンである。年末になって伸びるといのは考えにくく、冬のボーナスも使うのではなく、貯めていこうという流れは変わらない。
		コンビニ（エリア担当）	・現状がしばらく続くが、商品単価が落ちているので客が増えたとしても売上は減少する。一方でモバイルカードを購入する客が増え単価も上昇しているが、それ以外の売上に変化はない。
		コンビニ（エリア担当）	・100円未満のパンが市場的にかなり広がっているので今後も力を入れていくが、単価に限度があるので販売量がどこまで伸びるか不透明である。
		コンビニ（エリア担当）	・来客数減少傾向は下げ止まりになるが、上向きになるのはまだ先である。
		コンビニ（副地域ブロック長）	・政権交代で新内閣が経済対策を打ち出しているが、効果が出てくるのはまだ先である。
		衣料品専門店（地域ブロック長）	・景気回復はないが、現状のまま推移する。
		家電量販店（店長）	・政権交代で景気対策に力を入れるという報道があるが、市民まで浸透するのは時間がかかる。
		家電量販店（企画担当）	・話題にのぼるような新製品の発表などが無い限り、特に期待できるものがない。
		乗用車販売店（店長）	・決算期を迎えるなかで客の動きを期待するが、今年はその気配がない。
		その他専門店〔和菓子〕（経営者）	・極端な増加要素が見当たらない。
		その他専門店〔海産物〕（経営者）	・客の様子からも景気が上向く雰囲気はまだ感じられない。
		高級レストラン（スタッフ）	・正月あたりの家族連れの予約は順調であるが、それ以降はまだ分からないのでしばらく様子見である。
		一般レストラン（経営者）	・政権交代による一時的な期待感があり、地方経済も活発に投資を行える環境は整う。ただし実際の客動向に変化が生じるのは来年度以降になるので、数か月での客動向は変化しない。
		一般レストラン（外食事業担当）	・政権が交代して景気高揚が始まるが、製造業やIT関係とは異なり、物販や飲食はまだまだ買い控えの状況が続く。公共料金の値上げが拍車をかけ、客の購買意欲を抑える。
		観光型ホテル（支配人）	・2月までの予約の入込状況は一般宴会が前年を上回っているものの婚礼宴会がマイナスで、トータルとしては前年並みである。3月下旬からの瀬戸内海地域での大型イベントも当地にはさほど波及効果は期待できない。
		都市型ホテル（総支配人）	・1～2月の予約状況はビジネス客を中心に前年比マイナスとなっており、現在の厳しい状況は変わらない。
		都市型ホテル（企画担当）	・客数は若干増えているものの、同業者間の価格競争が激しく、販売単価が下がり利益が上がらない。
		タクシー運転手	・景気が良くなる話を聞かない。
		タクシー運転手	・自粛ムードであり良くはならない。



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		タクシー運転手	・忘年会シーズンであるが、金曜日と土曜日だけ忙しく、以前と違う世界になっている。
		通信会社（社員）	・客の問い合わせなどに変動がない。
		通信会社（通信事業担当）	・加入キャンペーンなどの反応も鈍く、見込み客の数もほとんど増えておらず、厳しい状況が続いていく。
		通信会社（営業担当）	・地上デジタル放送化完了後、放送サービスへの関心が薄れており、今後もこの傾向に変化はない。
		通信会社（総務担当）	・景気回復に期待したいが、すぐに事業が好転することはない。
		通信会社（広報担当）	・変化を及ぼす決定的な策が現状はない。
		テーマパーク（管理担当）	・政治的变化、株価上昇により期待感があるが、地方に影響が出るのには時間がかかる。
		テーマパーク（広報担当）	・例年好評のイベントの期間を延長する予定にしており、来客の増加が期待できる。
		ゴルフ場（営業担当）	・例年1～2月は閑散期であり、集客が大きく変わることはない。来客数は12月より30%くらい下降の見込みであるが、予定どおり推移する。
		その他サービス〔介護サービス〕（介護サービス担当）	・この一年、身のまわりで景気の変化が見られなかったことから考えても、よほどの事がない限り今後2、3か月で景気に変化するとは考えにくい。
		設計事務所（経営者）	・消費税増税の効果が出るまでもう少しかかる。
		住宅販売会社（営業担当）	・税制制度の改定について客が様子を見ている状況であり、消費税増税の駆け込み需要も今のところ期待できない。
	やや悪くなる	百貨店（販売促進担当）	・12月末に地元大手企業の第二次リストラが行われ、数百人の離職者が想定されている。この状況は今後の景気高揚には大きなマイナス要因となる。
		百貨店（売場担当）	・地域の雇用悪化が顕在化してムードが非常に悪い。政治への期待感はあるものの、需要が高まる新商品や新しい企画がない。全般に生活防衛的な低価格商品に需要がシフトすると予測される。
		スーパー（店長）	・政治が安定せず、国民生活は不安定なままである。
		スーパー（販売担当）	・競合店とチラシが入る日がかぶることが増え、内容によっては来客数が減少するので売上の増加は見込めない。
		衣料品専門店（地域ブロック長）	・今後も景気が良くなる材料がなく、現状のまま推移する。
		家電量販店（店長）	・インターネットショッピングがライバルとなりつつあり、店舗のショーウィンドウ化がさらに加速する。消費税増税前の駆け込み需要までは時間があるが、徐々に上向きとなる。
		家電量販店（店長）	・年末で来客数は増加したが、2～3月は閑散期となり現在より来客数は10%ほど低下する。
		乗用車販売店（統括）	・昨年は補助金効果による販売増加があったが、今年は1月から厳しい状況が続く。
		乗用車販売店（店長）	・販売台数は前年を割り込む状況で客の動きも鈍くなっており今後の期待ができない。
		自動車備品販売店（経営者）	・商圏内の大企業のリストラで、間違いなく個人消費が減少する。
		その他専門店〔時計〕（経営者）	・増税などの影響で購買マインドは上向かないと考えている。需要の取り合いが更に激しくなる。
		その他専門店〔ファッション雑貨〕（従業員）	・上向き要素がなく更に需要は落ち込む。
		一般レストラン（エリア担当）	・今後も単価の低下は避けられそうにない異常事態となっていく。
		その他飲食〔サービスエリア内レストラン〕（支配人）	・この冬は寒さが厳しいという予報で、気温が低いと客の動きが鈍く立ち寄り率が下がるので良い状況ではない。
		観光型ホテル（スタッフ）	・ここ最近の販売量、来客数が例年より良かったので、今後落ちる可能性は高い。
		競艇場（職員）	・年末ほど売上が見込めるレースの開催がないので販売量は悪くなる。
		その他レジャー施設（アミューズメント）	・映画を観た後の娯楽目的の客の来店数が落ち着き、客単価の伸びはあまり期待できないため好調な12月より落ち込む。
		美容室（経営者）	・長引く不況でこれから良くなることはない。
		美容室（経営者）	・年末需要が終わり、1月から春先まで髪を切る客が減少するので売上は下がる。
	悪くなる	商店街（代表者）	・冬の一番寒い時期を迎え、中高年客の多い商店街の客足は減少する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		商店街（代表者）	・政権交代をしたからといって景気がすぐ良くなることはない。
		一般小売店〔茶〕（経営者）	・選挙結果にかすかな希望を持っている。とにかく経済が良くなってもらわないと困る。
		スーパー（店長）	・平均単価の下落、客数の減少、地域商圏マイナス1.5%の人口動態の状況から良くなるとは考えにくい。
		スーパー（財務担当）	・年末年始の反動による節約で客単価が下落し売上が減少する。
		テーマパーク（業務担当）	・冬季閑散期に入るため来園者が減少する。
企業 動向 関連  (中国)	良くなる	輸送用機械器具製造業（経営者）	・3か月先も自動車部品関係の受注量は増えて景気は良い。
		建設業（総務担当）	・大型物件の受注でこの先しばらく忙しい状況が続くことが予想される。
		不動産業（総務担当）	・賃貸住宅の需要時期に入るため、来店数・成約件数は大幅に増える。
	やや良くなる	化学工業（経営者）	・主要原料の苛性ソーダの値上げ発表により仕入単価の上昇懸念はぬぐえないが、実勢価格は当面現行水準が続く見通しであり、近時の円安も手伝って取引先の輸出向け需要が緩やかながら伸長する見通しである。
		鉄鋼業（総務担当）	・新政権の経済対策が奏功すると考える。
		鉄鋼業（総務担当）	・政権交代によるマインド上昇が期待される。
		通信業（営業企画担当）	・情報通信関連の効率化提案への需要が高まっており、今年度一杯は提案機会が見込まれる。
		通信業（営業担当）	・政権が自民党に代わり金融緩和ならびに公共投資など景気対策を打ち出していることから、中小企業などの雇用回復や設備投資などが上向く。
		広告代理店（営業担当）	・3月は様々な方面での動きが活発になる時期で、受注量も拡大路線に向かい、新規開拓及び既存の受注量アップに期待する。
		コピーサービス業（管理担当）	・経済対策としての公共事業投資により複写需要の増加を見込んでいる。
	変わらない	食料品製造業（総務担当）	・12月の売上が良ければ翌月は落ちる。
		繊維工業（統括担当）	・新内閣に期待する。
		木材木製品製造業（経理担当）	・新政権による具体的施策はまだ定まらない現時点では、円安継続か消費税増税がどうなるのか予測が難しい。
化学工業（総務担当）		・景気対策等の効果がまだ見えない。	
非鉄金属製造業（経理担当）		・金属価格は上昇傾向で市況のマインドも好転しているようであるが、具体的な数字として表れていない。	
一般機械器具製造業（経理財務担当）		・国内需要増加の兆しが見られない。	
電気機械器具製造業（総務担当）		・新政権への期待はあるものの製造業の不振は根が深く様子見で推移する。	
輸送用機械器具製造業（経営企画担当）		・ここ1～3か月は受注の予想数量に対し実績が減少している。	
輸送用機械器具製造業（総務担当）		・今後も受注量の増加に期待が持てない。	
その他製造業〔スポーツ用品〕（総務担当）		・金融緩和や大型公共事業投資により一時的には盛り返すかもしれないが、大企業は別として中小の製造業に抜本的な制度改革がなされない限り、継続的な景気回復は望めない。	
建設業（経営者）		・政権交代で補正予算などが出ると期待感はあるが、この先変化はない。	
輸送業（業務担当）		・落ち込みの大きい客の見通しが現段階では見えてこない。	
金融業（営業担当）		・政権交代があり一部経営者には景気回復に前向きな意見もあるが、急激な景気改善を見込む人は少ない。特に当地では都市部より景気回復が遅れる傾向にあり、今後2～3か月は現状とあまり変化のない景気が続く。	
会計事務所（職員）		・製造業はやや上向き気配があるものの、公共工事関係は現状では例年と比べても受注高が減少傾向にある。飲食やサービス関連も上向きに転ずる気配は見られない。	
やや悪くなる		農林水産業（従業者）	・9月以降はほとんどの漁種で前年割れしており、近年にない不漁で水揚げ数量・金額ともに厳しい状況が続く。
		食料品製造業（総務担当）	・消費が冷え込んでいるなかで生産の増加が見込めない。
		窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	・ゴミ焼却炉向け工事案件の製造の時期であるが、鉄鋼向け受注の陰りがあって生産量は下降する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		金属製品製造業（総務担当）	・厳しい状況が好転するとは考えにくい。得意先の商談に中国向けの案件が戻り始めてきた。ただし造船業界からの値下げ要請が確実視されており、どこまで受けるべきか検討している。受注量自体も少なく、造船業界はかなり厳しい。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・取引先の発注がなくなる見込みである。
		輸送業（総務担当）	・当社の売上減少に歯止めがかからない。既存客の減少が大きく、新規客の売上でカバーすることができない。
		金融業（自動車担当）	・欧州経済や中国の混乱はあるが、世界全体では新型エコカーの需要が順調に増大すると期待できる。為替も円安に動き輸出採算は改善が続く。
	悪くなる	一般機械器具製造業（総務担当）	・受注量や販売量の動きが悪い。
雇用 関連  (中国)	良くなる やや良くなる	—	—
		人材派遣会社（社員）	・政権交代の影響で株価も上がり円安の傾向も出ている。企業でも経済好転の期待感が膨らみ、新年度へ向けて採用活動が活発になると予想される。
		人材派遣会社（営業担当）	・政権交代をしたことで良くなって欲しいという期待がある。
		民間職業紹介機関（人材紹介担当）	・株価も上昇し経済対策への期待が高まっており、全体の意識が景気回復に向かっているため、企業も消費者も活発な活動に転じる。
	変わらない	学校〔大学〕（就職担当）	・2014年度新卒者対象の求人が昨年より増える傾向にある。
		人材派遣会社（営業担当）	・人材派遣の需要に関しては、製造業では全般的に需要が落ちたまま推移し、増員というよりは欠員補充といった意味合いでの需要がほとんどでその傾向は続く。
		求人情報誌製作会社（広告担当）	・政局が変動して景気回復に対策を引き続き講じるということであるが、地方企業もいまだ様子見という状況で特に期待感をもっている様子はなく、冷静に静観しているという感じである。
		求人情報誌製作会社（採用支援担当）	・企業の求人が減っている印象は受けない。景気自体が多少悪くなくても、米国の大手金融機関の破たん以降の求人を抑えた反動がしばらく続く。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・政権が代わって景気上向きへの期待感からか、周辺企業に「人手が欲しい」ともらすところが出始めている。
		職業安定所（産業雇用情報担当）	・パートや臨時求人、派遣求人は増加しているが、正規雇用の求人は減少傾向にあり、先行きは不透明である。
		民間職業紹介機関（職員）	・新政権の施策に左右されることから現時点でどちらに転ぶか判断できない。ただ、円安に伴う輸出関連株の上昇など浮揚要素があることから良くなる可能性がある。
	やや悪くなる	学校〔短期大学〕（学生支援担当）	・大きな動きが見られない。
		その他雇用の動向を把握できる者〔労働機関〕（職員）	・来春の新規学卒求人が、件数では前年を上回ったものの募集人数が絞られているため低水準で推移している。新たな企業誘致の大量採用の話も複数あるが、来年・再来年以降のことであり、今現在の求人には結び付かない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・ここ10年ほど日銀は金を出し、銀行から国債も買っているがデフレは収まっていない。国内の投資機会が限られ使い道がないから金が銀行に留まっている。更に金を出してもデフレ、円高の克服は難しい。
		職業安定所（雇用開発担当）	・有効求人数の伸びが前年同月比12%増と先月までの17～18%増に比べ減少している。このため有効求人倍率も今年5月から順調に前月を上回っていたが、有効求職者数が減少しているにもかかわらず減少に転じた。また、正社員求人を含む新規求人数も同年前月に比べてこの3か月間は減少している。
	職業安定所（産業雇用情報担当）	・管内の事業所で店舗閉鎖の予定があり、求職者が増加する。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	悪くなる	—	—

## 9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
家計 動向 関連  (四国)	良くなる	—	—	
	やや良くなる	商店街（事務局長）	・円安、株高、政治への期待感などを足がかりに、これから春先にかけて消費マインドも上向くと思われる。ただし、商品やサービスを吟味する消費者の目はなお厳しく、単純に財布のひもが緩むとは考えづらい。しっかりとした価値の提案が必要になる。	
		商店街（代表者）	・冬物の売行きが好調。春物の立ち上げも早くなると思われる。このまま良い方向で推移すると予想する。政権も代わり、期待感があふれており、消費マインドもかなり上昇するのではないかと。	
		百貨店（営業担当）	・総選挙後の、客の景気が良くなるという期待感に加え、近隣に駐車場が完成することもある。来客数が増えるのではないかと予想する。	
		スーパー（財務担当）	・新政権が、景気回復・デフレ解消に大きく軸足を移しており、その結果に期待していることから、やや良くなる予想する。	
		コンビニ（店長）	・周辺で宅地造成、新築工事が始まっている。住宅の工事が増えれば来店客が増えて好転し始めると考えている。	
		衣料品専門店（経営者）	・大手ショッピングセンターのオープンから丸1年が経過したが、株価が上昇していることを鑑み、売上が減少した昨年と比べれば、良くなるのではないかと期待している。	
		衣料品専門店（経営者）	・政権が代わったことに加え、消費税増税前の駆け込み需要が予想される。	
		乗用車販売店（営業担当）	・春の需要期を迎え、1月には、初売りを始め新商品の展示イベント等でユーザーの購買意欲を高めたい。	
		設計事務所（所長）	・建設関係の件費が上昇しつつあり、震災復興の関係で大手の建設会社等は受注を控えている様子がある。	
		変わらない	商店街（代表者）	・政治の変化が経済の変化につながるにはかなりの時間差がある。その間が安定した数の保守政治により活路を見いだす機会であって欲しい。
			一般小売店〔酒類〕（経営者）	・上向く理由が思い当たらない。
			一般小売店〔乾物〕（店員）	・政権が代わり、景気を良くしてくれると思う。
			百貨店（総務担当）	・一時的に株価は上昇しているが、具体的な経済対策・原子力発電所稼働の方向性が打ち出されないなかでは継続的な景気の回復は見込まれにくいと思われる。
			スーパー（店長）	・目下のところ景気好転の要因が見当たらない。
			スーパー（店長）	・現状、特に景気が上昇していくような要素はみられない。
			スーパー（企画担当）	・店舗規模による競争力の差がさらに顕著になっていくと予想される。
			スーパー（統括担当）	・政権が代わり、若干、期待をしつつも、変化はないように思うため、変わらないと予想する。
			コンビニ（商品担当）	・自民党政権下で、円安主導が継続化されたとしても、個人消費が上向くには更なる時間を要するのではないかと考える。
			衣料品専門店（経営者）	・例年1～3月はあまり良くないため、変わらないと予想する。
		衣料品専門店（総務担当）	・客単価は低迷しており、購買意欲の低下が感じられる。依然として景気が上向く兆しはなく、しばらくは厳しい状況が続くとみている。	
		家電量販店（店長）	・売上状況からみて、変わる要素がない。	
		家電量販店（店員）	・新生活需要が見込めるが、家電一式をそろえる客の割合が減っており、販売量は今月と同程度か若干下回ると予想される。	
		乗用車販売店（従業員）	・新車販売台数が回復する見通しは、見当がつかない。	
		乗用車販売店（従業員）	・新内閣の施策がすぐに1月に実行できるはずもなく、消費の冷え込みは変わらないと思う。	
		乗用車販売店（従業員）	・販売量をみると前年とほぼ変わらない状況で動いているため、変わらないと予想する。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		乗用車販売店（役員）	・新車の登録は思ったよりは悪くない。新型車投入の効果もあり、ある程度落ちないという状況である。自動車業界も1～3月は決算があり、意外と現状維持か、それ以上で行けると踏んでいる。
		観光型旅館（経営者）	・予約状況は昨年と比べて良いというわけではない。消費は少し上昇していくのではないかとも思うが、今はあまり期待できない状況にある。
		都市型ホテル（経営者）	・宿泊の予約が非常に悪い。バンケット部門は好調であるが、景気は弱含みのまま推移すると思われる。
		旅行代理店（支店長）	・総選挙での自民党勝利の影響で、景気回復への期待感があり旅行需要の増加も期待されるが、反面、円安傾向で海外旅行需要の落ち込みが懸念される。
		タクシー運転手	・建設業界の談合問題で、春頃から仕事がなくなるのではないかと心配している。忘年会も建設関係はほとんどなかった。客の給料ベースアップの話があったのは通信関係のみで、変わらないと予想する。
		通信会社（営業担当）	・春の商戦期を迎え、販売数量の増加は見込めるものの、例年を上回る要素は見当たらない。2台目需要の動向に期待したい。
		通信会社（企画）	・現状では、お客さまの状況に変化はなく、今後大きな要因もないことから変わらないと予想する。
		ゴルフ場（従業員）	・12月が非常に悪く、このまま3か月先まで引っ張られるのではないかと想像しており、変わらないと予想する。
		競艇場（職員）	・年末年始のレースの売上が1年を占うと思われる。売上増加のためには、いい選手を呼ぶ、大きなレースを開催するなどして来場者数を増やす工夫が必要である。しかし、2月・3月は大きなレースもなく、変わらないと予想する。
		美容室（経営者）	・消費マインドが相変わらず冷え込んでいるように思う。
		設計事務所（職員）	・年度末納期に向けたフル操業状態が継続するが、上半期の売上低迷が影響して、年間を通じると変わらない。
		住宅販売会社（従業員）	・消費税率の据置きもあり得るかもしれないことから、買い控えをしているように感じられ、販売量は大きく増えないのではないかと思う。
		やや悪くなる	
コンビニ（総務）	・天候や気温にも左右されるが、現状を回復させるような要因は見当たらず、しばらくはこのままの状態が続くと思われる。		
その他専門店〔酒〕（経営者）	・12月末は1年で一番良く売れることから、今後は下降気味になると予想される。		
観光名所（職員）	・閑散期に入るため、やや悪くなると予想する。		
美容室（経営者）	・年間を通して良くないと思うので、やや悪くなると予想する。		
悪くなる		一般小売店〔酒〕（販売担当）	・政権交代し政府は前向きな事を並べ立てているが、景気はなかなか戻らないだろうし、地方の冷え込みは大変厳しく、悪くなると予想する。
		住関連専門店（経営者）	・東日本大震災、原子力発電所問題がはっきりしないことや中国の問題もあり販売量が伸びておらず、悪くなると予想する。
		タクシー運転手	・年を越して、客は夜の街にもあまり出なくなった。春のお遍路のシーズンが始まるまで、相当落ち込むことが予想される。
企業動向関連 (四国)	良くなる やや良くなる	—	—
		繊維工業（経営者）	・全体的に景気は上向きのように感じられる。
		木材木製品製造業（経営者）	・復興需要に関しては、今年よりも来年のほうが受注は多いように感じる。株価上昇、為替も円安に振れていることから、少しは良くなるのではないか。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・円安の継続と政権交代による自民党政権の経済政策に期待している。
		電気機械器具製造業（経営者）	・メガソーラーの建設で大変忙しく、たくさんの受注がある。先月に比べると、売上は倍増していくような感じである。この点だけが大変良いということで、やや良くなると予想する。
		電気機械器具製造業（経理担当）	・欧州・米国市場ともに変化はないが、円高基調が落ち着き、安堵感がある。為替状況がこのまま継続すれば、業績は若干好転すると予想する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信業（部長）	・政権の期待感からか、取引先の中には景気回復を予想する企業が多くなっている。
		公認会計士	・新政権に対する期待が非常に大きい。特に公共事業、公共投資が具体化してくるのではないかと。また、消費税増税前の駆け込み需要などを考える客が多く、非常にマインドが上向きになっている。
	変わらない	農林水産業（総務担当）	・時期的に供給量の大幅な回復は期待できず、末端売価は高めで推移すると見込まれ、消費の動きを活発化するには至らない。
		建設業（経営者）	・自民党に期待するも、まだまだ先の話であり、変わらないと予想する。
		建設業（総務担当）	・安ければ良いという風潮が蔓延している。もっと品質重視でいかないと、この不景気から脱却できない。
		輸送業（経営者）	・政権交代後の様子を見ている。
		金融業（融資担当）	・大きく好転する材料がなく、横ばいで推移する予想である。
		広告代理店（経営者）	・政権交代による株価上昇等の期待感や新規出店等を含む具体的な新規案件も多少あるが、多くの地元資本得意先からは依然広告費削減の話があり、現時点ではあまり変わらない見込みである。
	やや悪くなる	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・1月、2月は落ち込む時期であるが、今年度は例年以上に落ち込みそうな受注状態である。
		輸送業（支店長）	・荷主からのコストダウン目的の契約単価ダウン要請、並びに公共事業終了による収入ダウンによる。
悪くなる	鉄鋼業（総務部長）	・政権交代を受けてのドル円為替相場84円前後では受注環境の回復は見込めない。90円台になれば回復基調が望める。	
雇用 関連  (四国)	良くなる	—	—
	やや良くなる	人材派遣会社（営業担当）	・政権が代わり、年度末に向け、求人数などの需要に期待したい。
		人材派遣会社（営業）	・政権が代わり、これから打ち出される政策が景気回復にどう影響するか期待したい意味も含めて上向くと感じている。
		求人情報誌（営業）	・新卒採用を増やしたり再開したりする企業が増えることにより、その企業の経済活動が活発になり、景気の底上げに寄与する。
		求人情報誌製作会社（従業員）	・年度末は例年求人数が増えるため、やや良くなると予想する。
		職業安定所（職員）	・月間有効求人倍率は、前月比0.08ポイント上昇、前年同月比0.14ポイント上昇していることから、やや良くなると予想する。
	変わらない	職業安定所（職員）	・コールセンターを始め求人数は一定数を確保しているものの、常用フルタイムでの募集活動に関する情報が少ない。
		学校〔大学〕（就職担当）	・卒業年次生向けの求人は若干増えてきており、内定率もアップしてきたが、次年度向けの求人は昨年ほど伸びていない。
	やや悪くなる	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・裾野の広い建設業界の談合反則金支払等で景気の足を引っ張る材料が大きい。
		職業安定所（職員）	・大手電機メーカーの間接派遣、請負会社への発注数量の減少に伴い、雇用調整の動きが予想される。管内では11月末に製造に関する雇用調整の動きがみられ、69名の大量整理があった。
民間職業紹介機関（所長）		・毎日企業を訪問しているが、全体的に高揚感が感じられない。理由は様々であるが、全般的に、経営の先行き不透明感がある。	
悪くなる	—	—	

## 10. 九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (九州)	良くなる	設計事務所（所長）	・年度末に新庁舎工事の発注があり、4月以降、耐震補強や学校、新庁舎の管理等が出る予定になっている。そういう意味では景気が良くなる。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・今後、気温が下がり、防寒衣料やその他衣料品が売れることが期待される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（売場主任）	・1月はクリアランスセールがスタートするが、7月のクリアランスセールとは異なり、全ブランドがほぼ同じスタートを切る。気温も平年並み、もしくはそれ以下の推移のなか、冬物衣料が売れる期待感がある。加えて、政権交代により、経済が上向くのではという期待感も市場を後押しする。
		百貨店（営業政策担当）	・新政権の景気対策に対する期待は高く、特に量的金融緩和と政策が施行されれば、住宅ローンの借り換え等が行われ、結果的に市場が活性化される。
		スーパー（総務担当）	・クリスマス向け商品やお歳暮を中心に前年より若干売上が回復傾向に向かっている。
		コンビニ（店長）	・円安になってきているので、このまま推移すれば、景気は良くなる。
		コンビニ（店長）	・政権交代の影響で景気は良くなる。
		家電量販店（店員）	・新総理の迅速な行動力への期待感があり、平均株価も上がっている。また、円安傾向で輸出企業が頑張れば製造業も潤ってくるのではないかと非常に期待している。景気が回復するには時間が掛かるかもしれないが、明るい材料になっている。
		乗用車販売店（総務担当）	・年度末の最大需要期を迎える。新年となり、車を購入する客が増加する。新車だけでなく中古車、サービスで売上を伸ばし、利益を確保できる。
		乗用車販売店（代表）	・昨年後半は販売台数がかなり減少したので、今年は多少なりとも上がる。
		その他小売の動向を把握できる者〔土産卸売〕（従業員）	・新政権の新しい経済対策の効果が目にみえてくるため、これから先、景気の回復に期待できる。売上も増えることが期待できる。
		高級レストラン（専務）	・政権が変わって、最初はやはり政策や資金面で良くなる。ただ最初は良くなっても、景気がどうなるかまだ分からない状況である。
		都市型ホテル（スタッフ）	・第4四半期の予約状況は前年比2%減で推移しており、予約の問い合わせも多い。
		旅行代理店（従業員）	・月を追うごとに予約は回復傾向にある。海外は遠方や単価の高い商品が売れ始めた。
		タクシー運転手	・政権交代により、金融緩和やその他諸々あり、株価も動いているので、3か月先は今よりはお金の流れがあり、客も動く。
		通信会社（企画担当）	・景気回復への期待感がある。
		通信会社（営業担当）	・新政権に代わりデフレ対策を強く押し出していることから、色々な公共事業等も増え、建設業界は非常に期待している。景気は今後少しずつ良くなる。
		通信会社（総務局）	・新商材の発売や新プラン設定による手応えがあり、若干改善の兆しはある。
		競輪場（職員）	・新政権への期待感から活性化する。
		美容室（経営者）	・政府の景気対策により、景気回復に向かっている。少しでもデフレからインフレの方向に向かえば、2、3か月先はやや良くなる。中小企業の景気対策も必要となり、最終消費者までの景気テコ入れが期待される。
		住宅販売会社（代表）	・2極化が進んでおり、周りの住宅メーカー、工務店、弊社の受注数や来客数をみると、2、3か月先は上向きに転じる見込みである。
	変わらない	商店街（代表者）	・政権が変わっても、この10年間なにも変わらずデフレのままである。また、現在の国の借金財政を緩和しない限り、景気は良くはならない。
		商店街（代表者）	・客の動きが全く読めないというのが、今の消費行動であり、3か月後と今を比較するのが難しくなっている。
		商店街（代表者）	・政権交代があり、今度の政権は経済の再生を前面に出しているが、消費者までその効果や恩恵を受けるまでには、相当の月日を要する。しかし、新政権には景気回復の施策を大いに期待している。
		商店街（代表者）	・年明けも気温の低い日が続く、冬物でどこまで売上が維持できるか、先がみえない。また春物にも期待できないため先行きは不透明である。
		商店街（代表者）	・新政権となり、経済対策が打たれても、1、2か月では結果は出ない。景気は今後も変わらない。
		一般小売店〔鮮魚〕（店員）	・先行きが読めない状況が続いている。お正月のような大イベントがないと消費者は動かない。日常の買物が動かないと本当の景気回復とは言えない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般小売店〔茶〕（販売・事務）	・総選挙後、平均株価が最高値で終わり、今後にかなり期待できる。厳しい現状のなかで消費税増税だけは今後に影響しそうである。
		百貨店（営業担当）	・お歳暮ギフトでは送先の絞り込みがあったが、依頼主ごとの購入金額は増加している。また、おせち料理の受注件数はやや減少したが、客単価が上昇し、自家需要年末商品の動きは好調であった。
		百貨店（販売促進担当）	・初売り、セール商戦が始まり、買い控えていた客の来店が増える。
		百貨店（売場担当）	・2、3か月先は、気温には特に注視するところがある。また、2月については前年と比べて営業日が1日少ない。2月末で店舗を1店閉鎖するため、客がこちらに流れるか懸念される。
		百貨店（営業統括）	・国内外与件も含めて、早急な景気回復は期待できない。
		百貨店（業務担当）	・客の購買はより慎重になっている。クリスマス商戦での若年層の動きも単価を押さえた買い物が多かった。これだけ冬仕込みが早いと、年明けの冬物処分についても必要な物の買い足しに限られてしまう可能性がある。
		百貨店（店舗事業計画部）	・冬物セールも年末商戦と同様の傾向が予測される。新しい店舗であるため、本来は固定客が増える分、上乘せが可能であるが、季節の変わり目に先物を購入する客が少ない傾向が続いているため、2、3か月先の景気は横ばい程度と見込む。
		スーパー（経営者）	・新政権となり、株価や円の相場等に動きが見込める。
		スーパー（店長）	・政権交代があり、景気回復の期待感はあるかもしれないが、この2、3か月ではあまり変わらない。イメージ的には2、3か月先は多少景気は良くなるかもしれないが、実際それが末端での消費行動として表れるかどうかは判断が難しい。
		スーパー（店長）	・全体的には厳しいが、一部の消費者には安全や健康にメリットがあれば価格にこだわらないという声も聞かれ、すべてが悲観的というわけでもない。客の様子から、いささかの期待も芽生え始めており、今後それが購買動向に良い影響を与える感じもある。
		スーパー（店長）	・年末の商品の動向からみて、正月明けてからの商品の動きも良くないとみている。
		スーパー（総務担当）	・新政権誕生に伴い、経済対策等への期待感があるため、購買点数が若干ながら改善傾向を示している。しかしながら、昨年実施されたエコポイント付与のような具体的な消費刺激策が示されていない現状では、大型家電や家具など耐久消費財の動きは見込めない。小額品の多少の改善では収益改善は期待できず、横ばいが続く。
		スーパー（業務担当）	・競合与件でも特筆すべき案件はなく、ここ1か月間の動向をみても好調になる要因はない。今後、冬物衣料も最終処分期に入り、稼げる時期ではないのでしばらくは停滞状況が続く。
		コンビニ（経営者）	・今後、非常に悪い状況が変わる材料が見受けられない。
		コンビニ（販売促進担当）	・ここ数か月、量販店の売上が低下傾向にあるなかで、量販店の安売り傾向は依然続く。また、定番商品の動きが鈍く、食パンについても100円以下の販売で販売個数の増加につながらないのが現状である。全体的にも販売量は横ばいである。
		コンビニ（エリア担当・店長）	・新しく店がオープンしてまだ2年弱だが、来客数が伸びている。ただ単価が伸びる要素が見当たらないので、売上は横ばいである。
		衣料品専門店（店長）	・長期にわたった商店街改造工事が裏目に出ており、来街者が少なく、客が来店する見込みがない。しばらくはこの状態が続く。
		衣料品専門店（店長）	・景気は良くもなく悪くもなく、現状維持の状態がこのまま続く。
		衣料品専門店（店員）	・衝動買いをする客を見かけなくなった。これから先、客が増えていくような兆しが見受けられない。
		衣料品専門店（取締役）	・先行きが不透明ななか、政権が代わっても、家計に影響を与えるのがいつになるのか分からないので、3か月先の景気については不透明なままである。



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		衣料品専門店（総務担当）	・当地における商店街の疲弊具合はこれからも強まっていく可能性はあるが、政権交代による強力な景気浮揚へのテコ入れにより、何とか支えてくれるのではないかと期待する。
		衣料品専門店（チーフ）	・年始過ぎ1月まではセール商材が動くが、2、3月にかけては紳士服専門店はスーツの動きが鈍くなるため、売上を落とす。また、スーツの売行きが昨年と比べると悪いという結果がでており、パンツやジャケット等単品の販売が強化される。
		家電量販店（店員）	・12月は家電にとってはボーナス月ということもあり、若干伸びた。しかしこれから需要が伸びるとは思えないので、このまま良くない状態が続く。
		家電量販店（総務担当）	・売上が相変わらず前年を下回り、有効な打開策が見いだせない苦しい状況が続いている。
		家電量販店（企画・IR担当）	・2～3月は、新生活や入学シーズンを控え、1人暮らし向けの小物調理家電やスマートフォン、PCタブレット等の販売が伸びる。テレビやDVDレコーダーの回復が不透明である。
		乗用車販売店（従業員）	・エコカー補助金が終わり、補助金の代わりにの重量税、取得税の免税等がない限り、受注に結びつかない。
		住関連専門店（経営者）	・総選挙で政権交代があり、景気対策等の色々な政策が期待されるが、その財源は借金による赤字国債で賄われるため、見かけ倒しにならないか心配だ。
		その他専門店〔コーヒー豆〕（経営者）	・12月まではお歳暮シーズンということもあり、進物関係のギフトが、昨年と比べるとわずかであるが増えている。ただ、1、2月は例年、購入・購買が若干下がるため、その分昨年と変わらない。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）	・今回の冬の賞与支給が、かんばしくないとの声をよく聞き、予定していた物は購入するが、必要以上には消費しないようである。できるだけ貯蓄に回したいとの声を聞くことが多い。燃料油の小売価格は現在、安定しているが、多くの販売量及びカーケア商品の拡販は期待できない。
		その他専門店〔書籍〕（代表）	・新政権の経済対策の効果がまだみえない。
		その他専門店〔書籍〕（地区支配人）	・現在も良いとは言えず、上昇も悪化も予測ができない。業界の伸びが厳しいため、政権交代の効果も表れない。
		その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	・外部環境を含めて大きな変化がない。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（広報担当）	・政権交代で経済対策による景気回復に期待するが、効果が出てくるには時間が掛かる。
		観光型ホテル（スタッフ）	・披露宴の予約状況が前年を下回っている。
		観光型ホテル（専務）	・政権が代わったが、景気回復の要素はまだ感じられない。
		都市型ホテル（副支配人）	・1月は非常に厳しいが、2、3月の予約は順調に入っている。
		旅行代理店（企画）	・東京の有名テーマパークの30周年効果もあり、春先の旅行が増加する可能性がある。
		タクシー運転手	・客層をみると、これまで海外旅行をしていた客、特に中国に行った客が多い。そういう面で今後期待され、いくらか景気は持ち直す。
		タクシー運転手	・日中の予約客は来月もよく入っているが、夜の繁華街は少し落ちる。
		通信会社（管理担当）	・資金繰りが厳しい状態は変わっていない。
		通信会社（企画担当）	・大きな視点では市場の成長性が見込めず、また激しい競争状態に変化がみられない。
		通信会社（業務担当）	・1月も月の半ばまでは、スマートフォンの販売が伸びることが予想されるが、他社への流出も続いている。月末にかけて伸びない懸念があり、販売数は例年を下回ると予想される。
		ゴルフ場（従業員）	・年明けの予約は例年よりやや少ない状態である。今後、国債が発行され、地方の色々な投資が始まると建設業等から新しいコンペ等が出てくるが、それもまだまだ期待できない。単価を下げてでも地元の客に来てもらおうしかない。また県外客に来てもらえるよう、地道な努力をしなければ、厳しい状態が半年は続く。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		美容室（店長）	・政権が代わり、消費税増税等で皆どうなるか不安である。様子をみているので、景気はしばらく良くない。
		その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	・ノロウイルスの影響もあり、例年よりも入院に伴う利用キャンセルが多い。
		住宅販売会社（従業員）	・消費税増税前の駆け込み需要を年明けから見込んでいたが、増税時期が流動的になってきたため、それが明確になるまでは様子見に転じる。
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・2、3か月先は、卒業、入学、就職、結婚など出費が増え、それ以外の消費では客の財布のひもがかなり固くなる。
		一般小売店〔青果〕（店長）	・例年、年明けの1～3月までは購買意欲が落ちる。また新政権による経済対策がはっきりしない限り、消費者の生活の安定にどうつながるか分からない。はっきりするまでは厳しい状況が続く。
		百貨店（営業担当）	・この半年間の来客数は前年比3%減となっており、今後、この減少傾向は更に厳しくなる。色々な売出し等の手は打っているが、客が戻ってこないのが現状で、この傾向はますます強くなる。
		百貨店（営業担当）	・新政権になり、円安となり株価にも良い影響が出ている。ただ、その恩恵が市場にはまだ表れない。この状況が安定的に続けば、少しずつ好転する。
		スーパー（店長）	・昨年度は競合店の閉鎖に伴い、売上が前年比12～13%増で推移している。今後は競合店の跡にディスカウントタイプの店が入り、厳しい状況となる。売上は前年比7～8%減で推移する状況となる。来客数も同じような推移となり、客単価は前年比1%増、買上単価も前年と同じくらいで、来客数の減少分が売上の減少になる。
		スーパー（店長）	・今後も景気、消費税増税の問題、雇用等の問題と先行きはまだ不透明である。また、競合店の出店等が今後も加速され、ますます厳しくなる。
		家電量販店（従業員）	・年末年始が終わると客足も購入量も減る。
		乗用車販売店（従業員）	・メーカーのリコール報道により、来客数、販売に悪い影響があると懸念している。
		その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	・政権交代の影響が不透明である。消費税増税対策により消費が低迷している。
		高級レストラン（支配人）	・予約の状況をみる限り、景気はあまり良くない。
		都市型ホテル（販売担当）	・景気が良くなる要素がない。
		タクシー運転手	・このところ暖かかったり、寒くなったりするので、タクシー利用にバラつきがあり、なんとなく伸び悩んでいる。
		通信会社（販売部）	・12月はボーナス期やクリスマス等、購入動機につながる環境があったが、年明けはそういった環境が乏しいため、低調に推移する。
		ゴルフ場（支配人）	・シニア層を中心にゴルフが敬遠される季節であるが、1～2月の厳寒期は平年よりも気温が低いと予報されており、ゴルフ客は例年よりも更に減ると予想される。新政権による経済立て直しに期待をするが、対策そのものは4月以降なので、当面は厳しいデフレ経済が続き、レジャー関連の消費は伸びない。
		競馬場（職員）	・売上、来客数が伸び悩んでいる。
		理容室（経営者）	・例年1、2月は来客数がどうしても落ち込み、就職、進学等で客が一気に減り、景気は悪くなる。株価が上がって全体的な雰囲気が良くなれば、また変わるかもしれない。
		音楽教室（管理担当）	・3か月後は転勤の時期になるので、生徒数に動きがある。
		設計事務所（所長）	・新規の資料が少なく、先行きの景気は悪くなる。
		住宅販売会社（従業員）	・景気対策については、新政権の政策が明確になるのには時間がかかり、一時的に景気は悪くなる。円安になり、株価が上がっているが、これは御祝儀相場であり、今後の景気対策、とにかく安い電力を供給しないことには経済の再生には結びつかない。
	悪くなる	商店街（代表者）	・販売量、来客数が間違いなく減少する。企業等の人事異動、人の移動が始まるまで減少傾向となる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		居酒屋（経営者）	・年明け以降の予約状況を見ても、好転するようには感じられない。
		観光ホテル（総務）	・収入見込みが悪くなっている。
		その他サービスの動向を把握できる者 〔フィットネスクラブ〕（営業）	・電気料金の値上げや消費税増税のため景気は悪くなる。
企業動向関連 (九州)	良くなる やや良くなる	○	○
		農林水産業（経営者）	・1月は年末特需の反動もあり、落ち込むが、2、3月については現状の取引先からするとかなり期待できる。特に加工メーカーの原料肉の引き合いは要求度の大きいものがある。あとは障害となる鳥インフルエンザの発生等がないことを祈るのみである。
		繊維工業（営業担当）	・中国での生産見直しが進んでおり、景気も上向きになっていくので、少しずつであるが良くなっていく。
		家具製造業（従業員）	・1、2月度の受注見込みは前年比で15%程度増えている。低価格品より中、高額品の問い合わせや見積依頼が多くなっている。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・3月の年度末の自治体及び企業において、残予算の実行が想定される。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・政権交代により、経済優先の政策が中心となって、今後の経済は上向く。12月末には倒産もあったが、年末の受注が多くなった関係もあり、今後に期待したい。
		鉄鋼業（経営者）	・建築物が対象であるが、期近の着工物件で鉄筋の受注量が増加している。特に分譲マンションを対象にしたものが多く、また販売戸数が多い大型物件が増えている。竣工までの工期が長いので資材の手配に入ったものと思われるが、消費税増税前の駆け込み需要ではないかと懸念される。
		金属製品製造業（企画担当）	・季節的要因により、これから年度末にかけて受注量は増える見込みである。ただ例年と比べると増加カーブはなだらかである。
		一般機械器具製造業（経営者）	・新政権への期待とその経済政策によって若干、円安の傾向に向かっているため、ユーザーからの輸出量が若干増えるのではと期待される。
		精密機械器具製造業（従業員）	・スマートフォンの普及で、海外からの携帯用部品の受注があり、今のところ生産計画から、来年3月まで増える見込みである。ビジネスチャンスを迎えている。
		輸送業（総務）	・総選挙が終わり、株価が上昇しており、荷動きが少し良くなる。
		通信業（経理担当）	・株価が上昇し、景気回復の期待感がある。
		金融業（営業）	・円安方向にあり、大手製造業が国内生産を見直す可能性がある。
		経営コンサルタント（社員）	・忘年会が例年より活発に行われており、景況感は良い。
	変わらない	食料品製造業（経営者）	・業績は相変わらず昨年を下回っているが、12月の減少率がかなり改善している。また、過去3か月の前年比をみても回復傾向にある。当社の業績は景気の動向にかなり左右されるため、今後の景気対策とその効果が浸透するまでは、この状況はしばらく変わらない。
		一般機械器具製造業（経営者）	・設備、加工部品共に引き合いが目減りしている。
		輸送用機械器具製造業（営業担当）	・生産数量の計画も横ばい傾向となっている。
		建設業（従業員）	・ドル高円安で為替も総選挙後に良い方向となったが、先行きは不透明である。今後悪くなる可能性も否定できないので、先行きはあまり変化がない。
		通信業（職員）	・省エネ関連の新事業の受注量が、若干増えつつはあるものの、見込みよりは低調で、短期間で急激に変化する可能性は低い。
		金融業（従業員）	・政権交代を機に円安、株価の流れが変わり、景気回復期待等から百貨店等では高額商品の売上が上向き、飲食店でも客足がやや回復している。一方、欧米を中心とした海外景気の先行きに懸念材料があり、輸出関連業種等は回復力が弱い。
		金融業（営業担当）	・政権が交代し、景気回復の期待感はあるものの、期待がもてるのは建設関係のみで消費者と密接にかかわりのある小売業等に期待は持てない。当面、景気は変わらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		不動産業（従業員）	・オフィスの入居状況が横ばいで推移しており、今後もこの状況が継続する。
		広告代理店（従業員）	・新聞折込枚数は前年比3%減と振るわなかった。受注枚数が減少しているのは景気が好転しないことに加え、新聞購読者が若年層を中心に減っていることが挙げられる。ネットや携帯端末の普及により、新聞を自宅で読む慣習がなくなりつつある。ただ、政権交代により景気の活性化が期待される。消費税増税前の景気の回復が期待される。
		経営コンサルタント	・新しい事業に取り組むというより、守りの姿勢が強すぎて、新しい仕事に結びつかない。
		経営コンサルタント（代表取締役）	・問い合わせ件数や受注見込み件数に変化がなく、身の回りの景気が大きく変動する兆候がない。
	やや悪くなる	農林水産業（従業者）	・飼料関係の価格は高止まりになっており、現状厳しいなかで、景気はあまり変わらない。
		建設業（社員）	・当社は3月までの工事はある程度確保はできているが、まだまだ不足気味である。今のままだと3月までの発注はそれ程見込めないため、新政権の景気浮揚対策の公共事業に期待をするしかない。爆発的な補正事業を1日でも早く発注してほしい。
		輸送業（従業員）	・製紙会社が合併して、国内での紙パルプ販売が伸び悩んでいる。輸入紙のほうが動きが良かったが、2013年はあまり伸びる予定もなく、全体的に伸び悩んでる傾向があるとメーカーから聞かれた。
		輸送業（総務担当）	・これ以上悪くなったら困るが、既に2013年の値下げ要求がきている。電気料金の値上げ、節電要請等外部環境があまり良くない。しばらくは下降線を辿る。
		金融業（調査担当）	・自動車関連産業では、荷動きが鈍くなっており、自動車関連産業が下向きになることが懸念される。
		金融業（得意先担当）	・金融機関の対応状況にもよるが、金融円滑化法が終了する平成25年3月以降、業況が厳しい企業の倒産が懸念される等、景況感は現時点より悪化する。
		広告代理店（従業員）	・全体のパイが縮小しており、今後も厳しくなる。
	悪くなる	電気機械器具製造業（経営者）	・受注量の動きは半導体や電気関係は非常に厳しいが、機種切替等、3か月先も見通しがつかないような大変厳しい状況である。雇用の対策を考えなければいけない。
		その他サービス業〔設計事務所〕（代表取締役）	・政権交代で景気対策の予算が組まれると市町村は期待しており、建築や設備工事等について今年度中に前倒しで補助金が組まれるのではないかとの声も聞かれる。しかし、具体的に示されたものはなく、市町村からも民間への発注等の動きが出ていないため、景気がすぐに改善していくとは考えにくい。
雇用関連 (九州)	良くなる やや良くなる	—	—
		人材派遣会社（社員）	・期末に向かい、採用意欲が全体的に衰えていない。
	人材派遣会社（社員）	・年度末に向けての注文がきている。既存の客だけでなく、新規客からの注文も増えており、幅広い業種での問い合わせが増えている。	
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・景気回復策が打たれば、一時的に景気は好転する。	
	民間職業紹介機関（社員）	・年度末に向け、決算業務、新入学、卒業等の業務を迎えるなか、人の動きが出てくれば人材需要は伸びる。	
	学校〔専門学校〕（就職担当）	・企業の2014年卒採用計画のヒヤリングより、景気はやや良くなる。	
	変わらない	人材派遣会社（営業）	・企業からの雇用意欲を感じるができない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新政権には地域が活性化するような景気対策が期待される。厳しい雇用状況も今が底である。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・求人募集の動向は依然低調で、新卒求人が増えるのには時間がかかる。
		職業安定所（所長）	・管内の状況からは改善の要素は見当たらない。
		職業安定所（職員）	・新規求職者数は、前年同月比で2か月連続で増加したのに対し、新規求人数は2か月連続で増加しており、先行き不透明な状況である。
		民間職業紹介機関（職員）	・求人数を前年比で見るとほぼ同水準で推移しているが、案件への応募数が減少し、未成立案件や、1件の求人に対しての広告宣伝費等が増加傾向にある。
		学校〔大学〕（就職支援業務）	・求人件数は増加しているものの、厳選採用という厳しい就職環境は継続している。また、採用予定数に満たなくても選考活動を終了している企業が見受けられる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	やや悪くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・ビルメンテナンスや施設給食等、労働集約型の求人が悪い傾向が続いている。早朝短時間のシフト勤務や最低賃金等の待遇面が影響している。ほかの求人が活発に動いているというよりも、生活面の不安から収入を増やしたいという心理が働いている。
		職業安定所（職員）	・管内の自動車関連製造業からは、長引く日中関係悪化により、雇用調整を行う企業がみられる。また、今のところ、中小企業金融円滑化法の期限切れの影響は聞かないが、年明け以降の動きが懸念される。
		職業安定所（職業相談）	・製造業において求人の動きが鈍くなっている。年明けから円高の影響もあり、大手カメラ部品製造工場が減産体制に入り、下請への影響が懸念されている。
	悪くなる	人材派遣会社（社員）	・鉄鋼が落ちており、厳しい状況である。世界に誇れる製鉄技術と取り巻く関連機器は海外に市場を奪われ、一度奪われると半導体等と同じく返り咲きはない。国内がもたついている間にソーラー技術等のエネルギー部門も日本に優位性はなくなっている。国主導で旧態依然とした産業を守るのではなく、世界に向けて誇れる先進性のある技術をとことん伸ばすべきである。
		民間職業紹介機関（支店長）	・注文数が全く増加しない。今後もこの状況が続く。

### 11. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (沖縄)	良くなる	百貨店（営業企画）	・翌月より市役所が3年ぶりに新庁舎として近くに戻ってくることで、職員や来庁する人々で商圏人口が増え、売上増も期待できる。
		ゴルフ場（経営者）	・営業戦略上、利用人数の増加よりも販売単価、客単価のアップを図ったのが成功している。3か月後以降の予約も既に確保をしておき、好転することを確実視している。
	やや良くなる	コンビニ（経営者）	・食するのに手頃なサラダや総菜、デザート等の売上が伸びている。
		コンビニ（経営者）	・市役所の新庁舎の運用が1月から始まることで来客数増が見込める。
		通信会社（店長）	・現在の値引き施策が更に浸透すれば、現在の好調が続くとみられる。
		住宅販売会社（総務・企画分野）	・住宅メーカー等での建売棟、分譲による住宅販売営業展開が多く行われている。マスメディアによる広告や見学会等のイベントも定期的に行われ、住宅販売営業が活発になっているようにみられる。その働きかけにより、数か月後の景気は、やや良くなると見込む。
		スーパー（企画担当）	・競合の開店等が無いこと及び前年のうろうろ年要因等で、今月同様、既存店は苦戦を強いられる見込みである。
	変わらない	スーパー（販売企画担当）	・消費税増税などによる将来不安から消費意欲は落ち込み、また、デフレによる価格安からも売上は落ち込むと予測され、景気は厳しい状況が続くとみる。
		コンビニ（エリア担当）	・客単価はこの数か月変わらず前年並で推移しているため、購買意欲も落ちてはいないが、来客数自体が減っている分、売上が落ちている。客数増につながる対策を立てているが、なかなか効果が出ない。
		コンビニ（エリア担当）	・新政権では景気対策を重視しているが、結果が出てくるのはまだ先になる。県に対する予算と那覇空港滑走路建築が2013年の県経済にとって大きな変動要因となる。
		衣料品専門店（経営者）	・年末ということで少しは良くなるはあるが、セール等での需要喚起であり、プロパーの売上はさほど良くない。以前と比べてもあまり良くなく、これから先も良くなる材料がまだみえない。
		衣料品専門店（経営者）	・まだ予想しにくいだが、良くなることに期待したい。
		その他専門店〔楽器〕（経営者）	・観光客の減少が当面続く。観光客もリピーターが多く、観光土産や観光地の新しい魅力又は継続的な文化、スポーツのイベント、プロ野球球団キャンプなどに期待している。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・政権交代で景気向上期待の声も聞こえているが、まだまだ客の財布のひもは固く、飲食店の低価格競争も底の知れない泥沼の状態が続いている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		観光型ホテル（マーケティング担当）	・この先の予約状況から推測できる稼働率は、大きく変わらないとみている。韓国LCCの参入で、海外客数の動きは多少伸びると考えられるが、大きな需要増にはつながらないと予測している。
		住宅販売会社（代表取締役）	・消費税増税を意識した建築相談が増える可能性はあるものの、政権交代に関連しての現実的、具体的な「景気上向き観」が見通せない。
	やや悪くなる	その他専門店〔書籍〕（店長）	・ここ2、3か月の売上の推移をみると、上がる要素が見当たらない。
	悪くなる	商店街（代表者）	・中心商店街での客単価は相当落ちており、なかなか厳しい状況である。政権が自民党に交代しているが、即座に良くなるとはみていない。何らかの形で良くなればと期待している。観光客数はある程度あっても、やはり財布のひもが固くて売上にはブレーキがかかっている。その他の一般小売も大変苦戦を強いられている。
企業 動向 関連  (沖縄)	良くなる	—	—
	やや良くなる	食料品生産業（総務）	・新政権への期待がある。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・年度末第4四半期となり、公共工事が増加する見込みである。
		建設業（経営者）	・引き合い及び相談件数が増加傾向にある。
		会計事務所（所長）	・金融緩和で企業投資がけん引されれば、最終消費も伸びるのではないかと期待している。
		コピーサービス業（営業担当）	・政権が変わったことによって、いろいろな意味で良くなると見込む。
	変わらない	輸送業（代表者）	・伊良部架橋や新石垣空港等の大型物件は終わるが、農水関係、港湾関係や民間物件の今後に期待する。政権交代により雰囲気は良い。
		広告代理店（営業担当）	・民間企業の販促投資が増大する傾向にないことから、現状の横ばいで推移するのでは、と感じている。そう考えると、引き続き公共のソフト事業に期待せざるを得ないのが現状である。
	やや悪くなる	輸送業（本社事業本部）	・取扱の物量が食品、雑貨、家電等種類別にみても減少傾向にある。瞬間的な季節変動はあるものの、日常、継続的に取り扱う物量が増加する見通しは立っていない。現状の経済環境では減少傾向にあるとみている。
		通信業（営業担当）	・家電系の景気後退がテスト案件、組み込み系案件に影響すると予測される。
雇用 関連  (沖縄)	良くなる	—	—
	やや良くなる	求人情報誌製作会社（営業担当）	・例年どおり求人数が増加する。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・企業の採用意欲が高まっている。早くも次年度に向けての採用活動が始動している。
	変わらない	人材派遣会社（総務担当）	・年末年始に向けてのこれといった需要がほとんど無く、受注案件の数も一進一退が続いている。企業側の年明け後の景気情勢を見極めたいという姿勢が感じられる。
		求人情報誌製作会社（総務担当）	・景気判断が「良い」の状況が1年以上続き、今月はやや伸び率が鈍化しているが、自民党政権に変わり、「良い」がもうしばらく続くと予測する。
	やや悪くなる	—	—
	悪くなる	—	—